

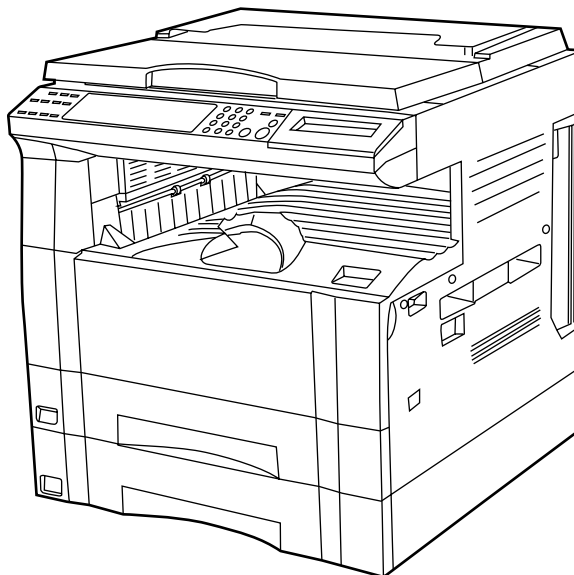


KM-2030

静電複写機

使用説明書

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。
お読みになった後は、本製品の近くに大切に保管
してください。



京セラ ミタ株式会社



弊社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムとは

国際エネルギープログラムは、その基準に適合した機器の製造・販売を促進させることにより、効率的なエネルギー活用を促進し、エネルギーの消費にともなう環境汚染を低減させることを基本目的としています。

国際エネルギースタープログラムの基準により、複写機では、最後に機器を使用してから一定時間経過すると自動的に消費電力を低減する「低電力モード」に移行し、さらに設定時間以上機器を使用しないと自動的に電源オフになる「オフモード」を備えていることが必要です。また複写機にプリンタやファクス機能がある場合は、最後に機器を使用してから一定時間経過するとプリンタおよびファクスが待機状態のまま自動的に消費電力を低減する「低電力モード」に移行し、さらに設定時間以上機器を使用しないとプリンタおよびファクスが待機状態のまま消費電力を最小にする「スリープモード」を備えていることが必要です。

本製品は、国際エネルギースタープログラムの基準に適合するために、以下の仕様を備えております。

- 「低電力モード」
最後にご使用になってから 15 分を経過しますと自動的に「低電力モード」に移行します。
なお「低電力モード」への移行時間は、延長が可能です。詳しくは「予熱（プレヒート）機能」をご覧ください。
- 「オフモード」
最後にご使用になってから 30 分を経過しますと自動的に「オフモード」に移行します。
なお「オフモード」への移行時間は、延長が可能です。詳しくは「オートシャットオフ機能」をご覧ください。
- 「スリープモード」（複写機にプリンタおよびファクス機能がある場合）
最後にご使用になってから 30 分を経過しますと自動的に「スリープモード」に移行します。
なお「スリープモード」への移行時間は、延長が可能です。詳しくは「オートシャットオフ機能」をご覧ください。
- 「両面コピー機能について」
エネルギースタープログラムでは、環境に与える負荷の少ない両面コピー機能を推奨しています。両面コピー機能を追加装備される場合には販売担当者またはサービス担当者にご相談ください。
- 再生紙
エネルギースタープログラムでは環境に与える負荷の少ない再生紙の使用をお勧めしています。推奨紙などは販売担当者またはサービス担当者にご相談ください。



財団法人日本環境協会 エコマーク事務局認定
エコマーク商品 認定番号 01117007 号
「製造」「使用」「廃棄」の段階で環境のためにより良い商品です。



本製品は、「グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進に関する法律）」の定める「特定調達物品」の判断基準に適合する環境に配慮した製品です。

この使用説明書では、オプション品について、簡略化した名称を使って説明を行っています。
オプション品の正式な商品名は以下のとおりです。

商品名	使用説明書記載の名称
シートスルー ADF STDF-3	ADF（原稿送り装置）または DF
シートスルー RDF SRDF-1	RADF（両面自動原稿送り装置）または DF
積木カセット ST-12	カセット
フィニッシャー F-2205	フィニッシャー
自動両面ユニットⅠ、Ⅱ	両面ユニット
ジョブセパレータ J-1302	ジョブセパレータ
キーカウンタ	キーカウンタ
キーカード 1	キーカード
プリンタキット Printing System (K)	プリンタキット

KM-2030 をご購入いただきまして 誠にありがとうございます。

この使用説明書は、複写機を良好な状態でご使用いただくために、正しい操作方法・日常の手入れおよび簡単なトラブルの処置などができるようにまとめたものです。

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品の近くに保管してください。

この使用説明書及び本製品への表示では、本製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



危険：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



「注意一般」、



「感電注意」、



「高温注意」

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。



「禁止一般」、



「分解禁止」

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。



「強制一般」、



「電源プラグをコンセントから抜け」、



「必ずアース線を接続せよ」

本製品使用時の汚れなどによって本使用説明書の注意・警告事項が判読できない場合や、本使用説明書を紛失した場合には、弊社製品取り扱い店等へご連絡の上、新しい使用説明書を入手してください。（有償）

〈お願い〉

使用説明書の内容は、機械性能改善のために、予告なく変更する場合がありますので御了承ください。

目 次

1 章 重要です！始めにお読みください 1-1

1. ⚠ 注意ラベルについて 1-1
2. ⚠ 機械を設置するときの注意 1-2
3. ⚠ 取り扱い上のご注意 1-3
4. コピー禁止事項 1-4

2 章 各部の名称 2-1

1. 機械本体 2-1
2. 操作パネル 2-3

3 章 ご使用前の準備 3-1

1. 用紙の補給 3-1
 - (1) 用紙補給時の注意 3-1
 - (2) カセットへの補給 3-1
 - (3) 手差しへの補給 3-2
 - 手差しの用紙選択とサイズ設定 3-3
 - 封筒のセットのしかた 3-4
2. トナーカートリッジと
トナー回収タンクの交換 3-5

4 章 基本的なコピー 4-1

1. 基本的なコピーのしかた 4-1
2. コピーの縮小／拡大 4-4
 - (1) 自動倍率選択モード 4-4
 - (2) ズームコピーモード 4-4
 - (3) 固定変倍モード 4-5
 - (4) 定形変倍モード 4-5
3. 割り込みコピー 4-6
4. 予熱（プレヒート）機能 4-7
5. オートシャットオフ機能 4-7

5 章 機能的なコピー 5-1

1. いろんな原稿から両面コピー [両面コピー] 5-1
 - (1) 両面原稿からの両面コピー 5-1
 - (2) ブック原稿からの両面コピー 5-1
 - (3) 片面原稿からの両面コピー 5-2
2. 2 ページの原稿を 1 ページずつコピー
[分割コピー] 5-4
 - (1) ブック原稿からの分割コピー 5-4
 - (2) 両面原稿からの分割コピー 5-4
3. コピーに綴じ代を作る [マージンコピー] 5-5
4. 原稿のまわりを消去してコピー
[枠消し] 5-6
 - (1) シート原稿のまわりを消去
(シート枠消し) 5-6
 - (2) ブック原稿のまわりと中央部を消去
(ブック枠消し) 5-6
5. 2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚に
[集約コピー] 5-7
 - (1) 2 in 1 5-7
 - (2) 4 in 1 5-7
6. 自動で仕分けを行う [ソートコピー] 5-9
7. 回転コピー 5-10
8. 原稿混載コピー 5-10

6 章 複写機の管理モード 6-1

1. 部門管理 6-1
 - (1) 部門管理モードについて 6-1
 - (2) 部門管理の選択画面の表示のさせかた ... 6-3
 - (3) 各モードの設定のしかた 6-3
 - (4) 部門管理の時のコピー 6-8
2. 初期設定 6-9
 - (1) コピー初期設定の項目について 6-9
 - (2) コピー初期設定の変更のしかた 6-11
 - (3) マシン初期設定の項目について 6-14
 - (4) マシン初期設定の変更のしかた 6-16
3. メッセージ表示の言語切替 6-19

7章 オプション 7-1

- (1) ADF（原稿送り装置） 7-1
 - ① DF にセットできる原稿 7-1
 - ② DF の使用上の注意 7-1
 - ③ DF の各部の名称 7-1
 - ④ DF への原稿のセット 7-1
 - ⑤コンタクトガラスへの原稿のセット ... 7-2
- (2) RADF（両面自動原稿送り装置） 7-3
- (3) カセット 7-3
- (4) フィニッシャー 7-3
- (5) 両面ユニット 7-3
- (6) ジョブセパレータ 7-3
- (7) キーカウンタ 7-3
- (8) キーカード 7-4
- (9) プリンタキット 7-4
- (10) プリンタネットワークキット 7-4
- (11) ネットワークスキャナ 7-4

8章 こんなときには 8-1

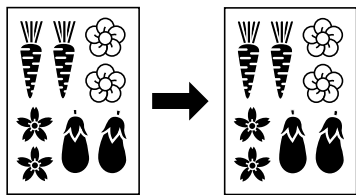
- 1. こんなメッセージがでたら 8-1
- 2. 紙詰りが発生したら 8-3
 - (1) 紙詰り位置表示 8-3
 - (2) 注意事項 8-3
 - (3) 処理方法 8-3
- 3. トラブルが発生した場合 8-7

9章 保守・運用のために 9-1

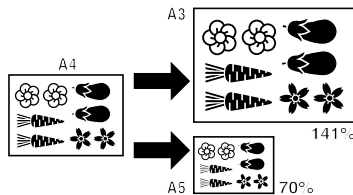
- 1. 機械の清掃のしかた 9-1
- 2. 消耗品 9-2
- 3. 製品の保守サービスについて 9-3
- 4. 保守サービス契約書について 9-3
- 5. 補修用性能部品について 9-3
- 6. 廃棄について 9-3
- 7. 仕様 9-4
- 索引 9-5

●本機の高機能を存分にご活用ください

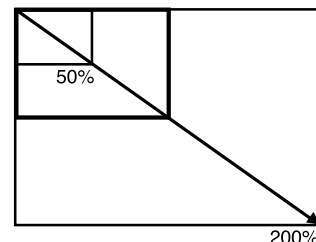
- 1** 原稿と同じサイズの用紙を機械が自動的に選択
 ■自動用紙選択モード〉(P 4-2 参照)



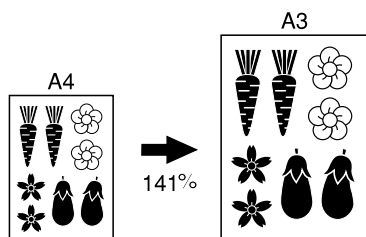
- 2** 多彩な変倍方法
 ■指定したカセットサイズに縮小／拡大
 〈自動倍率選択モード〉(P 4-4 参照)



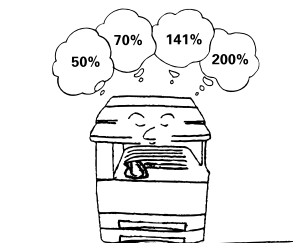
- 50～200%の範囲で縮小／拡大
 〈ズームコピーモード〉(P 4-4 参照)



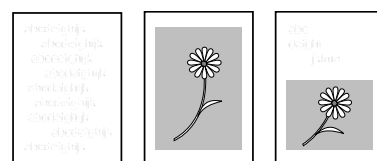
- サイズを指定して倍率を指定
 〈定型変倍モード〉(P 4-5 参照)



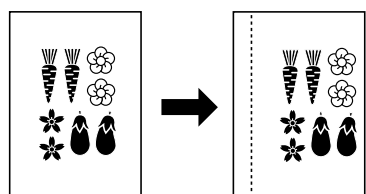
- ワンタッチでコピー倍率を選択〈固定変倍モード〉(P 4-5 参照)



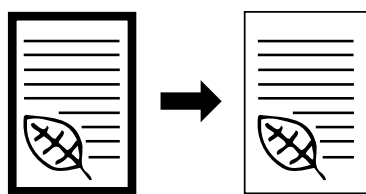
- 3** 写真原稿もきれいにコピー
 〈画質選択〉(P 4-2 参照)



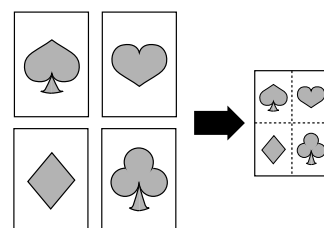
- 4** コピーにとじ代を作る
 〈マージンコピー〉(P 5-5 参照)



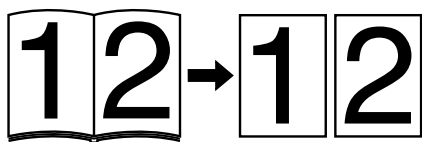
- 5** 原稿のまわりを消去してコピー
 〈枠消し〉(P 5-6 参照)



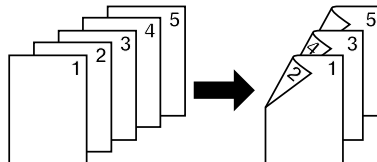
- 6** 2枚または4枚の原稿を1枚に
 〈集約コピー〉(P 5-7 参照)



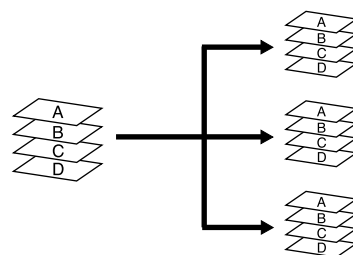
- 7** 2ページの原稿を1ページずつコピー
 〈分割コピー〉(P 5-4 参照)



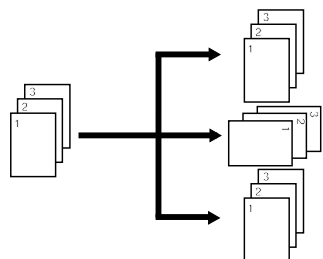
- 8** いろんな原稿から両面コピー
 〈両面コピー〉(P 5-1 参照)
 ※オプションの両面ユニット装着時



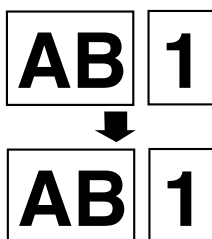
- 9** 自動で仕分けを行う
 〈ソートコピー〉(P 5-9 参照)



- 10** 用紙の向きを変えて仕分けをしやすく
 〈回転ソートコピー〉(P 5-9 参照)



- 11** サイズの異なる原稿を一緒にコピー
 〈原稿混載コピー〉(P 5-10 参照)
 ※オプションのDF装着時

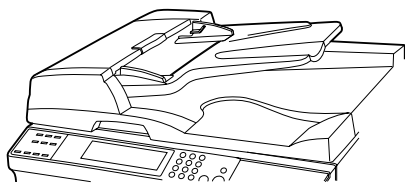


- 12** 部門コードでコピー管理
 〈部門管理〉(P 6-1 参照)

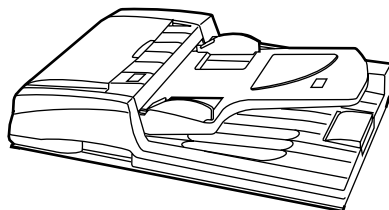


13 オプションも充実

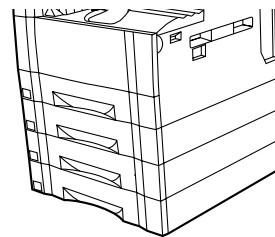
■ ADF (原稿送り装置)
(P 7-1 参照)



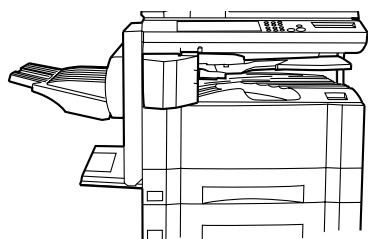
■ RADF (両面自動原稿送り装置)
(P 7-3 参照)



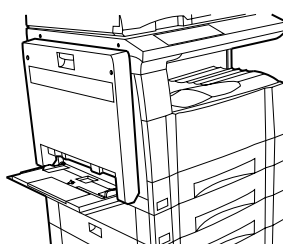
■ カセット (P 7-3 参照)



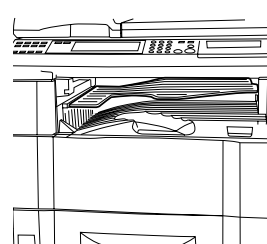
■ フィニッシャー (P 7-3 参照)



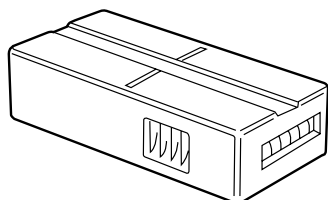
■ 両面ユニット (P 7-3 参照)



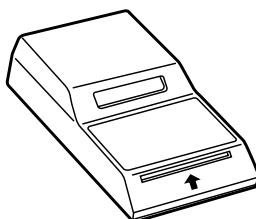
■ ジョブセパレータ (P 7-3 参照)



■ キーカウンタ (P 7-3 参照)



■ キーカード (P 7-4 参照)



■ プリンタキット (P 7-4 参照)

■ プリンタネットワークキット
(P 7-4 参照)

■ ネットワークスキャナ (P 7-4 参照)

1 章 重要です！はじめにお読みください

1. ⚠ 注意ラベルについて

本製品には、下記に示す位置に安全に関する注意ラベルを貼っています。紙詰まり処置やトナー補給時に火傷や感電などの事故のないようご注意ください。

ラベル 1

この部分には高電圧が発生しています。
感電事故を防ぐため、絶対に触れないようにしてください。.....



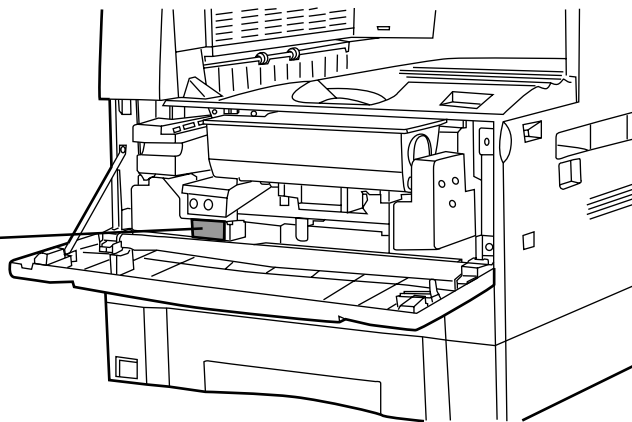
ラベル 2

この部分の内側は高温になっています。
火傷などのおそれがありますので、触れないようにしてください。.....



ラベル 3

トナーまたはトナーの入った容器を火中に
投じないでください。火花が飛び散り、
やけどの原因となることがあります。...



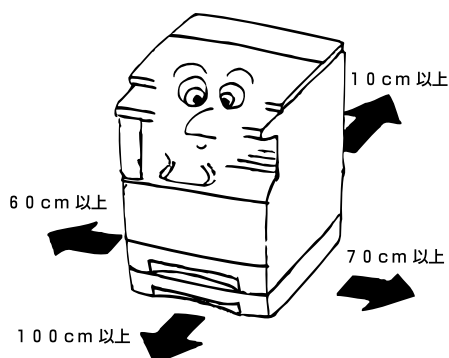
〈お願い〉 これらのラベルははがさないようにしてください。

2. 機械を設置するときの注意

■設置環境について

注意

- 本製品をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。..... 
- 本製品を湿気やほこりの多い場所に置かないでください。万一電源プラグにほこりやゴミなどが付着している場合は取り除いてください。火災、感電の原因となることがあります。..... 
- 本製品をストーブなどの熱源や可燃物が近くにある場所に置かないでください。火災の原因となることがあります。..... 
- 本製品の冷却効果を保つため、機械の周辺は下記のスペースを確保してください。特に機械左側と後ろ側には通気口があり、壁などに近づけないでください。十分なスペースがないと冷却されず、発熱や性能不良の原因となります。..... 



その他の注意事項

- 本製品は設置する場所によっては外気条件が加わって、性能が維持できなくなる場合がありますので、常温常湿の室内（室温20℃、湿度65%RHが適当）に設置し、下記のような場所は避けてください。
 - ・窓際など、直射日光の当たる場所や明るい場所
 - ・振動の多い場所
 - ・急激に温度や湿度が変化する場所
 - ・冷暖房の冷風や温風が直接当たる場所
 - ・通気性、換気性の悪い場所
- 複写機の使用中はオゾンが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や大量にコピーをとる場合には、臭気が気になることもあります。快適な作業環境を保つためには部屋の換気をすることをお勧めいたします。

■設置電源・アースについて

警告

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。..... 
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると火災、感電の原因となります。..... 
- 必ずアース線をアース対象物に接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続ができない場合は、弊社製品取り扱い店等にご相談ください。..... 

その他の注意事項

- 電源プラグは製品の近くの容易に接続できるコンセントにつないでください。

■ビニールの取り扱いについて

警告

- 本製品に使っている包装用のビニールを子供に触れさせないでください。ビニールが鼻や口に吸着すると、窒息するおそれがあります。..... 

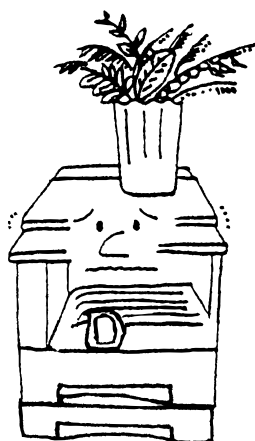


3. 取り扱い上のご注意

■機械の取り扱いについて

警告

- 本製品の上に花瓶、植木鉢、コップや水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。.....



- 本製品のカバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。.....



- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。.....



- 本製品の改造や分解は絶対に行わないでください。火災、感電、レーザ光線への被爆のおそれがあります。レーザ光洩れによる失明のおそれがあります。.....



- 万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐにメインスイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして弊社製品取り扱い店等にご連絡ください。.....



- 万一、異物（金属片、水、液体）が本製品の内部に入った場合は、まず本体のメインスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて弊社製品取り扱い店等にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。.....



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。.....



- 内部の点検・修理は弊社製品取り扱い店等に依頼してください。.....



注意

- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。（必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください）.....
- 本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。.....
- 夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、メインスイッチを切ってください。また連休等で長期間、本製品を使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。.....
- 本製品を持ち上げたり、動かす場合は、所定の箇所を持つようにしてください。.....
- 本製品の清掃を行うときには安全上、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。..
- 本製品内部の清掃については弊社製品取り扱い店等にご相談ください。本製品の内部にほこりがたまったら長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部清掃費用については弊社製品取り扱い店等にご相談ください。.....



その他の注意事項

- 本製品の上には重いものをのせたり、衝撃を与えないでください。
- コピー中には次のことをしないでください。
 - ・前カバーを開ける。
 - ・メインスイッチを切る。
 - ・電源コードを抜く。
- 転居などで本製品を動かす場合は、弊社製品取り扱い店等へご連絡ください。
- コネクタ、プリント基板等の電気部品に触らないでください。静電により破損する可能性があります。
- この使用説明書に記載されていないことは行わないでください。

■消耗品の取り扱いについて

! 注意

- トナーコンテナおよびトナー回収タンクは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、やけどの原因となることがあります。.....
- トナーコンテナおよびトナー回収タンクは、子供の手に触れる事のない様に保管してください。.....
- トナーコンテナおよびトナー回収タンクより、トナーが漏れた場合には、トナーを吸い込んだり、口に入れたり、眼、皮膚に触れない様にしてください。.....
 - ・トナーを吸い込んだ場合は、新鮮な空気のある場所へ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状が出るのであれば医師の診察を受けてください。
 - ・トナーを飲み込んだ場合は、口の中をすすぎ、コップ1、2杯の水を飲んで胃を薄め、必要に応じて医師の診察を受けてください。
 - ・眼に入った場合は、直ちに流水で良く洗い、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。
 - ・皮膚に触れた場合は、石鹸を使って水で良く洗い流してください。
- トナーコンテナおよびトナー回収タンクは、無理に開けたり、壊したりしないでください。.....



その他の注意事項

- 使用後、不要となりましたトナーコンテナおよびトナー回収タンクは、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナおよびトナー回収タンクは、再使用もしくは再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。
- 消耗品は冷暗所に保管ください。
- 本製品を長時間使わない場合は、用紙をカセットまたはデッキから取り出し、もとの包装紙に戻して密封してください。

4. コピー禁止事項

複写機を使って何をコピーしてもよいとは限りません。特に法律により、そのコピーを所有するだけでも罰せられることがありますので、次の点に充分ご注意ください。

1. 法律で禁止されているものには

- ①紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券は、コピーすることを禁止されています。
例えば、見本の印が押してあっても、コピーすることはできません。
- ②外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピーも禁止されています。
- ③政府の模造許可を取らない限り、未使用郵便切手、官製はがきの類は、コピーすることを禁止されています。
- ④政府発行の印紙、酒税法で規定されている証紙類のコピーもできません。

(関係法律)

- 通貨及び証券模造取締法
- 外国ニオイテ流通スル貨幣、紙幣、銀行券、証券、偽造変造及び模造ニ関スル法律
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙等模造取締法
- 紙幣類似証券取締法

2. 注意を要するものには

- ①民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって、注意を呼びかけられています。
- ②政府発行のパスポート、公共機関や民間団体の免許証許可証、身分証明証や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられます。

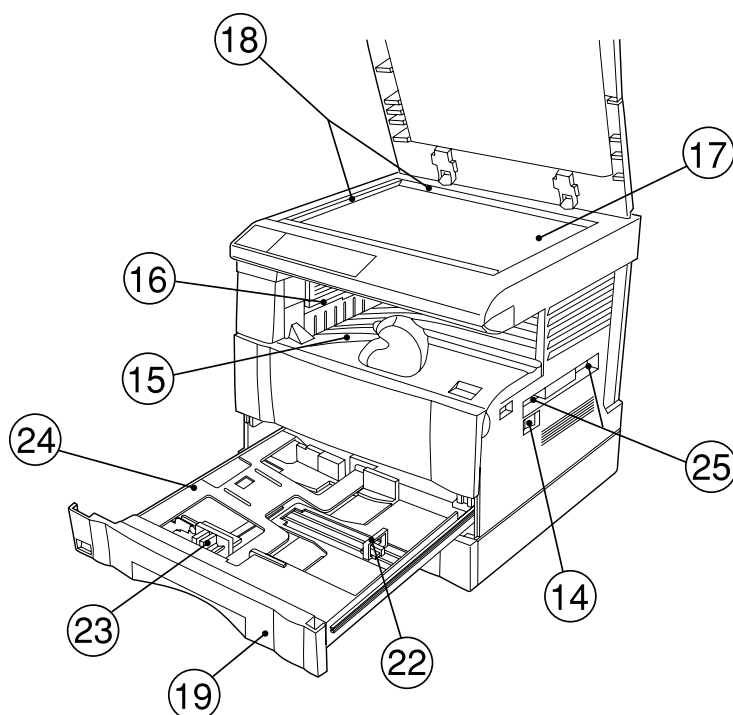
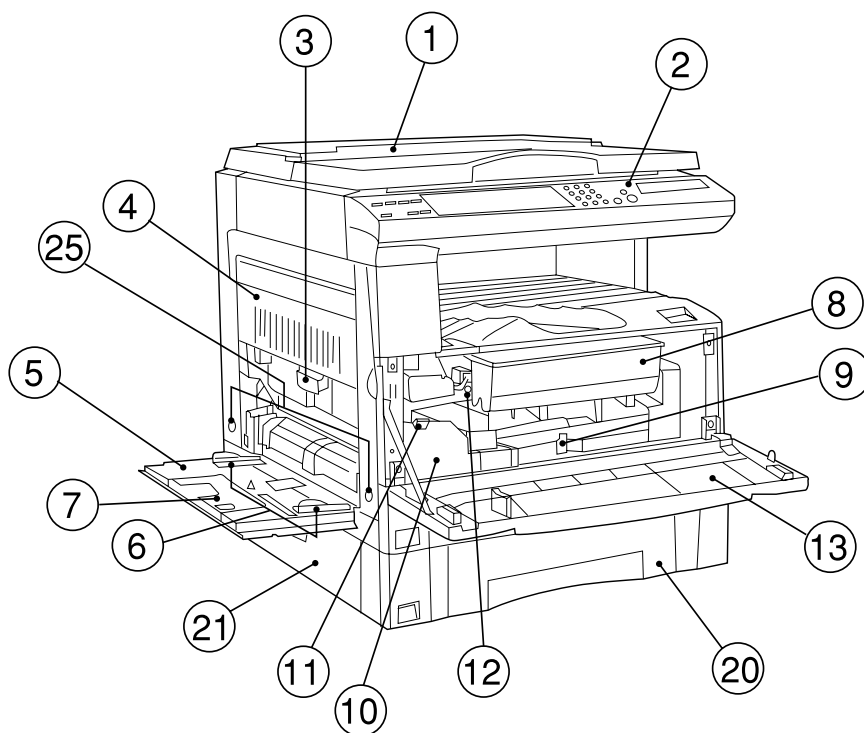
3. 著作権にもご注意を

著作権の目的となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画及び写真などの著作物は、個人的にまたは、家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は、禁じられています。



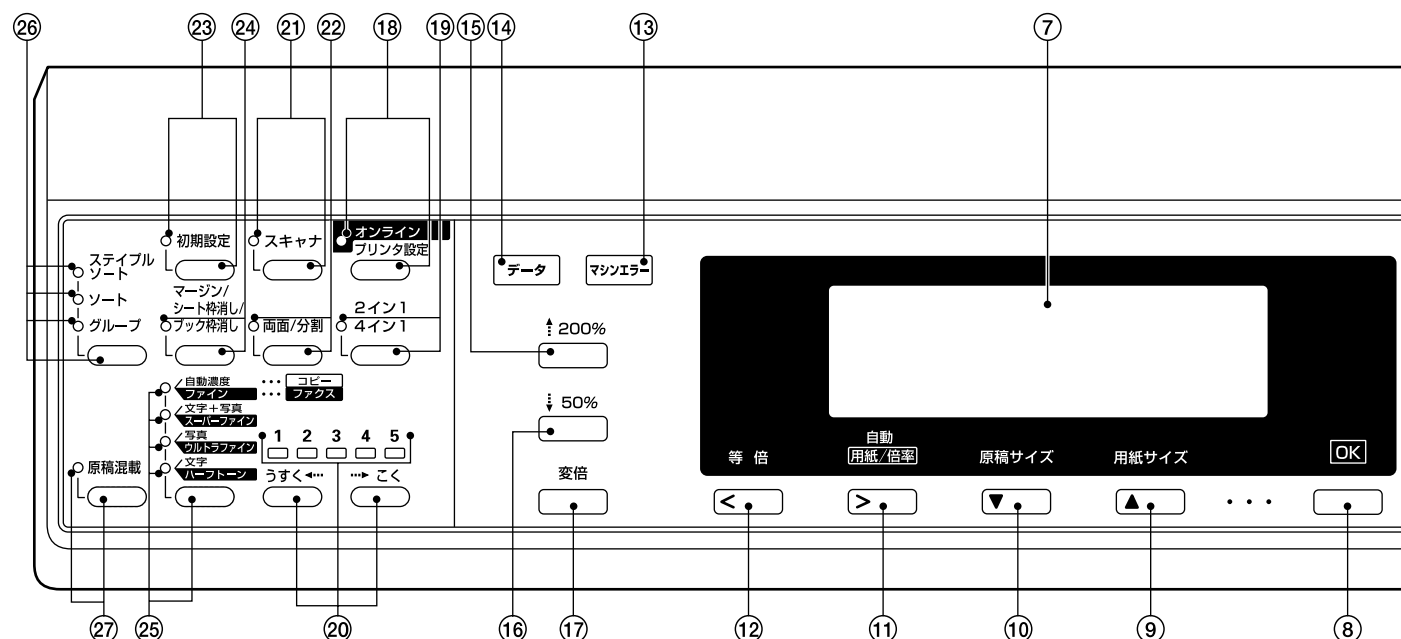
2 章 各部の名称

1. 機械本体



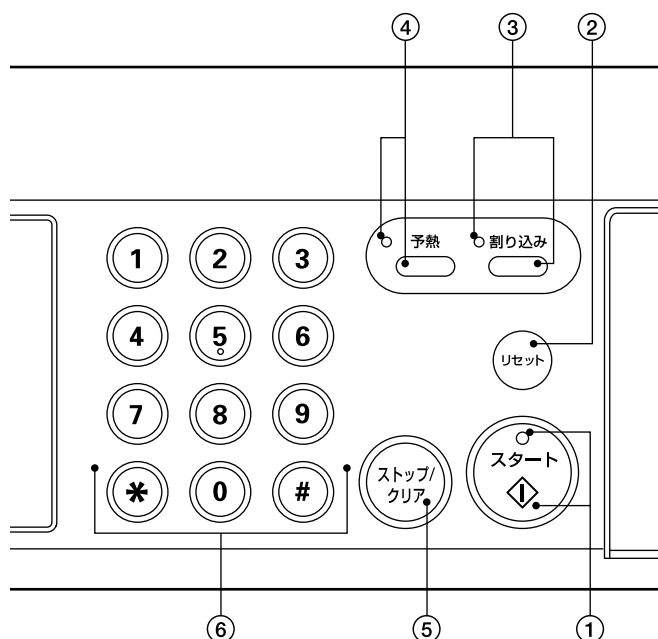
- ① 原稿押さえ
(コンタクトガラスに原稿をセットするときに開閉してください。)
- ② 操作パネル
(コピーの操作はここでを行います。)
- ③ 左カバー取手
(左カバーを開けるときにはここを持ってください。)
- ④ 左カバー
(紙詰りが発生したときに開いてください。)
- ⑤ 手差し
(小サイズ用の紙にコピーするときや特殊紙にコピーするときはここに用紙をセットしてください。)
- ⑥ スライダー
(手差しに用紙をセットするときに用紙幅に合わせてください。)
- ⑦ 手差し補助トレイ
(大サイズの用紙をセットするときに使用してください。)
- ⑧ トナーカートリッジ
- ⑨ トナーカートリッジ解除レバー
(トナーカートリッジを交換するときに操作してください。)
- ⑩ トナー回収タンク
- ⑪ トナー回収タンク解除レバー
(トナー回収タンクを交換するときに操作してください。)
- ⑫ クリーナー棒
(トナーカートリッジを交換した後や画像に汚れがあらわれたときに引いてもう一度、押し込んでください。)
- ⑬ 前カバー
(トナーカートリッジを交換するときやトナー回収タンクを交換するときに開いてください。)
- ⑭ メインスイッチ
(コピーを始める前にこのスイッチをON (I) にしてください。)
- ⑮ コピー収納部
(仕上がったコピー用紙はここに収納されます。)
- ⑯ 排出部
- ⑰ コンタクトガラス
(原稿をここにセットしてください。セットするときは左奥に合わせて下向きにセットしてください。)
- ⑱ 原稿サイズ指示板
(原稿をセットするときは必ずこの指示板に合わせてください。)
- ⑲ 第1カセット
(普通紙が250枚セットできます。)
- ⑳ 第2カセット
(普通紙が250枚セットできます。)
- ㉑ カセット左カバー
(カセット左カバー内で紙詰まりが発生したときに開いてください。)
- ㉒ 縦サイズ変更プレート
(カセットにセットする用紙の縦サイズに合わせてください。)
- ㉓ 横サイズ変更つまみ
(このつまみを持って横ガイドをカセットにセットする用紙の横サイズに合わせてください。)
- ㉔ カセット底板
(用紙をセットする際、押し下げてください。)
- ㉕ 搬送取手
(右側2カ所は凹部になっています。左側2カ所は引き出すと取手になります。)

2章 各部の名称



2. 操作パネル

- ① **スタートキー（表示）**
（表示が緑色に点灯しているときに押すとコピーが開始されます。）
- ② **リセットキー**
（P2-4、「●初期モードについて」参照）
- ③ **割り込みコピーキー（表示）**
（割り込みコピーを行うときに押してください。割り込みコピー表示が緑色に点灯します。P4-6 参照）
- ④ **予熱（プレヒート）キー（表示）**
（プレヒート状態にするときに押してください。予熱（プレヒート）表示が緑色に点灯します。P4-7 参照）
- ⑤ **ストップ／クリアキー**
（コピーを中断するとき、またはコピー枚数を訂正するときに押してください。コピー機能等の設定画面で前の設定画面に戻るときにも押してください。）
- ⑥ **テンキー**
（コピー枚数をセットするときや数値を入力するときに押してください。）
- ⑦ **メッセージ表示**
（操作の手順や不具合を表示します。また、液晶のコントラストを変更することができます。P6-18、「⑪液晶コントラスト調整」参照）
- ⑧ **OK キー**
（メッセージ表示上で機能や選択項目を確定するときに押してください。）
- ⑨ **用紙サイズ選択キー／上カーソルキー**
（カセット[給紙段]を変更して用紙サイズが選択できます。現在選択されている用紙サイズはメッセージ表示に表示されます。また、メッセージ表示に表示されるカーソルを上に移動させるときにも押してください。）
- ⑩ **原稿サイズ選択キー／下カーソルキー**
（原稿サイズを選択するときに押してください。また、メッセージ表示に表示されているカーソルを下に移動させるときに押してください。）
- ⑪ **自動用紙倍率キー／右カーソルキー**
（自動で用紙を選択させる場合、あるいは自動で倍率を選択する場合はこのキーを押してください。メッセージ表示に“自動用紙”、“自動倍率”がそれぞれ表示されます。また、メッセージ表示に表示されるカーソルを右に移動させるときにも押してください。）
- ⑫ **等倍キー／左カーソルキー**
（倍率を等倍にするときに押してください。メッセージ表示に“等倍”が表示されます。また、メッセージ表示に表示されるカーソルを左に移動させるときにも押してください。）
- ⑬ **マシンエラー表示**
（紙詰まりなど、機械にトラブルが発生した場合に赤色に点灯します。）
- ⑭ **データ受信表示**
（オプションのプリンタ機能を使っているときに、緑色に点灯／点滅します。プリンタのエラーが発生したときは赤色に点灯／点滅します。）
- ⑮ **倍率アップキー**
（倍率を上げるときに押してください。）
- ⑯ **倍率ダウンキー**
（倍率を下げるときに押してください。）
- ⑰ **変倍キー**
（倍率を変更するときに押してください。）
- ⑱ **オンライン／プリンタ設定キー（表示）**
（オプションのプリンターキット装着時に、プリンタモードに切り替えるときに押してください。オンラインの時にオンライン／プリンタ設定表示が緑色に点灯します。）
- ⑲ **集約コピーキー（表示）**
（集約コピーをするときに押してください。集約コピー表示（2 イン 1 / 4 イン 1）が緑色に点灯します。P5-7 参照）
- ⑳ **濃度調節キー／濃度表示**
（コピー濃度を調節するときに押してください。濃度表示が現在のコピー濃度を示します。）



②① スキャナキー（表示）

（オプションのネットワークスキャナ装着時に、スキャナモードに切り替えるときに押してください。スキャナモード時にスキャナ表示が緑色に点灯します。）

②② 両面／分割コピーキー（表示）

（両面コピーまたは分割コピーを行うときに押してください。両面／分割コピー表示が緑色に点灯します。両面コピー機能を使用するときはオプションの両面ユニットが必要です。P5-1、4 参照）

②③ 初期設定キー

（部門管理や初期設定など機械の設定を行うときに押してください。）

②④ マージン／シート枠消し／ブック枠消しキー（表示）

（マージンコピーまたは枠消しコピーを行うときに押してください。マージン／シート枠消し／ブック枠消し表示が緑色に点灯します。P5-5、6 参照）

②⑤ 画質選択キー／自動濃度表示／文字+写真表示／写真表示／文字表示

（画質を選択するときに押してください。P4-2 参照）

②⑥ ソートモードキー／ステイブルソート表示／ソート表示／グループ表示

（一部ごとに仕分けをするソートモードを使用するときや、オプションのフィニッシャーを使って仕上がったコピーをステイブルしたり仕分けやページ揃えを行うときに押してください。ステイブルソート表示、ソート表示またはグループ表示が緑色に点灯します。）

②⑦ 原稿混載キー（表示）

（原稿混載コピーを行うときに押してください。原稿混載表示が緑色に点灯します。この機能を使用するときはオプションのDFが必要です。P5-10 参照）

●初期モード（ウォームアップが完了したときまたはリセットキーを押したとき）について

コピーモードは原稿と同じサイズの用紙に等倍でコピーする“自動用紙選択モード”、コピー枚数セットは“1”、画質は“文字+写真モード”が自動的に選択されます。

補足

・コピー濃度調整の初期設定を“自動濃度モード”に変更できます。（P6-11、「①濃度モード」参照）

●オートクリア機能について

コピー終了後、約 120 秒経過すると、機械は自動的にウォームアップが終了した状態に戻ります。（ただしコピー濃度モードは元に戻りません。）オートクリア機能がはたらく前なら、コピーモードやコピー枚数、コピー濃度の設定などを同じ状態で繰り返しコピーできます。

●オートカセットチェンジ機能について

同じサイズで同じ向きの用紙がセットされているカセットが 2 つ以上あって、コピー中に 1 つのカセットの用紙がなくなったとき、自動的に別の同じサイズで同じ向きの用紙がセットされているカセットに切り換えて給紙します。

補足

・オートカセットチェンジ機能を OFF にすることもできます。（P6-19、「⑩オートカセットチェンジ」参照）

メッセージ表示



① 本機の状態や必要な操作のメッセージを表示します。

② コピーモードを表示します。

自動用紙：自動用紙選択モード

自動倍率：自動倍率選択モード

等倍または変倍：マニュアルコピーモード

③ コピー倍率を表示します。

④ 原稿サイズと用紙サイズ、および選択されているカセット段を表示します。

⑤ コピー枚数を表示します。

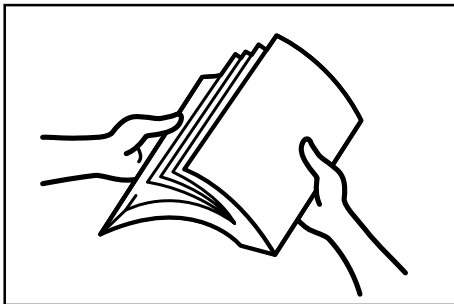
3 章 ご使用前の準備

1. 用紙の補給

本機は標準で2段のカセットと手差しに用紙をセットすることができます。

(1) 用紙補給時の注意

包装紙から出した用紙はトレイにセットする前に数回さばいてください。



重要

- ・標準カセット、オプションカセットおよび手差しに用紙が残っている状態で用紙を補給すると紙詰まりの原因になります。

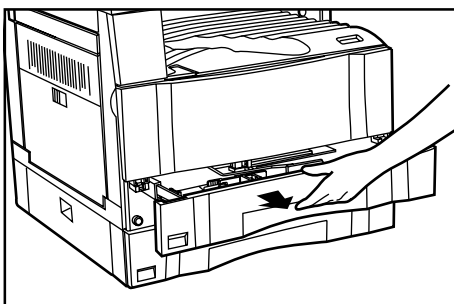
(2) カセットへの補給

カセットには、普通紙 (64g/m²) やカラーペーパーをそれぞれ250枚収納できます。
セットできる用紙サイズは各カセットはA3～A5Rまでです。

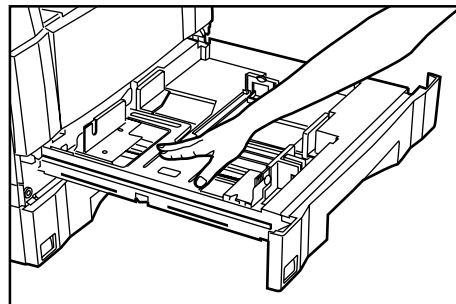
重要

- ・カセットにセットする用紙の種類 (普通紙、再生紙、レターヘッド、カラー紙) を、P 6-14の「⑤用紙種類 (1段目～4段目)」で設定してください。

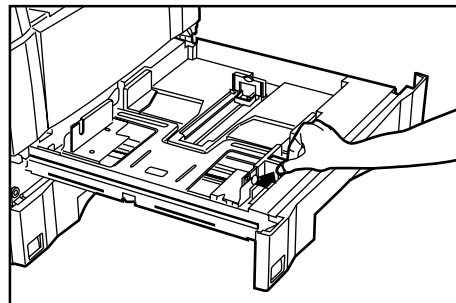
- 1 カセットを手前いっぱい引き出してください。
※複数のカセットを抜かないようにしてください。



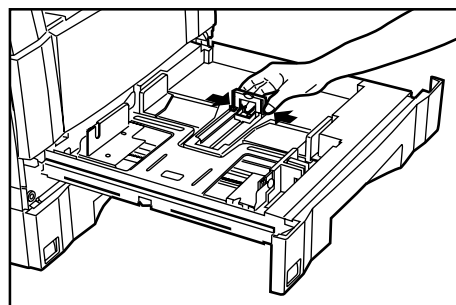
- 2 カセット底板を押し下げて、固定してください。



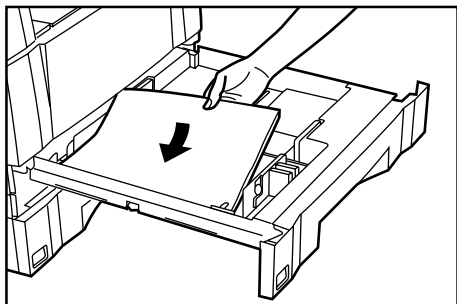
- 3 横サイズ変更つまみを持って用紙幅に横ガイドを合わせてください。
用紙サイズはカセットに刻印されています。



- 4 縦サイズ変更プレートの両側をつまみながら移動させ、縦方向の用紙長さに合わせてください。

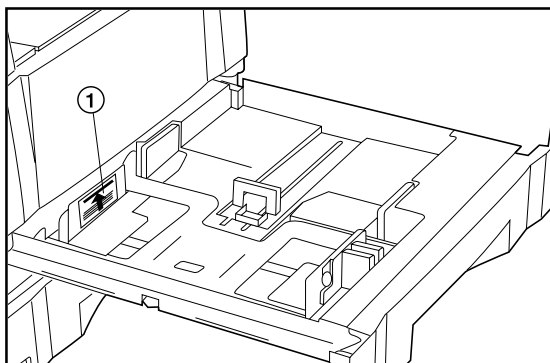


- 5** 用紙をカセットの左端にそろえて、セットしてください。

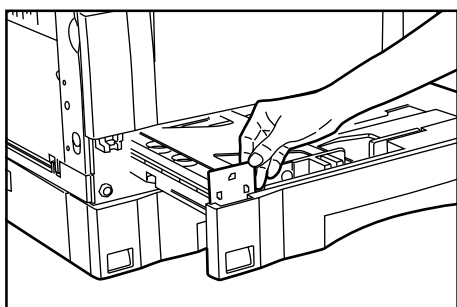


重要

- ・用紙の収納可能量を示すラベル（イラストの①）を貼っています。ラベルの目盛り以下に用紙をセットしてください。
- ・カセットに用紙を補給する場合は、コピーされる面を上向きにセットしてください。（用紙を開封したとき、コピー面が上側になります。）
- ・縦サイズ及び横サイズの変更プレートがしっかりと用紙に当たっているか確認し、隙間があるときは縦サイズ変更プレートまたは横ガイドをセットしなおしてください。
- ・高温多湿環境で小サイズの用紙で紙詰まりが発生する場合は、用紙のセット量をラベル（イラストの①）に指示された黒線まで枚数を減らしてください。



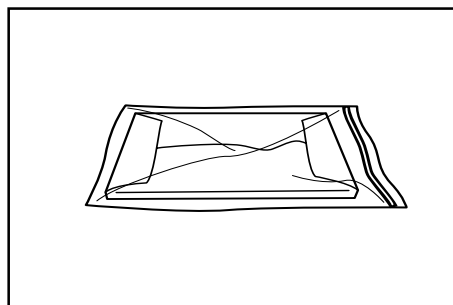
- 6** セットした用紙サイズがカセット正面からわかるように付属の用紙シートをセットしてください。



- 7** カセットを静かに押し込んでください。
※強く押し込むと用紙がカセットの爪から外れ、紙詰まりの原因となることがあります。

補足

- ・機械を長時間使用しない場合は、用紙を湿気から守るために、カセットから用紙を取り出し、元の包装紙に戻して密封してください。また、高温多湿環境で保存するときは、防湿袋に入れて密封保管してください。



(3) 手差しへの補給

普通紙の他、特殊紙をセットすることができます。特殊紙へコピーするときは必ず手差しを使用してください。

補足

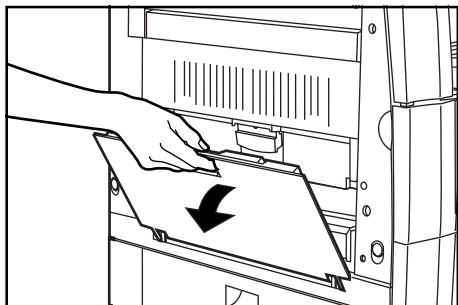
- ・普通紙やカラーペーパーのセットできる枚数はサイズによって異なります。
A3、B4：25 枚
A4、B5、A5R、B6R、A6R：50 枚
- ・使用できる特殊紙とそのセット可能枚数は次の通りです。
第二原図：1 枚
更紙：1 枚
OHP フィルム：1 枚
官製はがき：20 枚
のし紙：1 枚
普通紙（120 g / m²、160 g / m²）：1 枚

重要

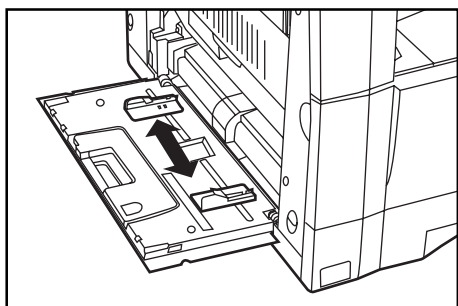
- ・手差しに OHP フィルムや厚紙など特殊紙をセットするときは、P 3-3 の「●手差しの用紙選択とサイズ設定」で用紙の種類を選択してください。

3章 ご使用前の準備

1 手差しを開いてください。

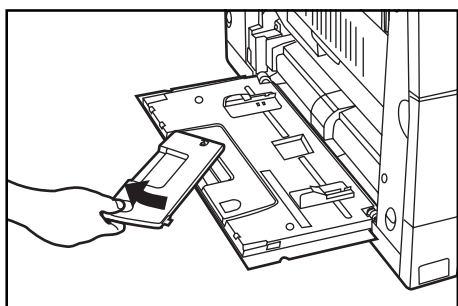


2 セットする用紙の幅にスライダーを合わせてください。

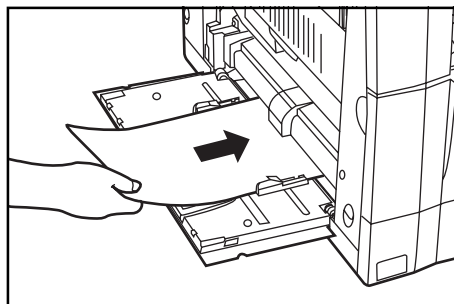


補足

- ・ A4R より長い用紙をセットするときは、手差し補助トレイを開いてください。



3 用紙をスライダーに沿わせて、止まる位置まで挿入してください。



重要

- ・ 手差しに用紙を補給する場合は、コピーされる面を下向きにセットしてください。（用紙を開封したとき、コピー面が上側になります。）先端カールがある場合は、まっすぐにのばしてからセットしてください。

補足

- ・ 手差しから OHP フィルム を通す時は、OHP フィルムと同じ大きさの紙を 1 枚 OHP フィルムの下に置いて手差しにセットしてください。

●手差しの用紙選択とサイズ設定

手差しで OHP、厚紙を使用するときは、以下の手順で用紙の種類を選択してください。また、手差しのサイズを設定すると自動用紙サイズ選択などで原稿サイズに応じた自動選択が可能となります。

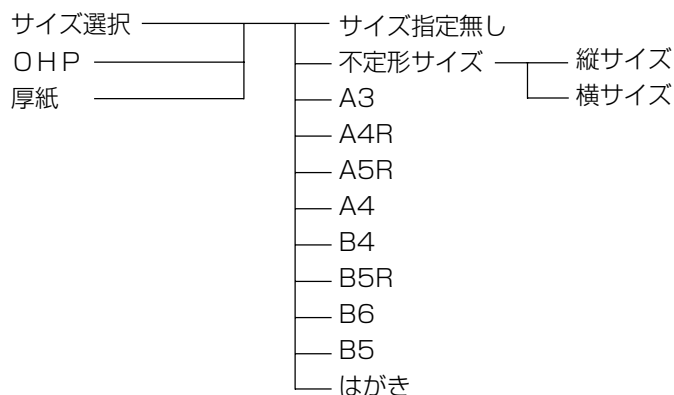
※ OHP や厚紙の設定を行った場合、コピー終了後オートクリア機能が働いたりリセットキーが押された場合は、その設定はクリアされます。しかし、用紙サイズの設定は変更されない限り保存されます。

1 用紙サイズ選択キーを 3 秒間押すと手差しのサイズ設定、OHP、厚紙の選択画面にかわります。

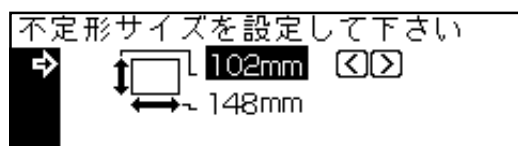


2 OHP、厚紙を使用するときは、上カーソルキーまたは下カーソルキーを押してそれぞれ“OHP”、“厚紙”を選択してください。手差しの用紙サイズを設定するときは、“サイズ設定”を選択してください。

- 3** 上カーソルキーまたは下カーソルキーを押して、用紙サイズを選択してください。任意の用紙サイズを設定するときは、“不定形サイズ”を選択して次の手順に進んでください。“サイズ指定無し”を選択すると自動用紙選択で自動的に手差しは選択されません。



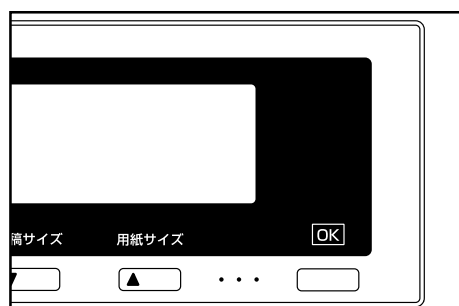
- 4** 右カーソルキーまたは左カーソルキーを押して、反転している用紙の縦長さを選択してください。100～297 mm まで 1mm 刻みで設定できます。



- 5** 下カーソルキーを押してください。

- 6** 右カーソルキーまたは左カーソルキーを押して、反転している用紙の横長さを選択してください。148～420 mm まで 1mm 刻みで設定できます。

- 7** OK キーを押してください。



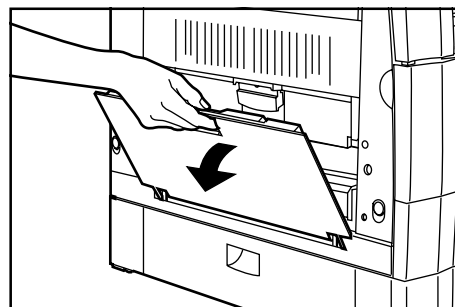
●封筒のセットのしかた

オプションのプリンタ機能を使用するときは、手差しに封筒をセットすることができます。

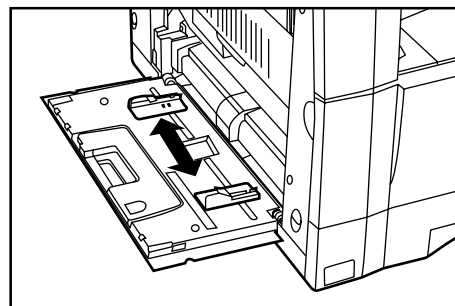
補足

- ・使用できる封筒の種類は、洋形 4 号、洋形 2 号で一度に 6 枚までセットできます。

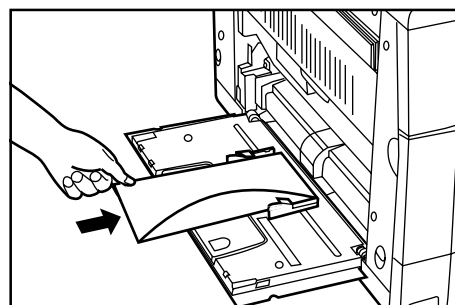
- 1** 手差しを開いてください。



- 2** セットする封筒に合わせてスライダを合わせてください。



- 3** 封筒の口を閉じて機械手前になるように、スライダーにあわせて奥までセットしてください。



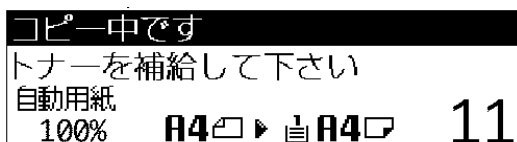
補足

- ・正しくセットされないと、異なった方向、異なった面にプリントすることがあります。

2. トナーカートリッジとトナー回収タンクの交換

メッセージ表示に“トナーを補給して下さい”が表示されたときは、トナーの補給を行ってください。メッセージが表示されても数枚はコピーができますがすぐにトナーカートリッジを交換してください。トナーカートリッジの交換が終わりたいトナー回収タンクの交換も行ってください。

※トナーの補給は、メッセージが表示されたときのみ行ってください。



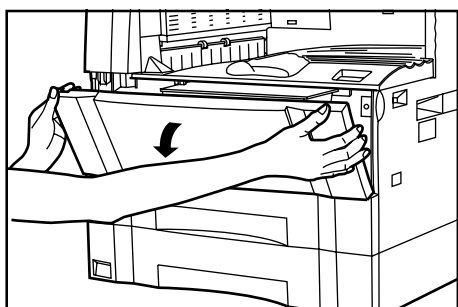
⚠ 注意

トナーコンテナおよびトナー回収タンクは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、やけどの原因となることがあります。

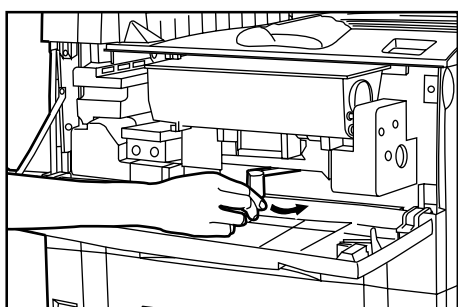
⚠ 注意

トナーコンテナおよびトナー回収タンクは、無理に開けたり、壊したりしないでください。

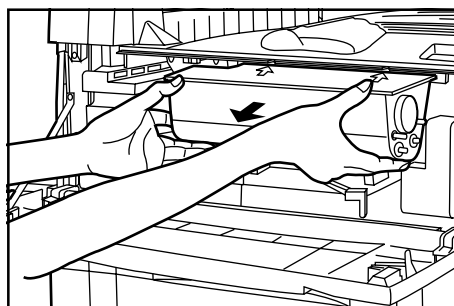
1 前カバーを開けてください。



2 トナーカートリッジ解除レバーを右に止まるまで引き出してください。古いトナーカートリッジの固定が解除されます。



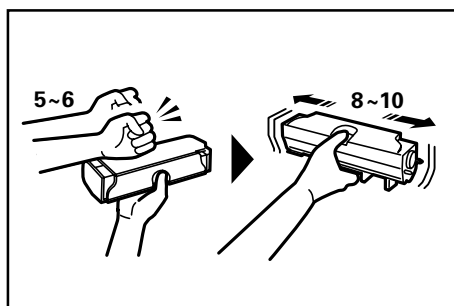
3 古いトナーカートリッジを手前に引き出してください。



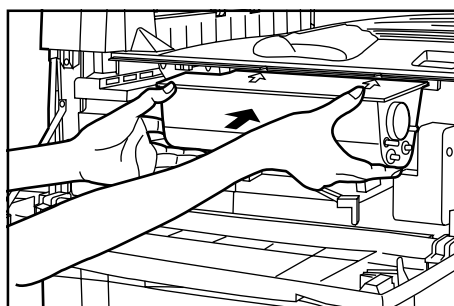
⚠ 警告

本製品本体内部の帯電部は高電圧です。感電のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

4 新しいトナーカートリッジを軽く上から5～6回たたいて、水平方向に8～10回振ってください。

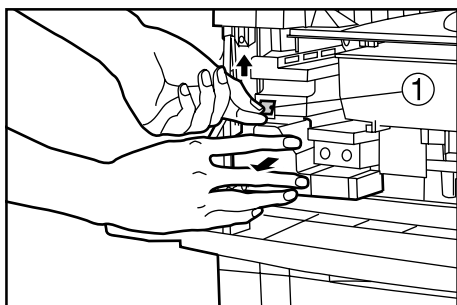


5 新しいトナーカートリッジをセットしてください。 ※トナーカートリッジの上部にある矢印を本体の切り欠きに合わせて挿入してください。

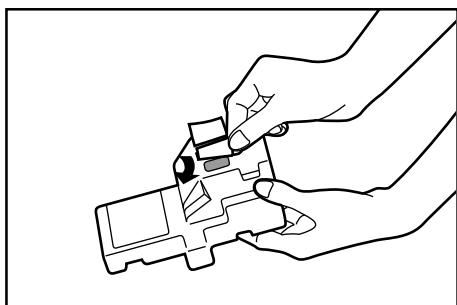


- 6** トナーカートリッジ解除レバーを左に止まるまで回してください。
新しいトナーカートリッジが固定されます。

- 7** トナー回収タンク解除レバー（イラストの①）を上を押して、トナー回収タンクを取り出してください。



- 8** トナー回収タンクのシールで開放口をふさいでください。



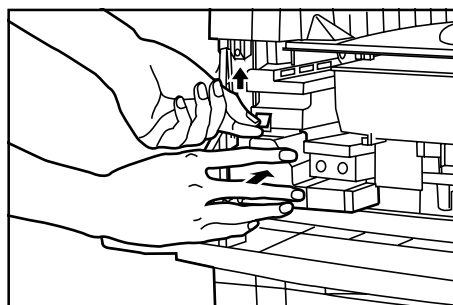
⚠ 注意

トナーコンテナおよびトナー回収タンクは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、やけどの原因となることがあります。

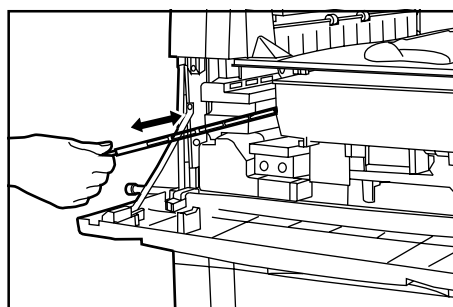
⚠ 注意

トナーコンテナおよびトナー回収タンクは、無理に開けたり、壊したりしないでください。

- 9** トナー回収タンク解除レバーを上を押して、新しいトナー回収タンクをセットしてください。



- 10** クリーナー棒をゆっくり引き出せるところまで引っ張り、もう一度押し込んでください。



重要

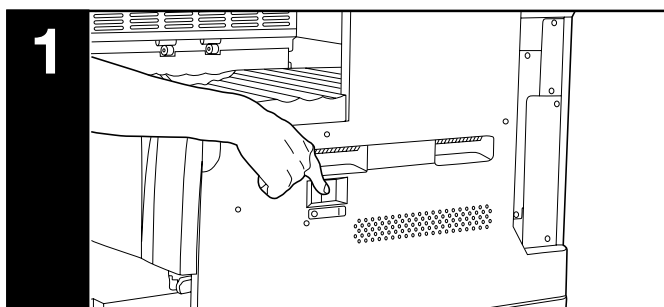
むりやりひっぱたり、引き抜いたりしないでください。

- 11** 前カバーを閉めてください。

- 使用後、不要となりましたトナーコンテナおよびトナー回収タンクは、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナおよびトナー回収タンクは、再使用もしくは再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

4 章 基本的なコピー

1. 基本的なコピーのしかた

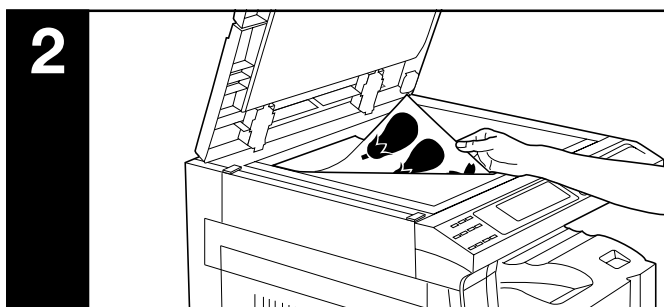


1. 機械のウォームアップ

メインスイッチをON (1) にし、ウォームアップが完了すると、メッセージ表示に“コピーできます”が表示されます。

補足

- ・ウォームアップが完了する前に、原稿をセットしてスタートキーを押すと、ウォームアップが完了すると同時にコピーを開始します。

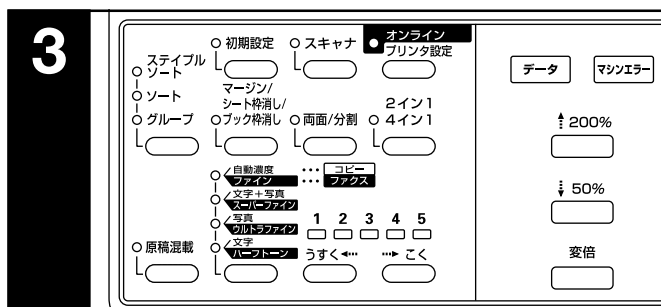


2. 原稿のセット

コンタクトガラスまたはDFに原稿をセットしてください。コンタクトガラスに原稿をセットするときは左奥を基準に原稿サイズ指示板に合わせてください。

補足

- ・DFに原稿をセットする方法は、装着しているDFがADF（原稿送り装置）の場合はP7-1を、RADF（両面自動原稿送り装置）の場合はRADFに付属の使用説明書を参照してください。



3. 機能の選択

本機の持つさまざまな機能を選択してください。



- ・コピーの縮小／拡大（P4-4 参照）
- ・割り込みコピー（P4-6 参照）
- ・いろんな原稿から両面コピー（P5-1 参照）
- ・2 ページの原稿を 1 ページずつコピー（P5-4 参照）
- ・コピーに綴じ代を作る（P5-5 参照）
- ・原稿のまわりを消去してコピー（P5-6 参照）
- ・2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚に（P5-7 参照）
- ・自動で仕分けを行う（P5-9 参照）
- ・回転コピー（P5-10 参照）
- ・原稿混載コピー（P5-10 参照）

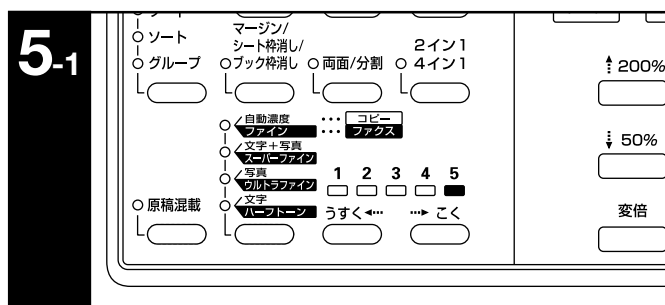


4. 用紙の選択

メッセージ表示に“自動用紙”が表示されていると原稿と同じサイズの用紙を自動的に選択します。原稿と異なる用紙サイズに等倍でコピーするときは用紙サイズ選択キーを押して用紙を選択し、等倍キーを押してください。原稿と同じサイズの用紙に、等倍でコピーするときは特に指示する必要はありません。

補足

- 自動的に用紙サイズを選択させないこともできます。(P6-12、「⑦用紙選択」参照)
- 原稿が無い状態で、自動的に選択されるカセット(給紙段)を選択することができます。(P6-13、「⑫優先カセット」参照)

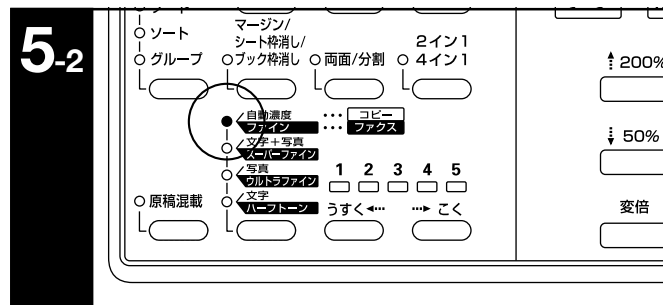


5. コピー濃度の調整

初期モードでは濃度表示が点灯しており、コピー濃度を手動で調整します。コピーを濃くしたいときは、右の濃度調節キーを押して濃度目盛りを右に移動してください。コピーをうすくしたいときは、左の濃度調節キーを押して濃度目盛りを左に移動してください。

補足

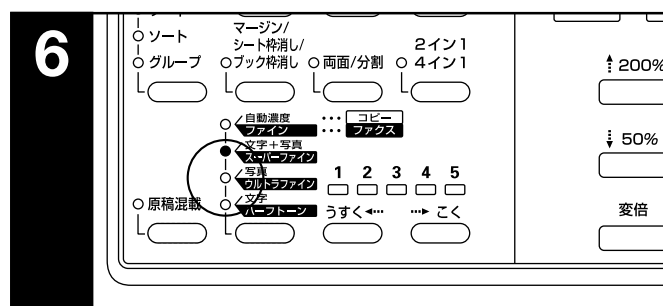
- 濃度調整のレベルを5段階と9段階のどちらかを選択することができます。(P6-11、「②濃度ステップ」参照)



コピー濃度を自動で調節するときは、画質選択キーを押して自動濃度モードを設定してください。自動濃度表示が点灯します。自動濃度モードでは、原稿の濃度を検知して最適のコピー濃度をセットします。また、原稿の地色をとばしてきれいにコピーすることができます。

補足

- 濃度が薄いときや濃いときは、全体的に濃度調整をすることができます。(P6-12、「③自動濃度調整」参照)
- コピー濃度調整の初期設定を自動濃度モードにすることができます。(P6-11、「①濃度モード」参照)



6. 画質の選択

原稿の種類に合わせて、画質を選択することができます。画質選択キーを押して以下の表示を点灯させてください。

文字モード：文字表示を点灯させてください

写真モード：写真表示を点灯させてください

文字+写真モード：文字+写真表示を点灯させてください

エコプリント：画質選択キーを押して画質のモード表示を全て消灯します。エコプリントでコピーすると画像は若干うすくなりますが、トナーの消費量を節約できます

補足

- 初期モードで選択される画質のモードを選択することができます。(P6-11、「①濃度モード」参照)
- それぞれの画質のモードで全体的に濃度調整をすることができます。(P6-12「④混在原稿濃度、⑤写真原稿濃度、⑥文字原稿濃度」参照)

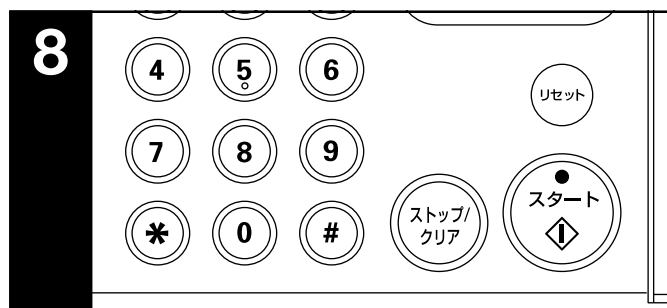


7. コピー枚数の設定

テンキーを押して、メッセージ表示のコピー枚数表示を希望の枚数にしてください。一度に250枚までセットできます。

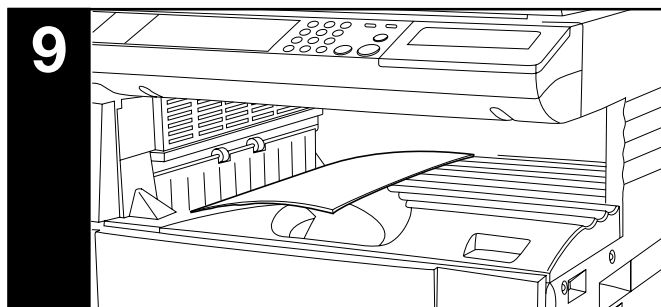
補足

- 一度にできるコピー枚数を制限することもできます。
(P6-13、「⑨コピー部数制限」参照)



8. コピースタート

スタートキーを押してください。スタート表示が緑色に点灯し、メッセージ表示に“コピーできます”が表示されているときはコピーできます。

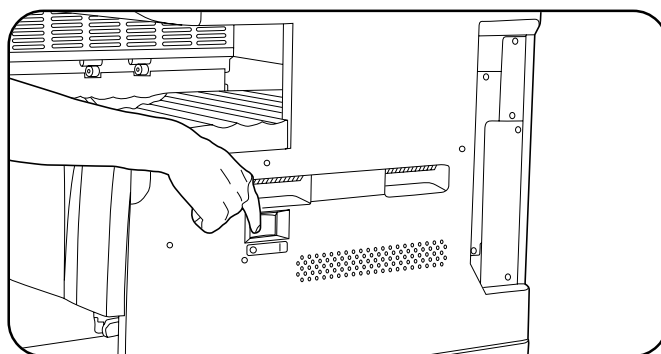


9. コピー終了

仕上がったコピーはコピー収納部に排紙されます。

重要

- 収納枚数は普通紙（64g/m²）で250枚までです。但し、使用ペーパーの状態により収納枚数は変化します。
- ジョブセパレータを装着している場合は、収納枚数は普通紙（64g/m²）で150枚までです。
- フィニッシャーを装着している場合は、収納枚数は普通紙（64g/m²）で100枚までです。
- “用紙を取り除いて下さい 本体排出用紙オーバーです”が表示された場合は、コピー収納部の排出枚数オーバーです。コピー収納部の用紙を取り除いた後、スタートキーを押してコピーを再開してください。
“用紙を取り除いて下さい ジョブセパレータ用紙オーバーです”が表示された場合は、オプションのジョブセパレータの排出枚数オーバーです。ジョブセパレータの用紙を取り除いた後、自動的にコピーが再開します。
- 仕上がったコピーがカールなどしてきれいに収納されないときは、使用されているカセットまたは手差し用の紙を一度取り出し、裏返してからセットし直してください。



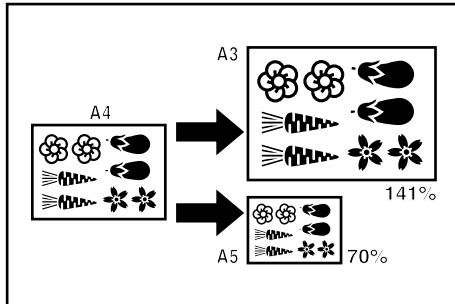
⚠ 注意

夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、メインスイッチを切ってください。また連休等で長期間、本製品を使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

2. コピーの縮小／拡大

(1) 自動倍率選択モード

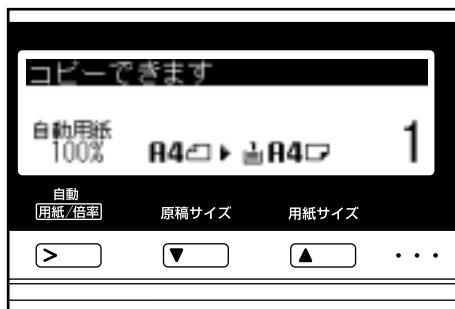
選択した用紙サイズに合わせて縮小／拡大します。



重要

- ・このモードを常時使用するときには、P6-12、「⑧自動倍率モード」で“自動倍率優先”が選択されていることを確認してください。

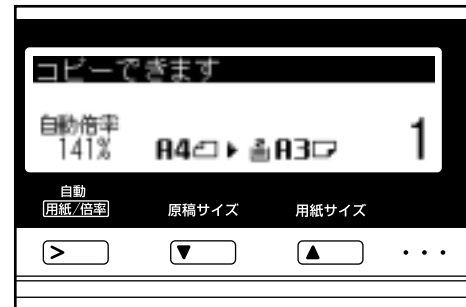
- 1 原稿をセットしてください。
原稿サイズを自動的に検知し、同じサイズの下紙を選択します。



補足

- ・P6-12、「⑧自動倍率モード」で“等倍優先”を選択したときは、自動用紙倍率キーを押して、“自動倍率”を表示させてください。

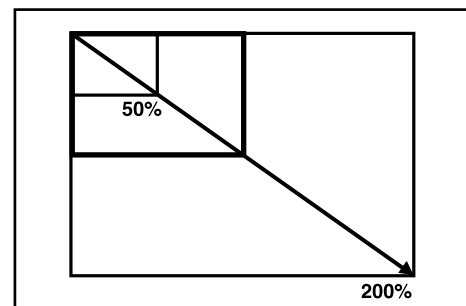
- 2 用紙サイズ選択キーを押して用紙を選択してください。
コピー倍率が表示されます。



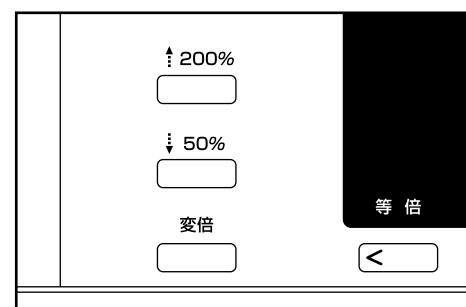
- 3 スタートキーを押すとコピーを開始します。

(2) ズームコピーモード

50～200%の範囲で1%きざみで倍率を変えることができます。



- 1 原稿をセットしてください。
- 2 倍率アップキーまたは倍率ダウンキーで表示されている倍率を変更してください。
用紙サイズを変更するときは用紙サイズ選択キーを押してください。



- 3 スタートキーを押すとコピーを開始します。

4章 基本的なコピー

(3) 固定変倍モード

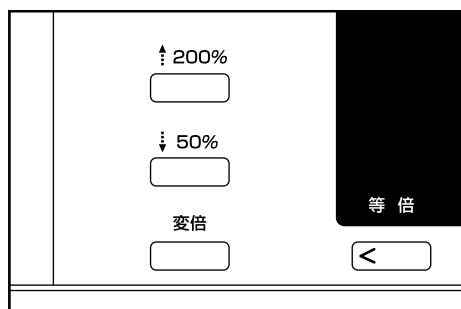
あらかじめ本機に記憶しているコピー倍率で縮小／拡大コピーができます。

[選択できる倍率]

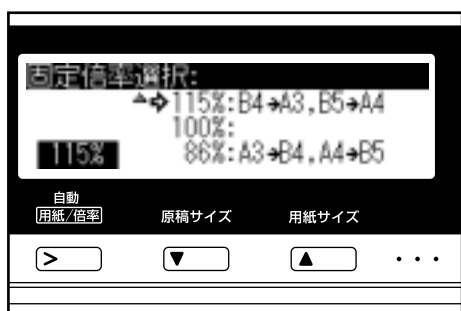
拡大	200% : A5 → A3
	141% : A4 → A3、B5 → B4
	122% : A4 → B4、A5 → B5
	115% : B4 → A3、B5 → A4
縮小	86% : A3 → B4、A4 → B5
	81% : B4 → A4、B5 → A5
	70% : A3 → A4、B4 → B5
	50% : A3 → A5

1 原稿をセットしてください。

2 変倍キーを押してください。
変倍モードの設定画面が表示されます。

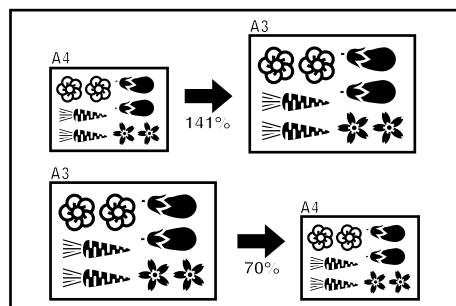


3 上カーソルキーまたは下カーソルキーを押して倍率を選択し、OKキーを押してください。
“コピーできます”の画面に戻り、選択した倍率が表示されます。



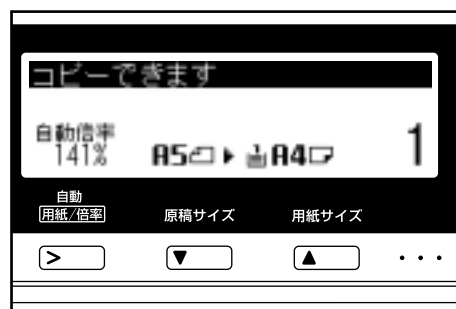
(4) 定形変倍モード

原稿のサイズと用紙のサイズを設定すると、自動的に倍率を選択します。

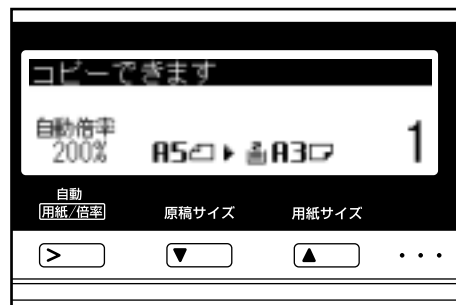


1 原稿をセットしてください。

2 原稿サイズ選択キーを押して原稿サイズを選択してください。



3 用紙サイズ選択キーを押して用紙サイズを選択してください。
用紙サイズが選択されるとコピー倍率が表示されます。



4 スタートキーを押すとコピーを開始します。

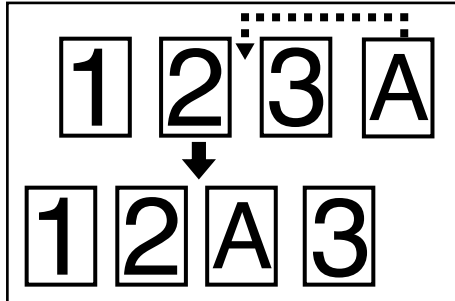
補足

- ・ 選択した倍率からテンキーや倍率アップキー、倍率ダウンキーを押して1%刻みで倍率を変更することができます。

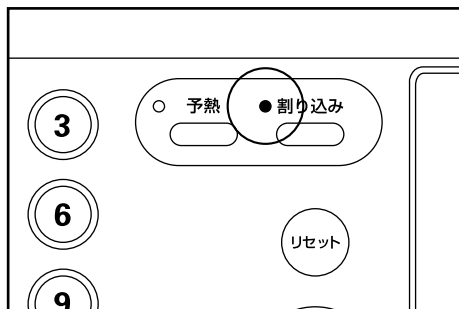
4 スタートキーを押すとコピーを開始します。

3. 割り込みコピー

コピーの途中で、別の原稿を異なった設定でコピーしたいときは、割り込みコピーが便利です。割り込んだコピーの後に、中断されたコピーを同じ設定で再開することができます。



- 1 割り込みコピーキーを押して、割り込みコピー表示を点灯させてください。
“割り込みコピーできます”が表示されます。



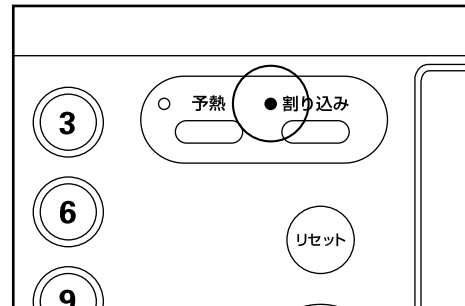
- 2 コピー中の原稿をいったん保管しておいてください。



- 3 割り込み原稿をセットしてコピーを行ってください。

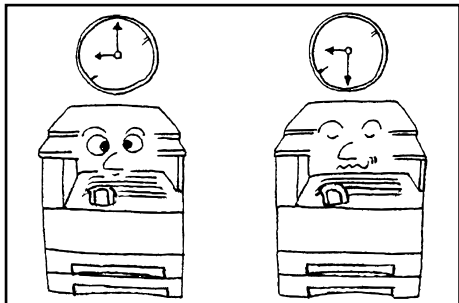
- 4 割り込みコピーが終了したら、割り込みコピーキーを押し、保管していた原稿に替えてください。スタートキーを押すとコピーを再開します。

※割り込みコピーが終了したら、約120秒経過すると、オートクリア機能が働き、割り込みコピー表示が消え、中断されたコピー状態に戻ります。

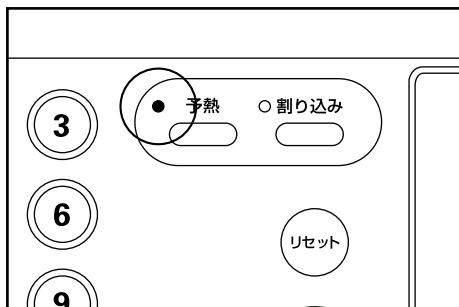


4. 予熱（プレヒート）機能

メインスイッチがONのときでも予熱（プレヒート）キーを押すと、機械は休止状態になります。操作パネル上の表示は予熱（プレヒート）表示だけが点灯し、他は消灯します。



コピーを再開するときは、もう一度予熱（プレヒート）キーを押してください。コピー可能状態までの復帰時間は30秒以内です。

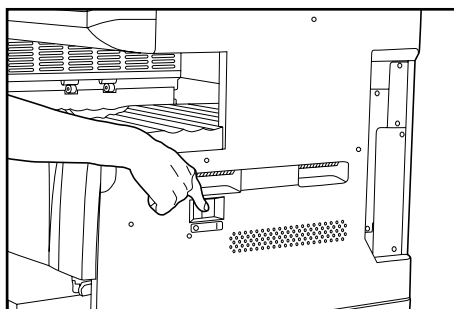
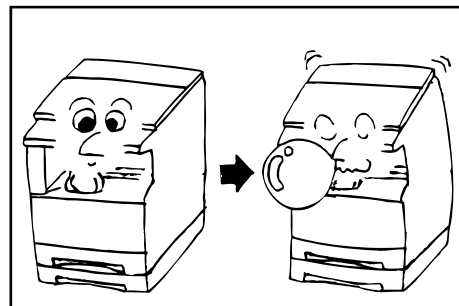


補足

- ・一定時間コピー作業をしないと自動的に予熱（プレヒート）機能が働くオートプレヒートモードを使用することができます。（P6-18、「⑧オートプレヒートタイム」を参照）

5. オートシャットオフ機能

オートシャットオフ機能は、一定時間（15～240分）コピー操作を行わないと、自動的にメインスイッチをOFF（0）にする機能です。コピーを行うときはメインスイッチをON（1）にしてください。



●オートシャットオフ機能について

オートシャットオフ機能は、一定時間コピー操作がないと自動的に電源をOFF（0）にする節電機能です。

複写機は、一般にコピー作業中よりも待機状態が多く、待機時に消費する電力が全体の大きな割合を占めています。複写機本体が自動的に電源をOFF（0）にすることにより、待機中や夜間の電源の消し忘れなどの不要な電力の消費を抑えることができ、電気料金の削減を行うことができます。

補足

- ・オートシャットオフ機能が働くまでの時間の変更は、P6-18、「⑨オートシャットオフタイム」を、オートシャットオフ機能を解除するときは、P6-16、「②オートシャットオフ」を参照してください。

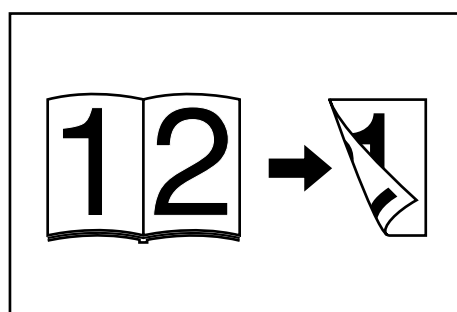
5 章 機能的なコピー

1. いろんな原稿から両面コピー [両面コピー]

オプションの両面ユニットを使用しているとき見開き原稿や片面原稿などいろんな原稿から両面コピーがとれます。

(2) ブック原稿からの両面コピー

雑誌や本などの見開き 2 ページを 1 回のスタートキー操作で用紙の両面にコピーを行います。

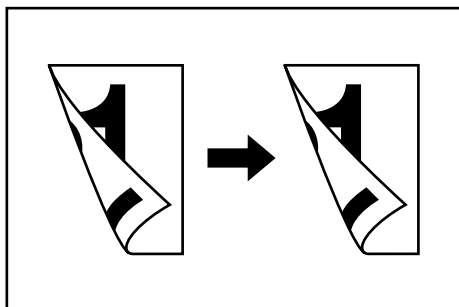


重要

・手差しを使用して両面コピーすることはできません。

(1) 両面原稿からの両面コピー

裏表両面の原稿を同じように両面コピーします。



重要

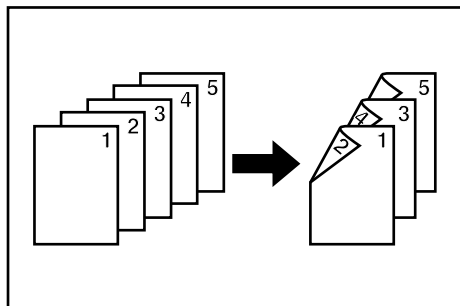
・このモードに使用できる用紙サイズは A4、B5 に限られます。

重要

・使用できる用紙サイズは A3 ～ A5R です。

(3) 片面原稿からの両面コピー

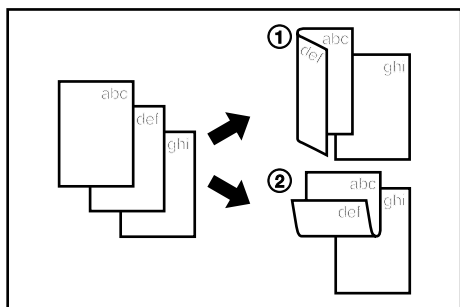
片面原稿を裏表に両面コピーします。原稿が奇数枚のときは、最終ページの裏面が白紙になります。



補足

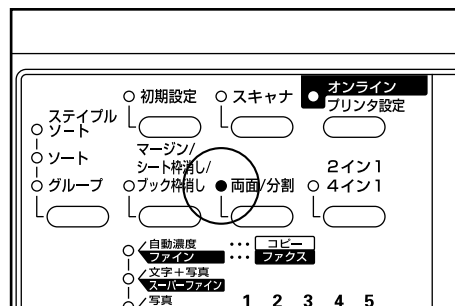
・裏面のコピーを180度回転させてコピーすることもできます。

- ① 回転しない：裏面のコピーをそのままの方向でコピーをします。
- ② 回転する：裏面のコピーを180度回転させてコピーをします。仕上がったコピーを上で綴じて、各見開きのページが同じ方向にコピーされているようにできます。

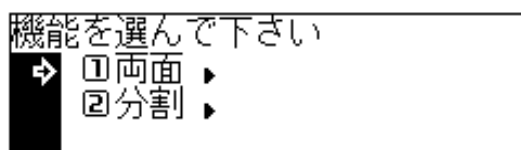


1 原稿をセットしてください。

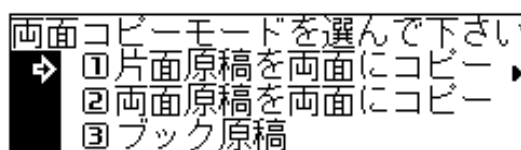
2 両面／分割コピーキーを押して、表示を点灯させてください。
機能選択画面が表示されます。



3 “両面” が選択されていることを確認して、OK キーを押してください。
両面コピーの設定画面が表示されます。



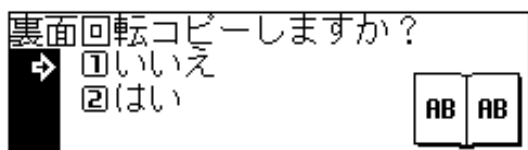
4 下カーソルキーを押して両面コピーのモードを選択してください。



5 OK キーを押してください。
“片面原稿を両面にコピー” を選択した場合は次の手順に進んでください。
“両面原稿を両面にコピー” または “ブック原稿” を選択した場合は “両面コピーできません” の画面に替わります。

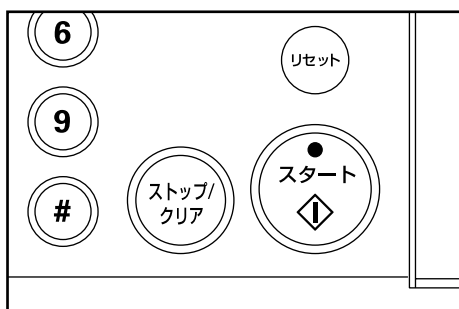
5章 機能的なコピー

- 6** 裏面のコピーを180度回転させるかどうか選択してください。

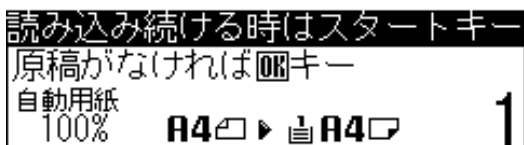


- 7** OKキーを押してください。
“両面コピーできます”の画面に替わります。

- 8** スタートキーを押してください。原稿の読み取りを開始します。DFに原稿をセットしたときはコピーを行います。コンタクトガラスにセットしたときは次の手順に進んでください。



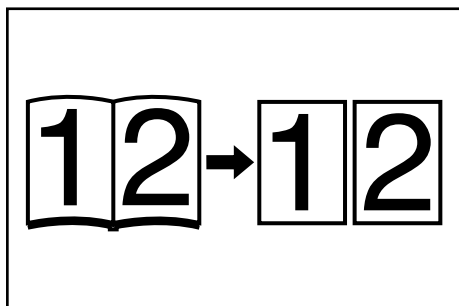
- 9** 原稿を入れ替えてスタートキーを押してください。原稿の読み取りを行います。
コピーする原稿に同様の操作を行い、最後にOKキーを押してください。コピーを開始します。



2. 2 ページの原稿を 1 ページずつコピー [分割コピー]

(1) ブック原稿からの分割コピー

雑誌・本などの見開き 2 ページの原稿を 1 ページずつ別々にコピーします。

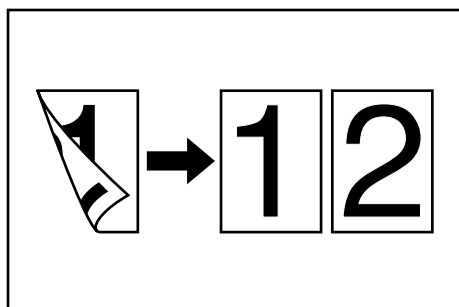


重要

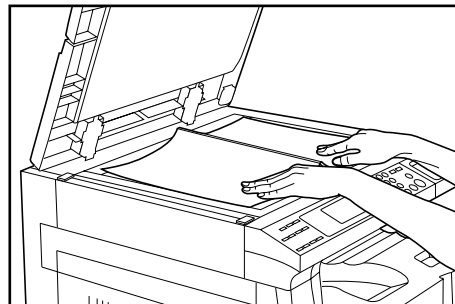
- ・ 使用できる原稿サイズは見開きで A3、B4、A4R、B5R と A5R、用紙サイズは A4、A4R、B5、B5R (A4R、B5R は回転コピー) に限られます。用紙サイズを変更して、そのサイズに変倍することができます。

(2) 両面原稿からの分割コピー

両面原稿を 1 ページずつ別々にコピーします。



1 原稿をセットしてください。

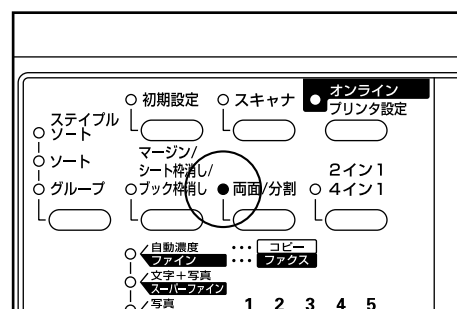


補足

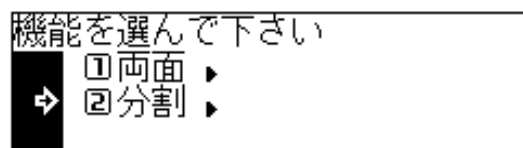
- ・ ブック原稿をセットするときはイラストのようにセットしてください。

2 両面／分割コピーキーを押して、表示を点灯させてください。

機能選択画面が表示されます。



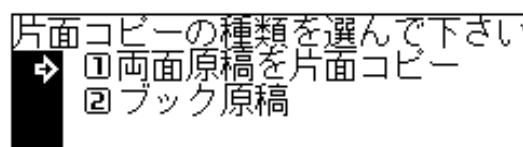
3 下カーソルキーを押して、“分割”を選択してください。



4 OK キーを押してください。

分割コピーの設定画面が表示されます。

5 下カーソルキーを押して、分割コピーのモードを選択してください。

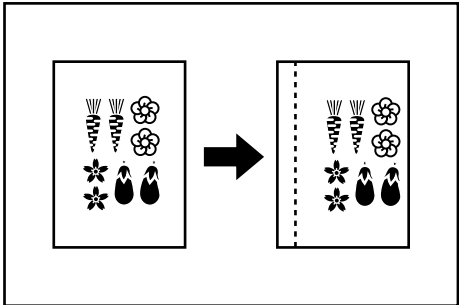


6 OK キーを押してください。

“コピーできます”の画面に戻ります。

3. コピーに綴じ代を作る【マージンコピー】

原稿の画像の位置を右にずらしてコピーし、左側に 1 mm～18 mmの間で 1 mm刻みの幅でとじ代（余白）を作ります。



補足

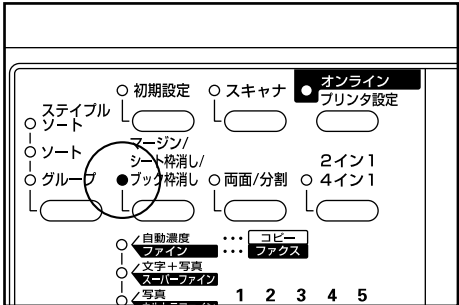
- ・ マージン幅の初期値を設定することができます。
（P6-13、「⑩ マージン幅設定」参照）
- ・ 両面コピー設定時に左マージンを設定すると、裏面には表面と同じ幅の右マージンが自動的に設定されます。

1 原稿をセットしてください。

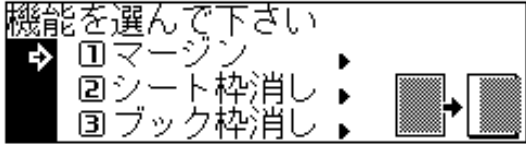
重要

- ・ 原稿は上方向（または左方向）が奥になるようにセットしてください。原稿のセット方向を誤ると設定した位置に綴じ代が作られません。

2 マージン／シート粹消し／ブック粹消しキーを押して、表示を点灯させてください。
機能選択画面が表示されます。



3 “マージン” が選択されていることを確認して、OK キーを押してください。
マージンコピーの設定画面が表示されます。



4 マージン幅の設定を変更するときには、右カーソルキーまたは左カーソルキーを押してマージン幅を設定してください。1 mm～18 mmの間で 1 mm刻みで設定できます。
マージン幅の設定の変更をしない場合はそのまま次の手順に進んでください。

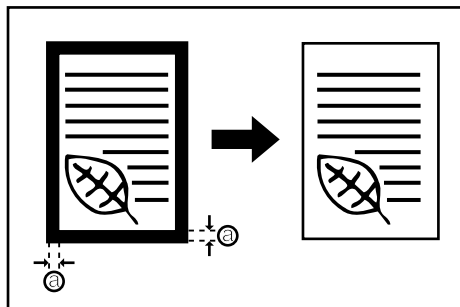


5 OK キーを押してください。“コピーできます”の画面に戻ります。

4. 原稿のまわりを消去してコピー [枠消し]

(1) シート原稿のまわりを消去 (シート枠消し)

シート原稿のまわりにできた黒い陰を消すときに使用してください。枠消し幅は6、12、18 mmの中から選択できます。(イラストの③は枠消し幅)

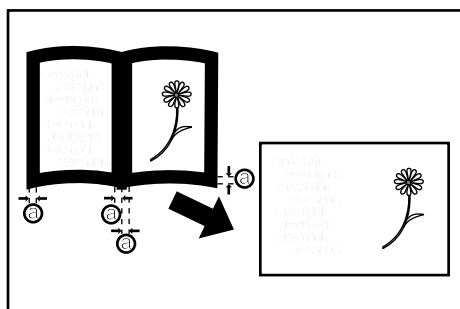


補足

- ・ 枠消し幅の初期値を設定することができます。(P6-13、「①枠消し幅選択」参照)

(2) ブック原稿のまわりと中央部を消去 (ブック枠消し)

分厚い本をきれいにコピーするときに使用してください。枠消し幅は6、12、18mmの中から選択できます。(イラストの③は枠消し幅)



補足

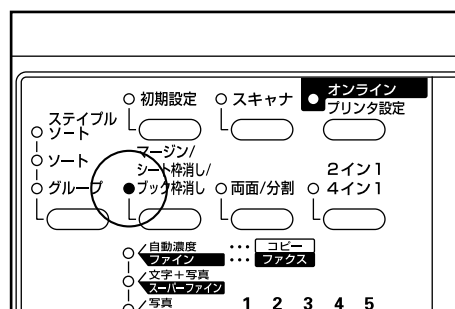
- ・ 枠消し幅の初期値を設定することができます。(P6-13、「①枠消し幅選択」参照)

1 原稿をセットしてください。

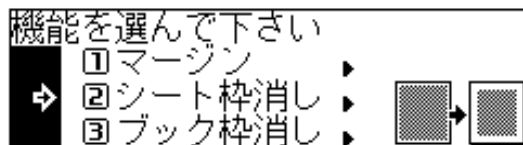
補足

- ・ ブック原稿をセットするときは、P5-4の手順1を参照してください。

2 マージン/シート枠消し/ブック枠消しキーを押して、表示を点灯させてください。 機能選択画面が表示されます。

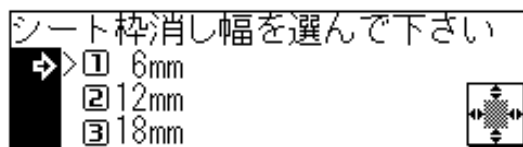


3 下カーソルキーを押して、枠消しのモードを選択してください。



4 OK キーを押してください。

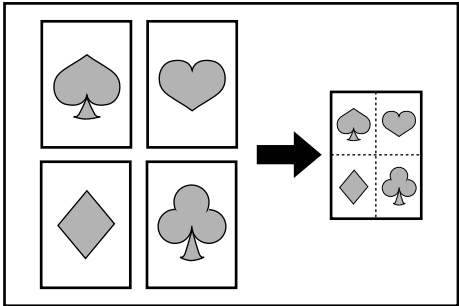
5 下カーソルキーまたは上カーソルキーを押して、枠消し幅を選択してください。6、12、18mmの中から選択できます。



6 OK キーを押してください。“コピーできます”の画面に戻ります。

5. 2枚または4枚の原稿を1枚に【集約コピー】

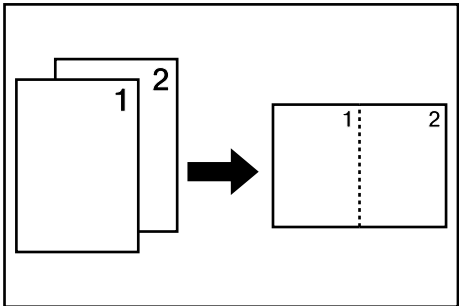
2枚あるいは4枚の原稿を縮小し、1枚のコピーに集約することができます。また、各原稿の境界線を実線、点線で区切ることができます。



補足
・原稿サイズ、用紙サイズは定形サイズのみ使用できます。

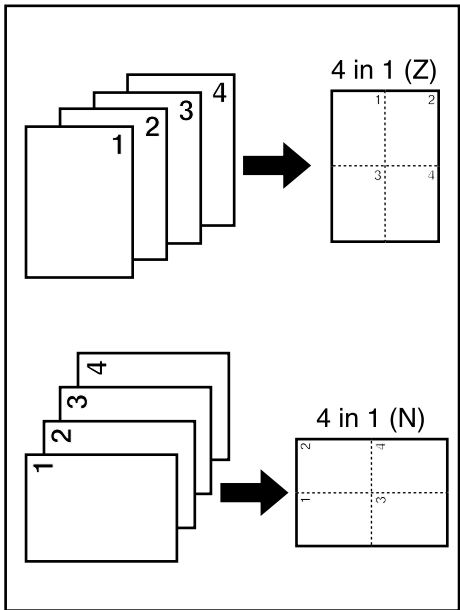
(1) 2 in 1

2枚の原稿を1枚のコピーにします。オプションの両面ユニットを使用して、両面コピーと併用すると4枚の原稿を1枚の両面コピーにすることができます。
(原稿をコンタクトガラスにセットするときは1→2の順で行ってください。)



(2) 4 in 1

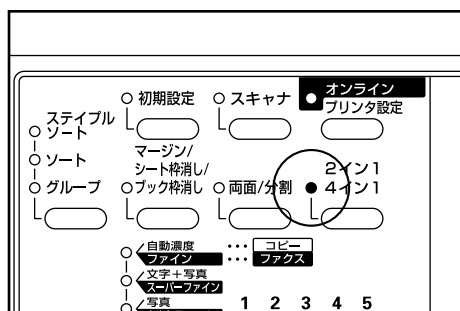
4枚の原稿を1枚のコピーにします。オプションの両面ユニットを使用して、両面コピーと併用すると8枚の原稿を1枚の両面コピーにすることができます。
(原稿をコンタクトガラスにセットするときは1→2→3→4の順で行ってください。)



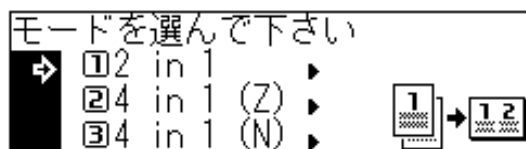
原稿	原稿のセット場所	
	DF	コンタクトガラス
P 縦		
L 横		

補足
・“4 in 1”モードは原稿のセット方向によってモードが異なります。
・両面コピーする場合は、裏面を回転させてコピーすることもできます。

- 1** 集約コピーキーを押して、表示を点灯させてください。
集約コピーの設定画面が表示されます。

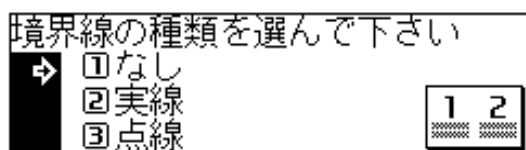


- 2** 下カーソルキーまたは上カーソルキーを押して、集約コピーのモードを選択してください。
“4 in 1” モードで原稿を横にセットするときは“4 in 1 (Z)”を、原稿を縦にセットするときは“4 in 1 (N)”を選択してください。



- 3** OK キーを押してください。

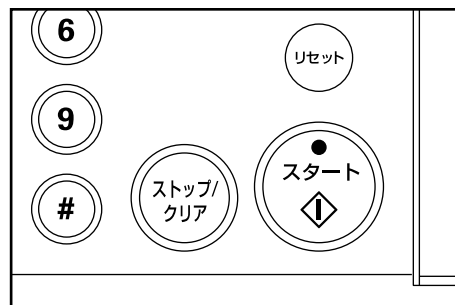
- 4** 下カーソルキーまたは上カーソルキーを押して、境界線の種類を選択してください。“点線”、“実線”の中から選択してください。



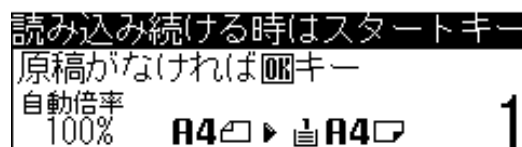
- 5** OK キーを押してください。
“コピーできます”の画面に戻ります。

- 6** 原稿をセットしてください。

- 7** スタートキーを押してください。
DFに原稿をセットした場合は、原稿を1枚ずつ読み取りコピーまで行います。
コンタクトガラスに原稿をセットした場合には次の手順に進んでください。



- 8** 原稿を入れ替えてスタートキーを押してください。原稿の読み取りを行います。コピーする原稿に同様の操作を行い、最後にOKキーを押してください。コピーを開始します。

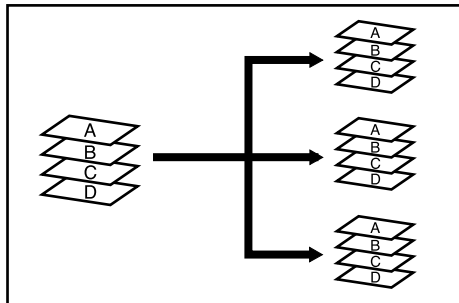


重要

- ・ 原稿をコンタクトガラスにセットしてコピーするときは、セットする順番を確認してから行ってください。
- ・ 必要に応じて用紙を選択してください。

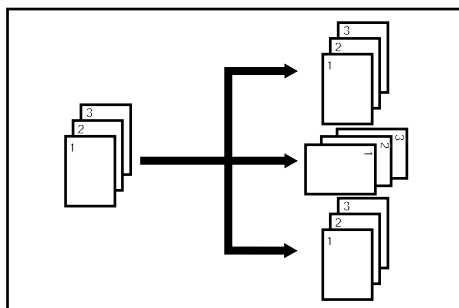
6. 自動で仕分けを行う【ソートコピー】

複数枚の原稿をいったんメモリーに入れてコピーを行うため、オプションのフィニッシャーがなくても、必要部数仕分けを行うことができます。

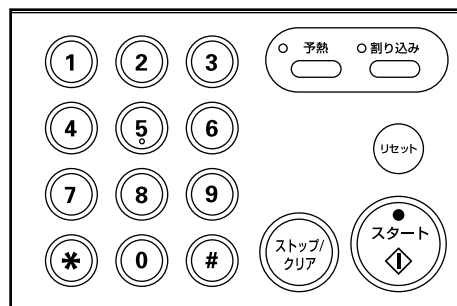


補足

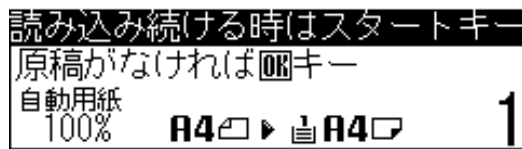
- ・ P6-13、「⑭回転ソート設定」で“On” の設定をしてあり、用紙が A4 または B5 であれば、1 部ずつのコピーの方向を変えてコピーし、仕分けがしやすくなります。この設定を使用するときには A4 または B5 の用紙が縦横両方向でセットされていなければなりません。
- ・ 回転ソートコピーで手差しを使用する場合は手差しサイズ設定（P3-3 参照）をしてください。



- 3 コピー部数を入力し、スタートキーを押してください。DF に原稿をセットした場合は読み込みを開始し、コピーまで行います。
コンタクトガラスに原稿をセットした場合は、次の手順に進んでください。



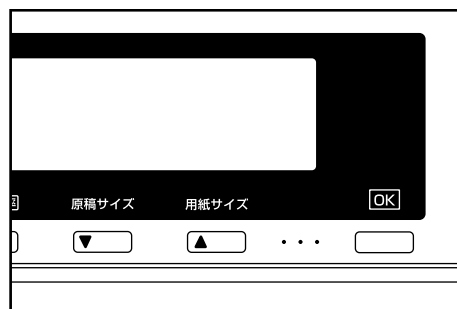
- 4 原稿を入れ替えてスタートキーを押してください。



補足

- ・ 原稿の枚数分繰り返してください。

- 5 すべての原稿の読み込みが終了したら OK キーを押してください。
コピーを開始します。



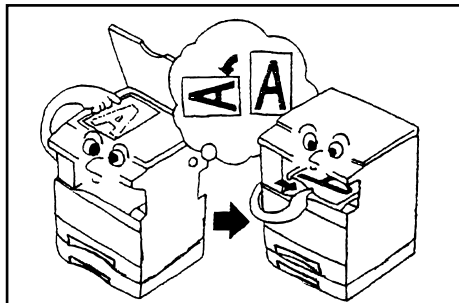
- 1 原稿をセットしてください。

- 2 ソートモードキーを押して、ソート表示を点灯させてください。



7. 回転コピー

セットした原稿の向きとカセットの中の用紙の向きが異なる場合でも、画像を反時計回りに90度回転してコピーします。この機能に関して、特に設定などを行う必要はありません。

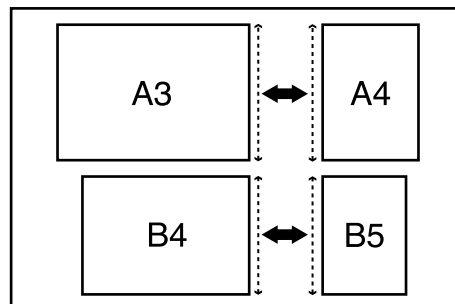


重要

- ・自動用紙選択モードで、回転コピーできるのは原稿／用紙ともに、A4、A4RとB5、B5Rに限られます。
- ・自動倍率選択モードで、回転コピーを使用できる用紙サイズは、A4、A4R、A5R、B5、B5R、B6R、はがきに限られます。

8. 原稿混載コピー

オプションのDFを使用しているとき、原稿のサイズを1枚ずつ検知して、それぞれの原稿と同じサイズ of 用紙に自動的にコピーします。

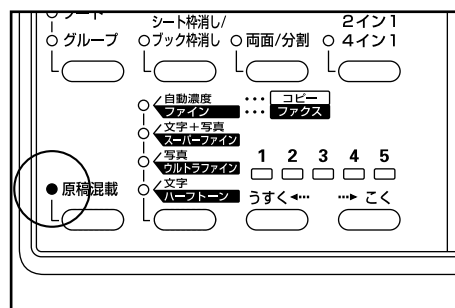


重要

- ・このモードでDFにセットできる枚数は、最大50枚です。
- ・このモードで使用できる原稿はA3とA4あるいはB4とB5で、原稿幅が同じサイズのものに限られます。

1 DFに原稿をセットしてください。

2 原稿混載キーを押して、表示を点灯させてください。



3 スタートキーを押してください。
コピーを開始します。

6 章 複写機管理モード

1. 部門管理

部門別に4桁の部門コード（暗証番号）を設定することにより、最大100部門までの部門別のトータルコピー枚数を管理します。また、部門別に制限枚数を設定することもできます。



(1) 部門管理モードについて

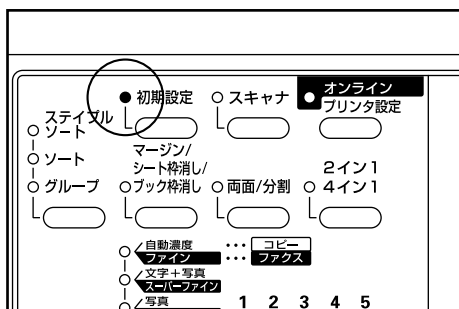
部門管理モード	部門管理モードの内容	参照ページ
●新規部門登録	4桁の部門コードとその制限枚数の登録を行います。部門コードは100部門まで登録することができます。制限枚数は、1,000枚単位で999,000枚まで入力することができます。“0”を入力すると、無制限にコピーができます。制限枚数を設定し、実際に制限枚数以上になるとコピーできなくなります。	6-3
●部門の抹消	登録された部門を抹消するときに行います。	6-4
●制限枚数の修正	一度登録された制限枚数は、部門コードを抹消、再登録せずに修正することができます。	6-5
●コピーカウントのクリア	一定期間にコピー枚数を管理した後、コピー枚数を一括して消去することができます。部門コード別の消去はできません。	6-6
●コピーカウントの参照	コピー枚数を参照するときに行ってください。トータル枚数のほか、サイズ別、部門別に参照できます。	6-6
●部門管理リストの出力	部門別にコピーした枚数をレポート形式にして出力することができます。	6-7

部門管理モード	部門管理モードの内容	参照ページ
●部門管理の ON / OFF	セットした部門管理モードを実際に働かせるときには ON に、部門管理を行わないときには OFF にしてください。	6-8
●プリンタ部門管理の ON / OFF	本機のプリンタ機能から用紙を出力する際に部門管理を行うときは ON に、部門管理を行わないときは OFF にしてください。 ※オプションのプリンタキットを装着していなければこのモードは表示されません。 詳しくはプリンタキットの使用説明書を参照してください。	————
●プリントエラーレポートの ON/OFF	プリンタ部門管理時に部門コードのミスマッチエラーが発生した場合にエラーの内容をプリントすることができます。 プリントをする場合は ON に、プリントをしない場合は OFF にしてください。 ※オプションのプリンタキットを装着していなければこのモードは表示されません。 詳しくはプリンタキットの使用説明書を参照してください。	————

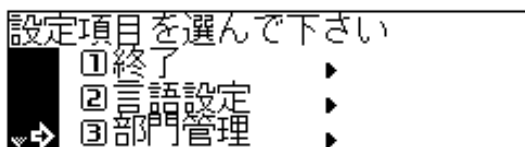
6章 複写機の管理モード

(2) 部門管理の選択画面の表示のさせかた

- 1 初期設定キーを押して初期設定表示を点灯させてください。
管理モードの選択画面が表示されます。

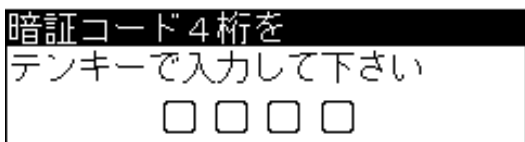


- 2 下カーソルキーを押して、“部門管理”を選択してください。



- 3 OKキーを押してください。

- 4 テンキーで暗証番号“2000”を入力してください。



補足

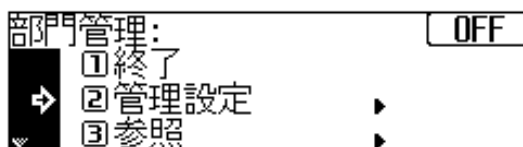
- ・ 4桁の暗証番号は変更することができます。(P6-18、「⑫暗証コード変更」参照)
- ・ 以降の「(3) 各モードの設定のしかた」を参照して設定を行ってください。
- ・ 選択画面で表示される (>) は現在の設定値を示します。

(3) 各モードの設定のしかた

●新規部門登録

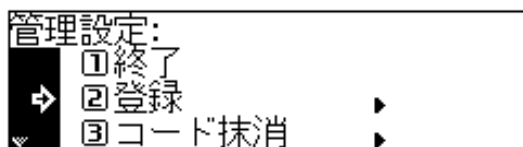
- 1 部門管理の選択画面を表示させてください。
(「(2) 部門管理の選択画面の表示のさせかた」参照)

- 2 下カーソルキーを押して、“管理設定”を選択してください。



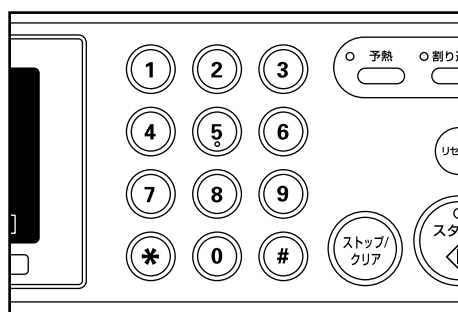
- 3 OKキーを押してください。

- 4 下カーソルキーを押して、“登録”を選択してください。



- 5 OKキーを押してください。

- 6 テンキーで部門コード（4桁）を入力してください。



- 7 下カーソルキーを押して制限枚数を反転させてください。

- 8** 制限枚数をテンキーで入力してください。
1,000～999,000 枚まで 1,000 枚単位で入力できます。



補足

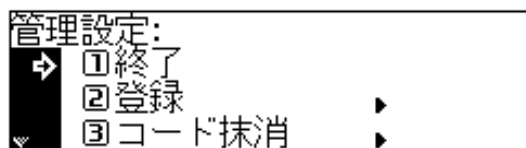
- ・“0”を入力すると、無制限にコピーができます。
- ・ストップ／クリアキーを押すと登録したコード番号をキャンセルしてコード番号を入力し直すことができます。

- 9** OK キーを押してください。手順4の画面に戻ります。

補足

- ・その他の部門を登録するときは手順5～9を行ってください。

- 10** 上カーソルキーを押して“終了”を選択して、OK キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

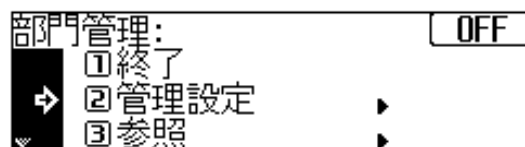


- 11** 上カーソルキーを押して“終了”を選択して、OK キーを押してください。“コピーできます”の画面に戻ります。

●部門の抹消

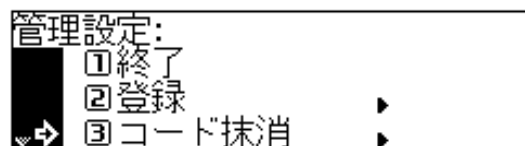
- 1** 部門管理の選択画面を表示させてください。
(P6-3 参照)

- 2** 下カーソルキーを押して、“管理設定”を選択してください。



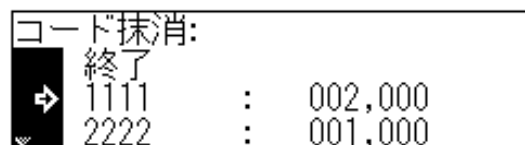
- 3** OK キーを押してください。

- 4** 下カーソルキーを押して、“コード抹消”を選択してください。



- 5** OK キーを押してください。

- 6** 上カーソルキーまたは下カーソルキーを押して、抹消する部門コードを選択してください。



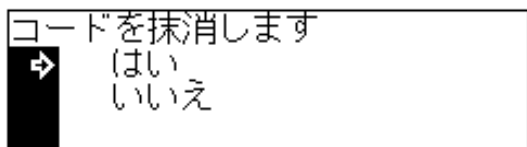
補足

- ・部門コードの登録が全くされていない場合は「―――」と表示され、カーソルは動きません。

- 7** OK キーを押してください。

6章 複写機の管理モード

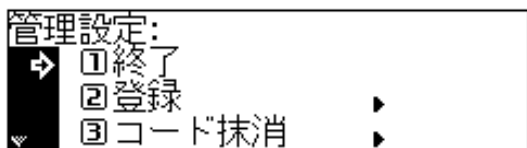
- 8** 抹消を確認するメッセージが表示されます。抹消を行うときは上カーソルキーを押して“はい”を選択し、OKキーを押してください。取りやめるときは、“いいえ”が選択されていることを確認して、OKキーを押してください。手順6の画面に戻ります。



補足

- ・その他の部門を抹消するときは手順6～8を行ってください。

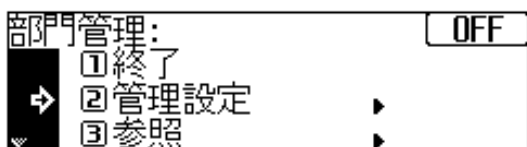
- 9** “終了”が選択されていることを確認して、OKキーを押してください。手順4の画面に戻ります。
- 10** 上カーソルキーを押して“終了”を選択し、OKキーを押してください。手順2の画面に戻ります。



- 11** 上カーソルキーを押して“終了”を選択し、OKキーを押してください。“コピーできます”の画面に戻ります。

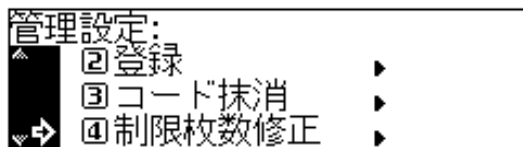
● 制限枚数の修正

- 1** 部門管理の選択画面を表示させてください。(P6-3 参照)
- 2** 下カーソルキーを押して、“管理設定”を選択してください。



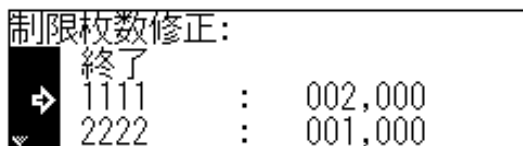
- 3** OKキーを押してください。

- 4** 下カーソルキーを押して、“制限枚数修正”を選択してください。



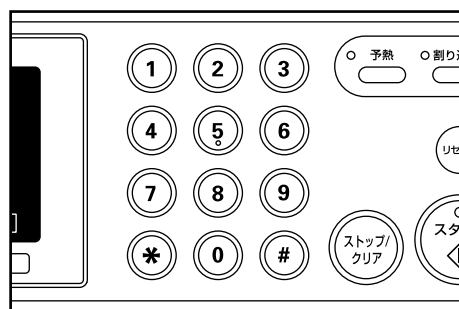
- 5** OKキーを押してください。

- 6** 上カーソルキーまたは下カーソルキーを押して、制限枚数の修正を行う部門コードを選択してください。



- 7** OKキーを押してください。

- 8** 修正枚数をテンキーで入力してください。1,000～999,000枚まで1,000枚単位で入力できます。



補足

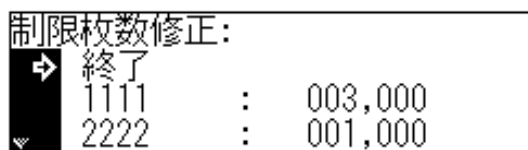
- ・“0”を入力すると無制限にコピーできます。

- 9** OKキーを押してください。手順6の画面に戻ります。

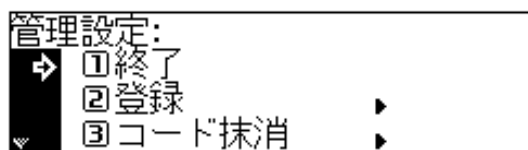
補足

- ・その他の部門の修正をするときは手順6～9を行ってください。

- 10** “終了” が選択されていることを確認して、OK キーを押してください。手順 4 の画面に戻ります。



- 11** 上カーソルキーを押して“終了”を選択して、OK キーを押してください。手順 2 に戻ります。

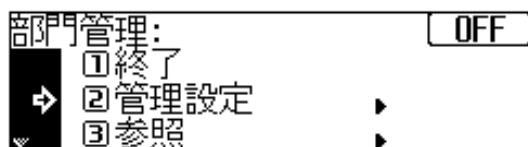


- 12** 上カーソルキーを押して“終了”を選択して、OK キーを押してください。“コピーできます”の画面に戻ります。

●コピーカウントのクリア

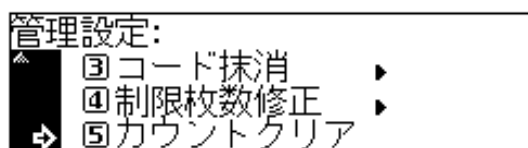
- 1** 部門管理の選択画面を表示させてください。
(P6-3 参照)

- 2** 下カーソルキーを押して、“管理設定”を選択してください。



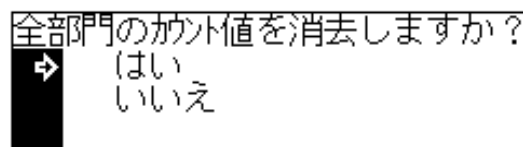
- 3** OK キーを押してください。

- 4** 下カーソルキーを押して、“カウントクリア”を選択してください。

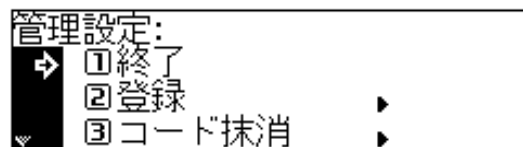


- 5** OK キーを押してください。

- 6** 全てのカウントをクリアするかどうかを確認するメッセージが表示されます。クリアを行うときは、上カーソルキーを押して“はい”を選択して、OK キーを押してください。取りやめるときは、“いいえ”が選択されていることを確認して、OK キーを押してください。手順 4 の画面に戻ります。



- 7** 上カーソルキーを押して“終了”を選択し、OK キーを押してください。手順 2 の画面に戻ります。

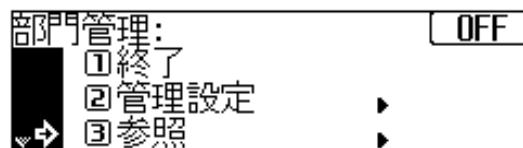


- 8** 上カーソルキーを押して“終了”を選択し、OK キーを押してください。“コピーできます”の画面に戻ります。

●コピーカウントの参照

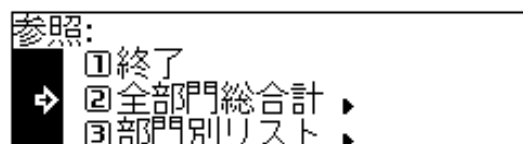
- 1** 部門管理の選択画面を表示させてください。
(P6-3 参照)

- 2** 下カーソルキーを押して、“参照”を選択してください。



- 3** OK キーを押してください。

- 4** 全部門の枚数を参照するときは、下カーソルキーを押して“全部門総合計”を選択してください。また、部門別に枚数を参照するときは、“部門別リスト”を選択してください。



6章 複写機の管理モード

5 OKキーを押してください。
“全部門総合計”を選択したときは次の手順に、“部門別リスト”を選択したときは手順9に進んでください。

6 メッセージ表示の上にコピーの総枚数が表示されます。その下にサイズ別のコピー枚数が表示されます。表示されている以外のサイズのコピー枚数を参照するときは、下カーソルキーを押して表示させてください。

7 参照が終了したら、上カーソルキーを押して“終了”を選択してください。

全部門総合計:	0,027,054
→ 終了	
A 3 :	007,000
A 4 :	010,000

8 OKキーを押してください。手順4の画面に戻ります。手順12に進んでください。

9 上カーソルキーまたは下カーソルキーを押して、参照する部門コードを選択してください。

部門別リスト:	
→ 終了	
1111 :	000,082
2222 :	000,649

補足

・部門コードの登録が全くされていない場合は「———」と表示され、カーソルは動きません。

10 参照が終了したら、上カーソルキーを押して“終了”を選択してください。

11 OKキーを押してください。手順4の画面に戻ります。

12 上カーソルキーを押して“終了”を選択し、OKキーを押してください。手順2の画面に戻ります。

参照:	
→ ① 終了	
② 全部門総合計 ▶	
③ 部門別リスト ▶	

13 上カーソルキーを押して“終了”を選択し、OKキーを押してください。“コピーできます”の画面に戻ります。

●部門管理リストの出力

1 部門管理の選択画面を表示させてください。
(P6-3 参照)

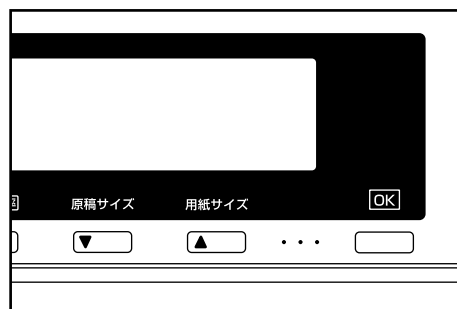
重要

・この時A4の用紙がカセットにセットされていることを確認してください。

2 下カーソルキーを押して、“部門管理リスト出力”を選択してください。

部門管理:	OFF
② 管理設定 ▶	
③ 参照 ▶	
④ 部門管理リスト出力 ▶	

3 OKキーを押してください。部門管理リストの出力を行います。リストの出力が終了したら、手順2の画面に戻ります。



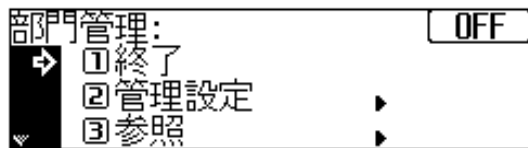
補足

・A4の用紙がセットされていなければ、確認のメッセージが表示されます。使用する用紙を選択してスタートキーを押してください。

4 上カーソルキーを押して“終了”を選択して、OKキーを押してください。“コピーできます”の画面に戻ります。

●部門管理のON / OFF

- 1 部門管理の選択画面を表示させてください。
(P6-3 参照)



補足

- ・画面の右上に部門管理がONかOFFが表示されています。部門管理のON / OFFを変更するときは以下の手順で行ってください。

- 2 下カーソルキーを押して、“管理 ON / OFF” を選択してください。



- 3 OK キーを押してください。

- 4 上カーソルキーまたは下カーソルキーを押して“ON”または“OFF”を選択してください。

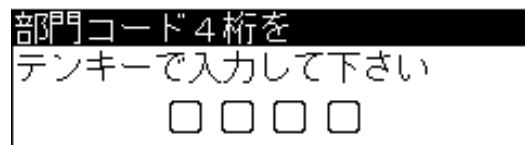


- 5 OK キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。

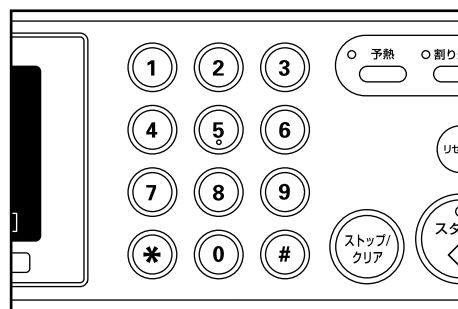
- 6 “終了” が選択されていることを確認して、OK キーを押してください。“OFF” を選択したときは、“コピーできます” の画面に戻ります。

(4) 部門管理の時のコピー

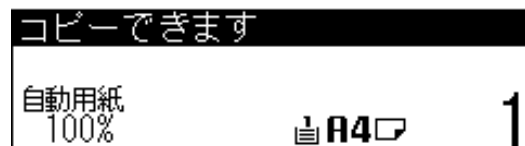
部門管理を行っているときは、メッセージ表示に“部門コード4桁をテンキーで入力して下さい”と表示されます。



- 1 所属する部門コードをテンキーで入力してください。



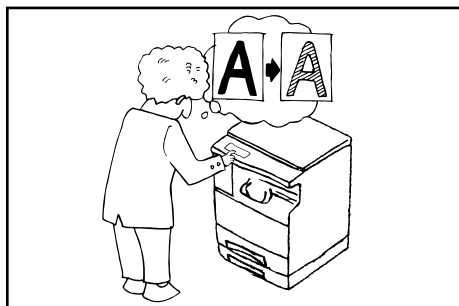
- 2 “コピーできます” が表示されたら、通常のコピー操作を行ってください。



補足

- ・コピー終了後は、予熱（プレヒート）キーを押してください。また、オートクリア機能がはたらくとともに元の状態に戻ります。

2. 初期設定



本機では、ウォームアップが終了した後やリセットキーを押した後の状態を初期モードといいます。初期モードのときに自動的に設定される機械の内容を初期設定と呼びます。初期設定は“コピー初期設定”と“マシン初期設定”に分かれます。使用のしかたに応じてこれらの設定は自由に変更できます。

(1) コピー初期設定の項目について

コピー初期設定で変更できる項目は下表の14種類の項目があります。
コピー機能を有効に活用するために、必要に応じて各設定を行ってください。

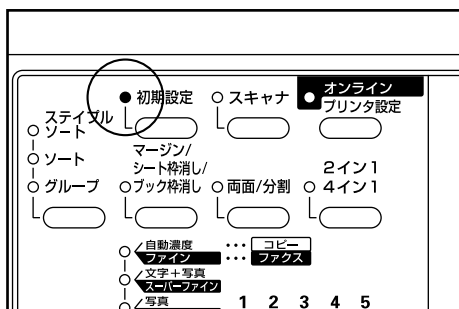
コピー初期設定項目	設定項目の内容	設定できる値	初期値	参照ページ
①濃度モード	電源投入時のコピー濃度設定が、自動濃度モード（P4-2 参照）混在モード（文字＋写真モード）（P4-2 参照）、写真モード（P4-2 参照）、文字モード（P4-2 参照）かを選択します。	自動／混在／写真／文字	混在	6-11
②濃度ステップ	手動濃度モードの濃度調整ステップ数を変更します。	5段階／9段階	5段階	6-11
③自動濃度調整	自動濃度モード使用時の全体的なコピーの濃度を調整します。	1～7	4（中央）	6-12
④混在原稿濃度	画質の選択（P4-2 参照）で文字＋写真モードを選択したときのコピー濃度が調整できます。	1～7	4（中央）	6-12
⑤写真原稿濃度	画質の選択（P4-2 参照）で写真モードを選択したときのコピー濃度が調整できます。	1～7	4（中央）	6-12
⑥文字原稿濃度	画質の選択（P4-2 参照）で文字モードを選択したときのコピー濃度が調整できます。	1～7	4（中央）	6-12
⑦用紙選択	原稿をセットしたときに自動的に同じサイズの下紙が入ったカセットを選択させるか、あるいは手動で選択するかを設定します。	自動／手動	自動	6-12

コピー初期設定項目	設定項目の内容	設定できる値	初期値	参照 ページ
⑧自動倍率モード	原稿をセットし用紙サイズ選択キーを押したときに、選ばれたカセットサイズに自動的に変倍（自動倍率選択モード、P4-4 参照）するか、それとも等倍にするか設定します。	自動倍率優先／ 等倍優先	自動倍率 優先	6-12
⑨コピー部数制限	一度にコピーできる部数を制限します。	1～250部	250部	6-13
⑩マージン幅設定	マージンコピー（P5-5 参照）で左マージンのマージン幅の初期値を設定します。	1～18mm (1mm 刻み)	6mm	6-13
⑪枠消し幅選択	枠消し（P5-6 参照）でシート枠消しまたはブック枠消しでの枠消し幅の初期値を設定します。	6、12、18mm	6mm	6-13
⑫優先カセット	ウォームアップが終了したときやリセットキーが押されたときに優先的に選択される給紙段を選択します。第3給紙、第4給紙が選択できるのはオプションカセットを設置しているときです。	第1給紙～ 第4給紙	第1給紙	6-13
⑬出力モード	オプションのDF使用時に（DFに原稿をセットしたときに）、ソートコピー（P5-9 参照）を優先するかしないかを設定します。	ソート ON／ ソート OFF	ソート ON	6-13
⑭回転ソート設定	ソートモードが選択されているときに通常のソートコピー（P5-9 参照）か回転ソートコピー（P5-9 参照）のどちらかを設定します。 ※オプションのフィニッシャー装着時は、この設定は表示されません。	On／Off	Off	6-13

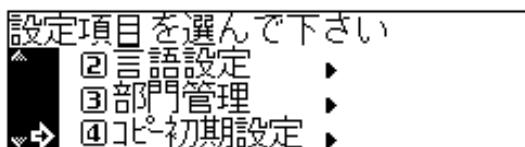
6章 複写機の管理モード

(2) コピー初期設定の変更のしかた

- 1 初期設定キーを押して初期設定表示を点灯させてください。
管理モードの選択画面が表示されます。

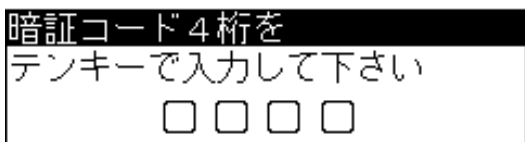


- 2 下カーソルキーを押して、“コピー初期設定” を選択してください。



- 3 OK キーを押してください。

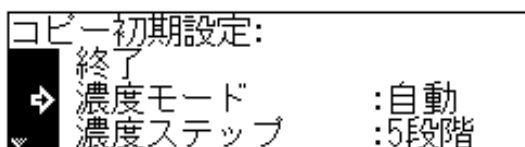
- 4 テンキーで暗証番号“2000”を入力してください。



補足

- ・ 4桁の暗証番号は変更することができます。(P6-18、「⑩暗証コード変更」参照)

- 5 下カーソルキーまたは上カーソルキーを押して、変更するコピー初期設定の項目を選択してください。選択できる項目は、P6-9、「(1) コピー初期設定の項目について」を参照してください。



- 6 OK キーを押してください。

- 7 以後、各項目の設定のしかたを参照して設定を行ってください。

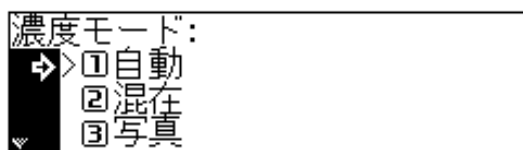
補足

- ・ 各選択画面で表示される(>)は現在の設定値を示します。
- ・ 各項目の設定が終了したら、手順5の画面に戻ります。その他の項目について設定を行う場合は、手順5～7を繰り返してください。

- 8 終了するときは、上カーソルキーを押して“終了”を選択しOKキーを押してください。“コピーできます”の画面に戻ります。

①濃度モード

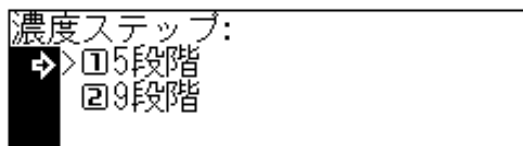
- 1 下カーソルキーまたは上カーソルキーを押して、“自動”、“混在”、“写真”または“文字”を選択してください。



- 2 OK キーを押してください。

②濃度ステップ

- 1 下カーソルキーまたは上カーソルキーを押して、“5段階”または“9段階”を選択してください。



- 2 OK キーを押してください。

③ 自動濃度調整

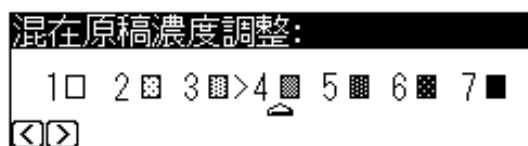
- 1 右カーソルキーまたは左カーソルキーを押して、濃度目盛りを移動させてください。右に移動させると濃く、左に移動させるとうすくなります。



- 2 OK キーを押してください。

④ 混在原稿濃度

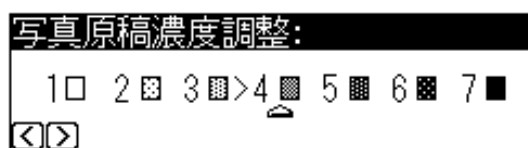
- 1 右カーソルキーまたは左カーソルキーを押して、濃度目盛りを移動させてください。右に移動させると濃く、左に移動させるとうすくなります。



- 2 OK キーを押してください。

⑤ 写真原稿濃度

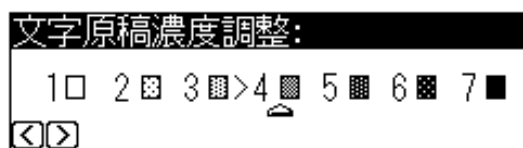
- 1 右カーソルキーまたは左カーソルキーを押して、濃度目盛りを移動させてください。右に移動させると濃く、左に移動させるとうすくなります。



- 2 OK キーを押してください。

⑥ 文字原稿濃度

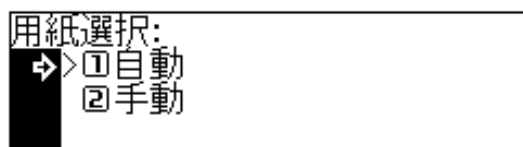
- 1 右カーソルキーまたは左カーソルキーを押して、濃度目盛りを移動させてください。右に移動させると濃く、左に移動させるとうすくなります。



- 2 OK キーを押してください。

⑦ 用紙選択

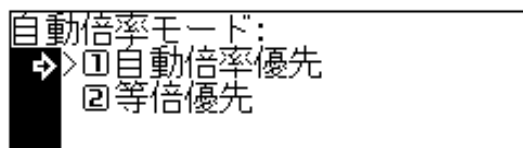
- 1 下カーソルキーまたは上カーソルキーを押して、“自動”または“手動”を選択してください。



- 2 OK キーを押してください。

⑧ 自動倍率モード

- 1 下カーソルキーまたは上カーソルキーを押して、“自動倍率優先”または“等倍優先”を選択してください。

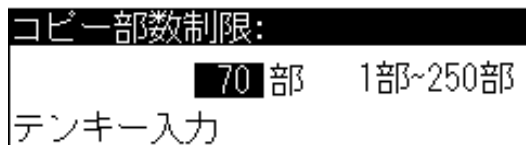


- 2 OK キーを押してください。

6章 複写機の管理モード

⑨ コピー部数制限

- 1 テンキーを押して制限するコピー部数を入力してください。



- 2 OK キーを押してください。

⑩ マージン幅設定

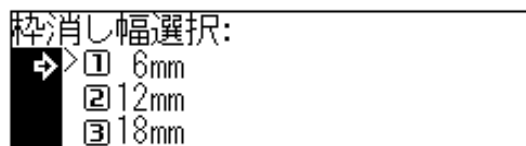
- 1 右カーソルキーまたは左カーソルキーを押して、マージン幅を設定してください。1 mm～18 mmの間で1 mm刻みで設定できます。



- 2 OK キーを押してください。

⑪ 枠消し幅選択

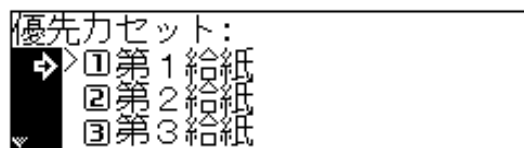
- 1 下カーソルキーまたは上カーソルキーを押して、枠消し幅を選択してください。6、12、18mm から選択できます。



- 2 OK キーを押してください。

⑫ 優先カセット

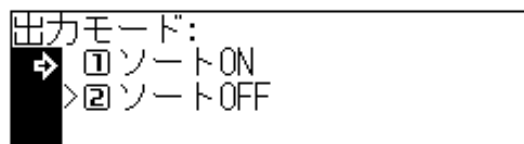
- 1 下カーソルキーまたは上カーソルキーを押して、優先的に選択されるカセット（給紙段）を選択してください。



- 2 OK キーを押してください。

⑬ 出力モード

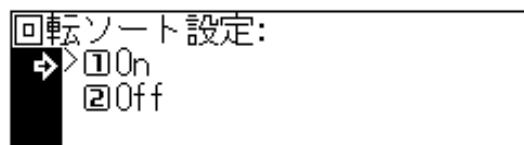
- 1 下カーソルキーまたは上カーソルキーを押して“ソートON”または“ソートOFF”を選択してください。



- 2 OK キーを押してください。

⑭ 回転ソート設定

- 1 下カーソルキーまたは上カーソルキーを押して、“On”または“Off”を選択してください。



- 2 OK キーを押してください。

(3) マシン初期設定の項目について

マシン初期設定で変更できる項目は下表の 14 種類の項目があります。

コピー機能を有効に活用するために、必要に応じて各設定を行ってください。

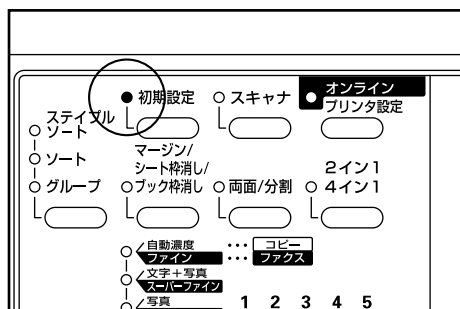
マシン初期設定項目	設定項目の内容	設定できる値	初期値	参照ページ
①ステータスレポート	初期設定の内容をステータスレポートとして出力します。	_____	_____	6-16
②オートシャットオフ	コピーをとらないと自動的に電源が Off になるオートシャットオフ機能（P4-7 参照）を On にするか Off にするかの設定ができます。 ※ コピー操作においてオートシャットオフ機能が使用上の不便さを与える場合に、オートシャットオフを Off（機能しない設定）にするようにしてください。オートシャットオフを Off（機能しない設定）にする前に、まずオートシャットオフ機能が働くまでの時間を長めに設定することをお勧めいたします。 ※ オプションのプリンタキットを装着している場合は、オートシャットオフ機能が働くと、プレヒート状態になります。詳しくはプリンタキットの使用説明書を参照してください。	On / Off	On	6-16
③特殊紙セット段	メッセージ表示で用紙を選択する際、カラーペーパーや再生紙など特殊紙がセットされている場合、カセットの用紙サイズに印（※）を表示させることができます。第 3 給紙、第 4 給紙が選択できるのはオプションカセットを設置しているときのみです。 ※ カセットに特殊紙がセットされている場合は、「⑤用紙種類（1 段目～4 段目）」でカセット内の用紙を選択してください。	※（設定）／ －（未設定）	－（未設定）	6-17
④特殊紙オート給紙	「③特殊紙セット段」で指定したカセットの用紙を自動用紙選択モードやオートカセットチェンジ（P2-4 参照）の時に使用するかどうかを選択できます。	On / Off	Off	6-17
⑤用紙種類（1 段目～4 段目）	カセット内にセットする用紙（普通紙、特殊紙）の種類を選択します。 ※ オプションカセットの 3 段目および 4 段目を装着していなければ、3 段目、4 段目の設定は表示されません。	普通紙、再生紙、 レターヘッド、 カラー紙	普通紙	6-17
⑥用紙種類（手差し）	手差しにセットする用紙（普通紙、特殊紙）の種類を選択します。	普通紙、OHP、 ラベル紙、 再生紙、厚紙、 レターヘッド、 カラー紙、封筒、 はがき	普通紙	6-17

6章 複写機の管理モード

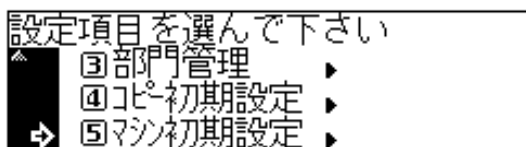
マシン初期設定項目	設定項目の内容	設定できる値	初期値	参照 ページ
⑦ コピー排出先 指定	コピー用紙をコピー機本体に排出するか、フィニッシャーまたはジョブセパレータ（両面ユニットを含む）に排出するかを選択します。 ※オプションのフィニッシャーまたはジョブセパレータ（両面ユニットを含む）を装着していなければこの設定は表示されません。	本体排出、 フィニッシャー (ジョブセパレータ)	本体排出	6-18
⑧ オートプレヒート タイム	コピー作業が終了して自動的にプレヒート機能（P4-7 参照）が働くまでの時間を設定できます。	5 ～ 45 分 (5 分刻み)	15 分	6-18
⑨ オートシャット オフタイム	コピーをとらないと自動的に電源が OFF になるオートシャットオフ機能（P4-7 参照）がはたらくまでの時間を設定できます。オートシャットオフ機能を OFF にすることもできます。そのときにはこの設定はできません。（「②オートシャットオフ」参照） 初期設定時間は 30 分です。 ※複写機を頻繁に使用される場合は、オートシャットオフが働くまでの時間を長めに、使用しない時間が多い場合は短めに設定することをお勧めいたします。 ※オートシャットオフ機能を解除する場合は「②オートシャットオフ」を参照してください。 ※オプションのプリンタキットを装着している場合は、オートシャットオフ機能が働くと、プレヒート状態になります。詳しくはプリンタキットの使用説明書を参照してください。	15 ～ 240 分 (15 分刻み)	30 分	6-18
⑩ 液晶コントラスト 調整	メッセージ表示の内容が見にくいとき、液晶のコントラストを変更してください。	1 ～ 7	4（中央）	6-18
⑪ 暗証コード変更	部門管理（P6-1 参照）やこの初期設定（P6-9 参照）の各管理モードにはいる暗証番号を変更することができます。 ※暗証番号を変更したときは必ずメモを取るようになしてください。	-----	2000	6-18
⑫ 静音モード	コピー終了後すぐに機械内部のモータを停止させる静音モードに移行させることができます。“On”を選択するとコピーが終了した後、すぐにモータが停止します。	On / Off	Off	6-18
⑬ オートカセット チェンジ	オートカセットチェンジ機能（P2-4 参照）を使うかどうかを選択します。	On / Off	On	6-19
⑭ カウンター レポート出力	トナーカウンターレポートを出力します。	_____	_____	6-19

(4) マシン初期設定の変更のしかた

- 1 初期設定キーを押して初期設定表示を点灯させてください。
管理モードの選択画面が表示されます。

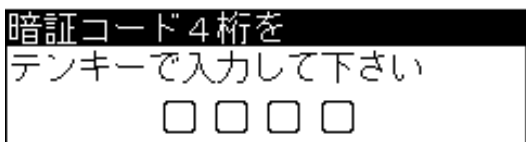


- 2 下カーソルキーを押して、“マシン初期設定”を選択してください。



- 3 OKキーを押してください。

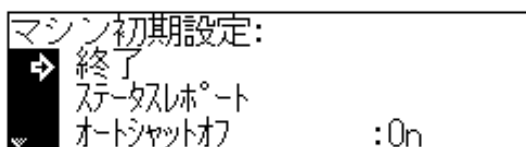
- 4 テンキーで暗証番号“2000”を入力してください。



補足

- ・4桁の暗証番号は変更することができます。(P6-18、「⑩暗証コード変更」参照)

- 5 下カーソルキーまたは上カーソルキーを押して、変更するマシン初期設定の項目を選択してください。選択できる項目は、P6-14、「(3) マシン初期設定の項目について」を参照してください。



- 6 OKキーを押してください。

- 7 以後、各項目の設定のしかたを参照して設定を行ってください。

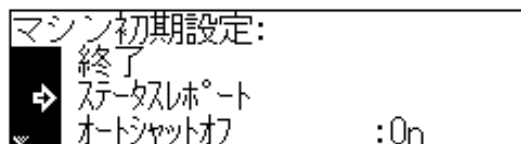
補足

- ・各選択画面で表示される(>)は現在の設定値を示します。
- ・各項目の設定が終了したら、手順5の画面に戻ります。その他の項目について設定を行う場合は、手順5～7を繰り返してください。

- 8 終了するときは、上カーソルキーを押して“終了”を選択してOKキーを押してください。“コピーできません”の画面に戻ります。

① ステータスレポート

- 1 下カーソルキーを押して、“ステータスレポート”を選択してください。



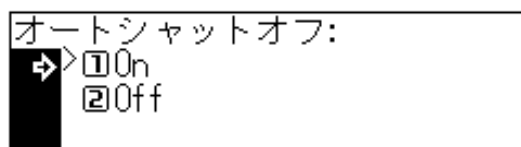
- 2 OKキーを押してください。ステータスレポートの出力を行います。レポートの出力が終了したら手順1の画面に戻ります。

補足

- ・A4の用紙がセットされていない場合は、確認のメッセージが表示されます。使用する用紙を選択してスタートキーを押してください。

② オートシャットオフ

- 1 下カーソルキーまたは上カーソルキーを押して、“On”または“Off”を選択してください。

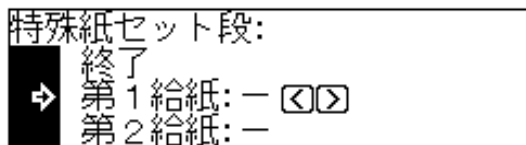


- 2 OKキーを押してください。

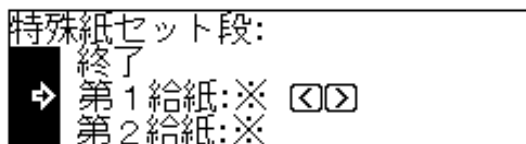
6章 複写機の管理モード

③ 特殊紙セット段

- 1 下カーソルキーまたは上カーソルキーを押して、特殊紙をセットする給紙段を選択してください。



- 2 右カーソルキーまたは左カーソルキーを押してください。給紙段の横にマーク（※）が付きます。取り消す場合はもう一度右カーソルキーまたは左カーソルキーを押してください。



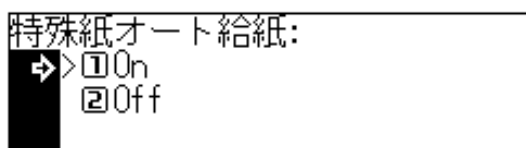
補足

・ 2 つ以上設定することもできます。

- 3 上カーソルキーを押して“終了”を選択し、OK キーを押してください。

④ 特殊紙オート給紙

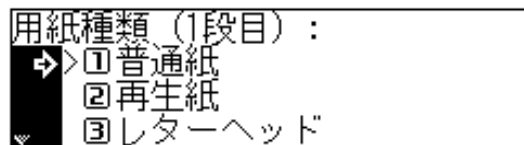
- 1 下カーソルキーまたは上カーソルキーを押して、“On” または “Off” を選択してください。



- 2 OK キーを押してください。

⑤ 用紙種類（1 段目～4 段目）

- 1 下カーソルキーまたは上カーソルキーを押して、用紙の種類を選択してください。



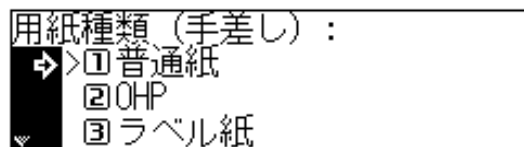
- 2 OK キーを押してください。

補足

・ 用紙の種類の設定方法は 1 段目、2 段目、3 段目、4 段目ともすべて同じです。

⑥ 用紙種類（手差し）

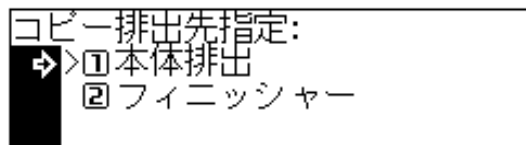
- 1 下カーソルキーまたは上カーソルキーを押して、用紙の種類を選択してください。



- 2 OK キーを押してください。

⑦ コピー排出先指定

- 1** 下カーソルキーまたは上カーソルキーを押して排出先を選択してください。



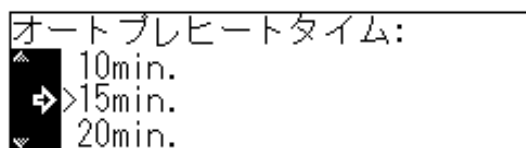
- 2** OK キーを押してください。

補足

- ・ 手順 1 の画面表示はフィニッシャー装着時の画面です。ジョブセパレータ（両面ユニットを含む）を装着している場合は「②ジョブセパレータ」と表示します。

⑧ オートプレヒートタイム

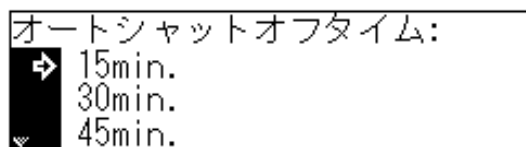
- 1** 下カーソルキーまたは上カーソルキーを押して、オートプレヒートが働くまでの時間を選択してください。5～45分まで、5分刻みで設定ができます。



- 2** OK キーを押してください。

⑨ オートシャットオフタイム

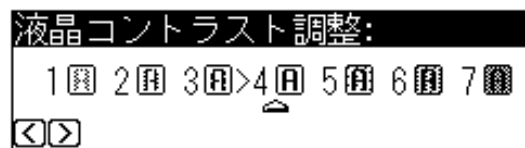
- 1** 下カーソルキーまたは上カーソルキーを押して、オートシャットオフが働くまでの時間を選択してください。15～240分まで、15分刻みで設定ができます。



- 2** OK キーを押してください。

⑩ 液晶コントラスト調整

- 1** 右カーソルキーまたは左カーソルキーを押して、濃度目盛りを移動させてください。右に移動させると濃く、左に移動させるとうすくなります。



- 2** OK キーを押してください。

⑪ 暗証コード変更

- 1** テンキーで変更する暗証番号を4桁で入力してください。



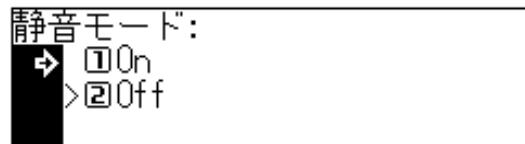
補足

- ・ まちがえて数値を入力した場合、ストップ／クリアキーを押すと変更前の暗証番号に戻ります。

- 2** OK キーを押してください。

⑫ 静音モード

- 1** 下カーソルキーまたは上カーソルキーを押して、“On” または “Off” を選択してください。



- 2** OK キーを押してください。

6章 複写機の管理モード

⑬ オートカセットチェンジ

- 1 下カーソルキーまたは上カーソルキーを押して、“On” または “Off” を選択してください。

オートカセットチェンジ:

➡ ① On
➡ ② Off

- 2 OK キーを押してください。

⑭ カウンターレポート出力

- 1 下カーソルキーを押して “カウンターレポート” を選択してください。

マシン初期設定:

静音モード : Off
オートカセットチェンジ : On
➡ カウンターレポート

- 2 OK キーを押してください。トナーカウンターレポートの出力を行います。リストの出力が終了したら手順 1 の画面に戻ります。

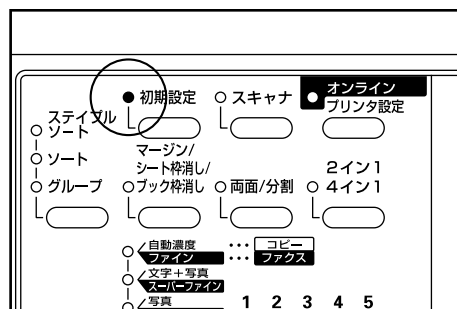
補足

- ・ A4 の用紙がセットされていない場合は、確認のメッセージが表示されます。使用する用紙を選択してスタートキーを押してください。

3. メッセージ表示の言語切替

メッセージ表示で表示される言語を日本語だけでなく英語やフランス語、スペイン語でも表示させることができます。

- 1 初期設定キーを押して初期設定表示を点灯させてください。
管理モードの選択画面が表示されます。



- 2 下カーソルキーを押して、“言語設定” を選択してください。

設定項目を選んで下さい

➡ ① 終了
➡ ② 言語設定
➡ ③ 部門管理

- 3 OK キーを押してください。
選択できる言語が表示されます。

- 4 下カーソルキーまたは上カーソルキーを押して、表示させる言語を選んでください。

言語を選んで下さい

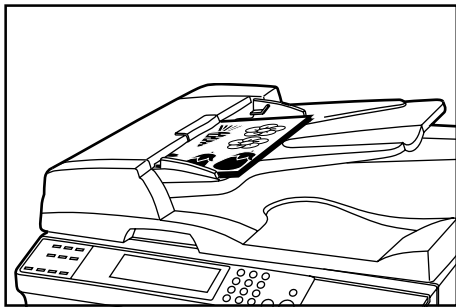
➡ ① English
➡ ② Français
➡ ③ Español

- 5 OK キーを押してください。言語が変更され “コピーできます” の画面に戻ります。

7章 オプション

(1) ADF (原稿送り装置)

多枚数のシート原稿を自動的に1枚ずつ送り、読み込みを行う装置です。



① DF にセットできる原稿

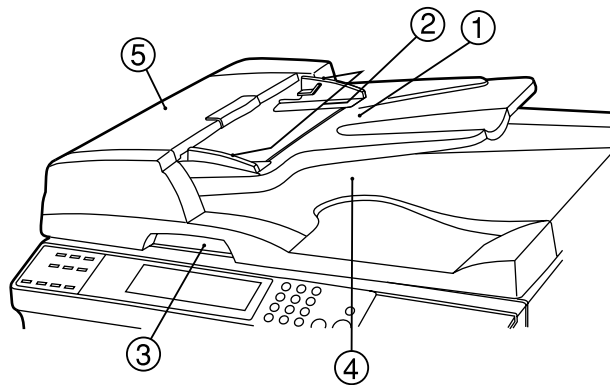
- ・ シート原稿であること。
- ・ 厚さ：片面原稿 35g/m² ~ 160g/m² の範囲内であること。
- ・ サイズ：最大 A3 ~ 最小 A5R
- ・ セット枚数：70 枚 (A4 以下、64g/m²)
50 枚 (B4 以上、64g/m²)
50 枚 (オートセレクション選択時)

② DF の使用上の注意

次のような原稿は、DF に使用しないでください。また、パンチ穴やミシン目のある原稿を挿入先端側にセットしないでください。

- ・ OHP 用紙などの透明フィルム
- ・ カーボン紙やしわ・折れのひどい原稿、またはビニールなどの軟らかい原稿
- ・ 方形でない原稿、濡れた原稿、粘着テープ・糊などが付いた原稿
- ・ クリップやホッチキスで止めてある原稿（やむをえず原稿とするときは、それらを取り外して、しわ・折れを直してからセットしてください。）
- ・ 切り抜きの原稿、表面や裏面のスベリが非常によい原稿
- ・ 修正液が乾いていない状態の原稿
- ・ 折り目のついた原稿（やむをえず原稿とするときは、折れを直してからセットしてください。）

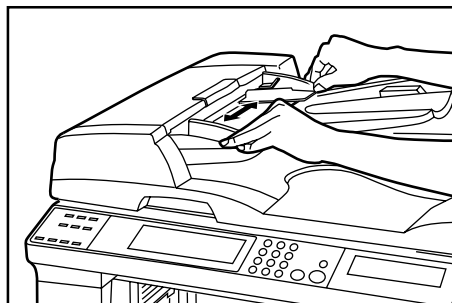
③ DF の各部の名称



- ① 原稿テーブル
(原稿は、ここにセットしてください。)
- ② 原稿挿入ガイド
(原稿の幅に合わせてこのガイドを調節してください。)
- ③ DF 開閉取手
(DF を開閉するときは、この取手を持ってください。)
- ④ 原稿排出カバー
(コピーが終わった原稿はここに収納されます。)
- ⑤ DF 原稿反転カバー
(DF 部で原稿が詰まったときに開いてください。)

④ DF への原稿のセット

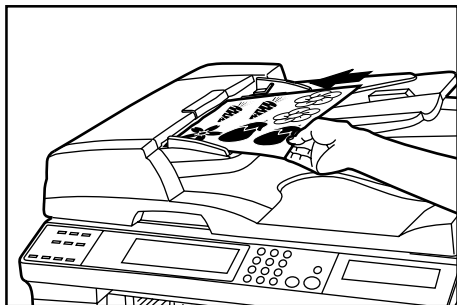
- 1 原稿挿入ガイドを原稿サイズに合わせてください。



補足

- ・ 原稿をセットする前に、原稿排出カバーに排紙された原稿が残っていないか確認してください。原稿排出カバーに原稿が残っていると、原稿詰まりの原因になります。

- 2** 原稿はコピーする面を上向きにして、順序よく重ねて、原稿テーブルにセットしてください。原稿の先端を確実に DF 内の奥まで差し込んでください。



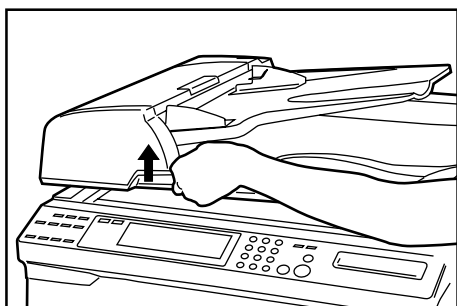
重要

- ・奥の原稿挿入ガイドに貼ってある目盛り以下になるよう原稿をセットしてください。規定枚数以上の原稿をセットすると、原稿が詰まる原因になります。

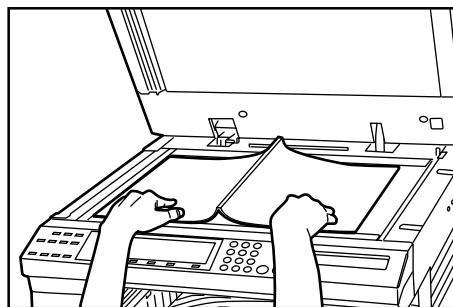
⑤ コンタクトガラスへの原稿のセット

本や雑誌など、DF にセットできない原稿の場合は、DF 本体を開けてコンタクトガラスの上に原稿をセットしてください。

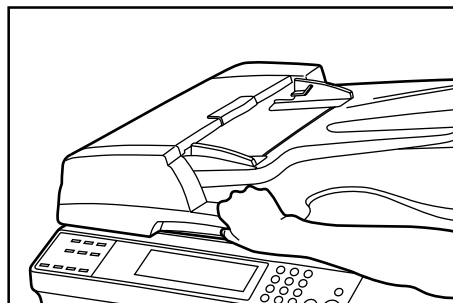
- 1** DF 開閉取手を持って DF を開けてください。
※ DF を開ける前には、原稿テーブルや原稿排出カバーに原稿がないことを確認してください。原稿が残っていると、開けたときに原稿が落ちることがあります。



- 2** コピーする面を下にして、原稿をセットしてください。このとき原稿サイズ指示板に確実に合わせてセットしてください。



- 3** DF 開閉取手を持って DF を閉じてください。



重要

- ・このとき DF をコンタクトガラスに強く押さえつけないでください。ガラスが割れることがあります。

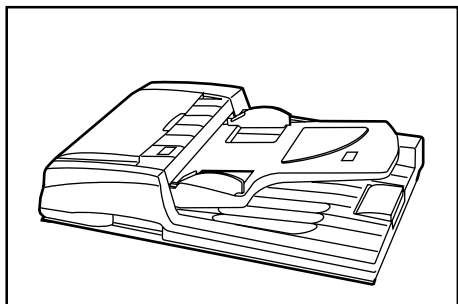
⚠ 注意

原稿送り装置を開いた状態のままで放置しないでください。けがの原因となることがあります。

7章 オプション

(2) RADF (両面自動原稿送り装置)

片面原稿を1枚ずつ自動的に原稿を読み取る装置です。また、両面原稿も自動的に反転させて、両面コピーや分割コピーを行うことができます。詳しくはRADFの使用説明書を参照してください。

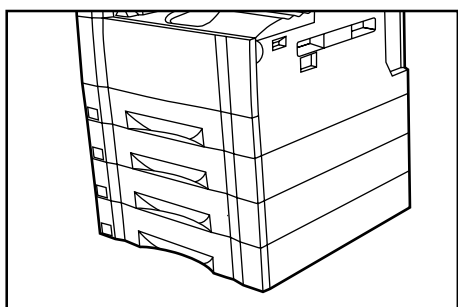


(3) カセット

本体のカセットと同じものが1段ずつ最高2段まで増やすことができます。

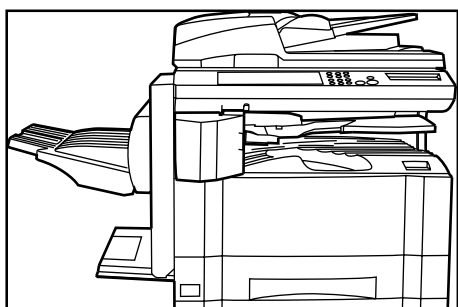
セットできる用紙枚数および用紙のセットのしかたは本体標準のカセットと同じです。

※紙詰りが発生したときに用紙を取り除くためにそれぞれのオプションカセットに左カバーがあります。



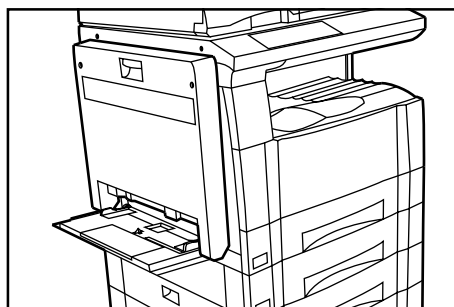
(4) フィニッシャー

大量のコピーを収納したり、多部数のコピーを1部ずつシフトして仕分けをしたりする装置です。ページぞろえしたコピーにステイブルすることもできます。



(5) 両面ユニット

両面ユニットを装着すると、両面コピーをとることができます。A3～A5R (64 g/m²) の用紙で両面コピーをとることができます。

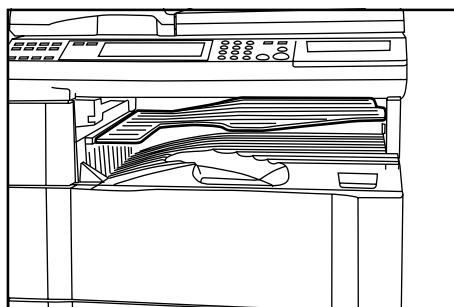


(6) ジョブセパレータ

割り込みコピーをしているときや、オプションのプリンタ機能を併用しているときに、用紙の排出先を区分して、仕分けをしやすくする装置です。

コピーをジョブセパレータ (上段) に排出させることができます。P 6-15、マシン初期設定の「⑦コピー排出先指定」を参照してください。

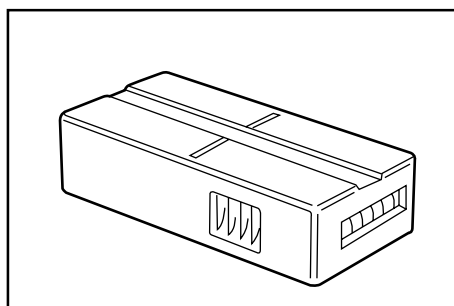
※ジョブセパレータの収納枚数は100枚です。100枚以上のコピーをしているときは、100枚コピー終了時にコピーを停止します。仕上がったコピーを取り出してください。自動的にコピーを再開します。



(7) キーカウンタ

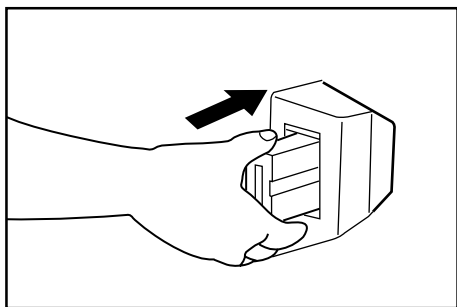
キーカウンタは、コピーの使用量を確認するためのものです。各部課別など、全社的にコピーの使用量を集中管理する場合などに役立ちます。

※キーカウンタは、プリンタ出力でもカウントを行う場合があります。



●キーカウンタのセット方法

キーカウンタ差し込み口に、キーカウンタを確実にセットしてください。

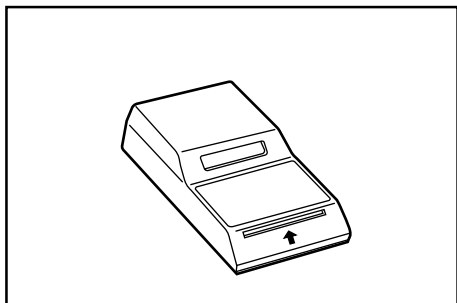
**補足**

- ・キーカウンタを使用する場合は、キーカウンタを機械にセットしない限り、コピーがとれませんのでご注意ください。キーカウンタが確実に挿入されていないときは、メッセージ表示に“キーカウンタをセットして下さい”が表示されます。

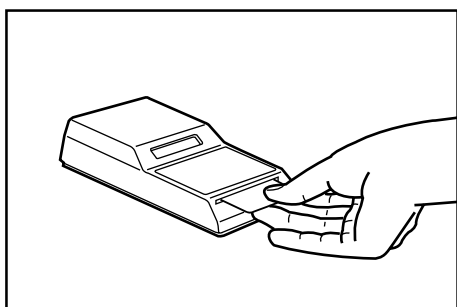
(8) キーカード

キーカードは専用のカードを使ってコピーの使用量を確認する事ができます。各部課別など、全社的にコピーの使用量を集中管理する場合などに役立ちます。

※キーカードは、プリンタ出力でもカウントを行う場合があります。

**●キーカードのセット方法**

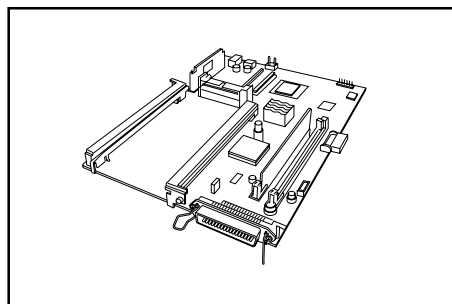
専用の部門カードを本体のカード挿入口にしっかり奥まで挿入してください。

**補足**

- ・キーカードを使用するときは部門カードを本体に挿入しない限りコピーがとれませんのでご注意ください。部門カードが確実に挿入されていない場合、メッセージ表示に“キーカードをセットして下さい”が表示されます。

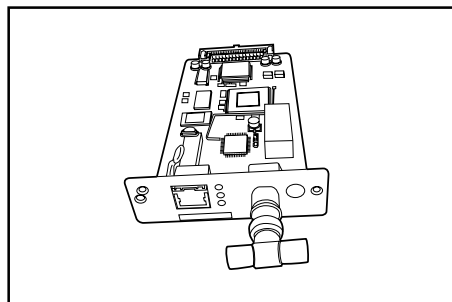
(9) プリンタキット

プリンタキットを装着すると、本機をプリンタとして使用することができます。詳しくはプリンタキットの使用説明書を参照してください。

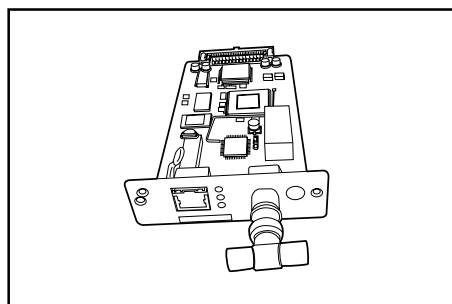
**(10) プリンタネットワークキット**

オプションのプリンタキット装着時にネットワークキットを装着すると、本機を複数のコンピュータからアクセスできるネットワークプリンタとして使用できます。

詳しくはネットワークキットの使用説明書を参照してください。

**(11) ネットワークスキャナ**

本機を複数のコンピュータからアクセスできるネットワークスキャナとして利用することができます。



8章 こんなときには

1. こんなメッセージがでたら

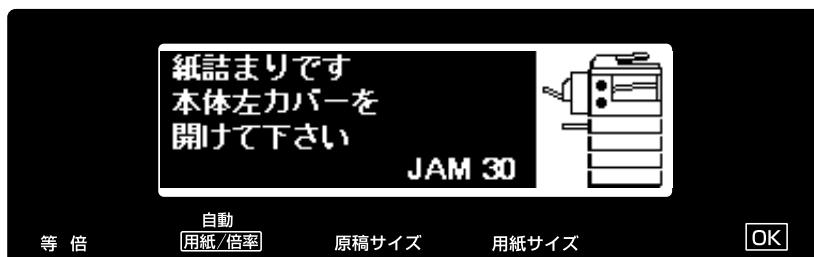
メッセージ表示に下表のようなメッセージが出たときは、処理方法にしたがって作業してください。

メッセージ	処理方法	参照ページ
“〇〇カバーを閉じて下さい”	表示されているカバーが開いています。確実に閉めてください。	—
“用紙を補給して下さい”	表示されている給紙段に用紙がありません。用紙を補給してください。	3-1
“カセットをセットして下さい”	カセットがしっかりセットされていません。一度引き出してしっかり押し込んでください。	—
“このカセットは使用できません他の給紙段を選んで下さい”	使用しているカセットは故障のため使用を中止しています。ただちにサービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。コピーを行うときは、他の給紙段を使用してください。	—
“適当な用紙がありません”	設定されたモードで利用できるサイズの用紙がありません。用紙を確認してください。	—
“原稿と用紙の向きが違います”	選択した用紙の方向が原稿の向きと違います。原稿のセット方向を変えてください。そのままスタートキーを押すと等倍でコピーします。	—
“制限枚数終了の為コピーできません”	部門管理モードで設定されている制限枚数に達したため、これ以上のコピーができません。部門管理モードでコピーカウントをクリアしてください。	6-1
“コピーできます トナーを補給して下さい”	機内にトナーが不足しています。1枚ずつのコピーしかできませんので早めにトナーカートリッジを交換してください。	3-5
“トナーを補給して下さい コピーできません”	コピーできるだけのトナーが機内に残っていません。トナーカートリッジを交換してトナーを補給してください。	3-5
“サービス担当者に電話して下さい”	前カバーを一度開閉してください。再度表示が出たときはCと数字を確認してください。メインスイッチをOFF（○）にしてサービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。	—
“定期点検の時期です” “定期点検間近です”	機械を良好に保つために定期点検が必要です。ただちにサービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。	—
“メモリーオーバー”	メモリーオーバーです。読み込みが終了しているページまでを一旦出力する（プリントする）か、読み込まれたデータを消去する（メモリーオーバー）か選択してください。どちらかが選択されるまでは、別のコピーや読み込みはできません。	—

メッセージ	処理方法	参照ページ
“紙詰まりです”	紙詰まりが発生した場合には、紙詰まり位置がメッセージ表示に表示され、機械が停止します。メインスイッチはON()のまま手順に従い取り除いてください。	8-3
紙詰まりを表すメッセージと“JAM 95”、“JAM 96”または“JAM 98”が表示	機内で紙詰まりを起こしている場合があります。紙が詰まっているか確認し、紙が詰まっていた場合は、取り除いてください。	8-3
紙詰まりを表すメッセージと“JAM 00”が表示	紙詰まりの用紙が機内に残っています。用紙を取り除いてください。	8-3
“原稿をセットし直して下さい”	DF（オプション）の原稿を取り除いて、全ての原稿を原稿テーブルに戻し、コピーを再開してください。	—
“DFの原稿を取り除いて下さい”	コンタクトガラスに原稿を置いて、2in1、4in1 またはソートコピーを行っている時に、DF（オプション）に原稿がセットされました。DFの原稿を取り除いて、2in1、4in1 またはソートコピー終了後、原稿を原稿テーブルに戻してコピーを再開してください。	—
“DF 部で紙詰まりです 原稿を取り除いて下さい。”	DF（オプション）で原稿が詰まっています。メインスイッチはON()のまま、手順に従い取り除いてください。	8-6
“両面は使用できません”	両面ユニット（オプション）は故障のため両面コピーはできません。ただちにサービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。	—
“用紙を取り除いて下さい 本体排出用紙オーバーです”	・ コピー収納部に用紙が 250 枚収納されています。用紙を取り除いて次のコピーを行ってください。	4-3
	・ オプションのジョブセパレータが装着されているときに、コピー収納部に用紙が 150 枚収納されています。用紙を取り除いて次のコピーを行ってください。	7-3
	・ オプションのフィニッシャーが装着されているときに、コピー収納部に用紙が 100 枚収納されています。用紙を取り除いて次のコピーを行ってください。“用紙を取り除いて下さい”	7-3
“用紙を取り除いて下さい “フィニッシャー用紙オーバーです”	オプションのフィニッシャー上に用紙が 250 枚以上収納されています。用紙を取り除いて次のコピーを行ってください。	7-3
“用紙を取り除いて下さい ジョブセパレータ用紙オーバーです”	オプションのジョブセパレータ上に用紙が 100 枚収納されています。用紙を取り除いて次のコピーを行ってください。	7-3
“フィニッシャーの用紙を確認して下さい 不完全コピーが混ざっています”	コピー中に問題が発生して不完全なコピーがフィニッシャー（オプション）のトレイに混じっています。確認して取り除いてください。	—
“用紙を取り除いて下さい フィニッシャー／処理トレイ”	フィニッシャー（オプション）の内部で紙詰まりです。フィニッシャーの使用説明書を参照して取り除いてください。	—
“ステイブルの針がありません 針をセットして下さい”	フィニッシャー（オプション）の針がありません。フィニッシャーの使用説明書を参照して針カートリッジを交換してください。	—
“このサイズはステイブルできません”	A5R や B5R などの小サイズにはステイブルができません。詳しくはフィニッシャーの使用説明書を参照してください。	—
“システムエラーです 主電源を OFF/ON して下さい”	ノイズなどによる誤動作が起こった場合や、プリンタなどの機能を使用時に通信異常が発生した場合に表示されます。以下の手順に従って処理してください。 メインスイッチを OFF にしてください。 ※プリンタ出力を行っている場合は、PC 側で印刷のキャンセルを行ってください。5 秒以上待ってから再び ON にしてください。 エラーが解除されます。 ※プリンタの出力を行っていた場合は、再度出力を行ってください。	—

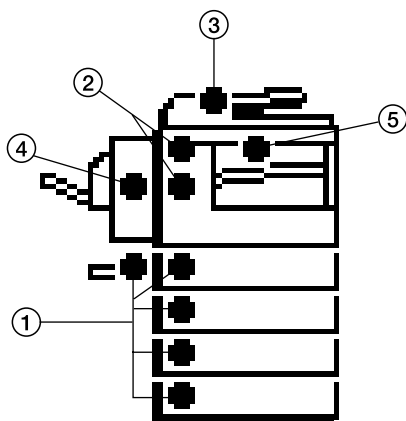
2. 紙詰りが発生したら

紙詰りが発生した場合は、マシンエラー表示が点灯してコピー作業を停止します。この時、メッセージ表示には紙詰まりを知らせるメッセージとともに、紙詰り位置表示が表示されます。さらに、メッセージ表示には“JAM”と2桁の数字が表示され、紙詰り位置を示します。メインスイッチはON (I) のまま、“(3) 紙詰り処理のしかた”を参照して用紙を取り除いてください。



(1) 紙詰り位置表示

- ①給紙部での紙詰り
- ②左カバー内部での紙詰り (P 8-5 参照)
- ③DF 〈オプション〉での紙詰り (P 8-6 参照)
- ④両面ユニット 〈オプション〉での紙詰り (P 8-6 参照)
- ⑤フィニッシャー 〈オプション〉での紙詰り (P 8-6 参照)

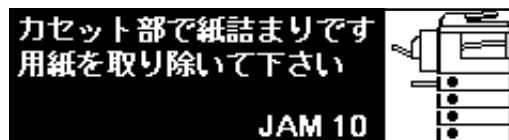


(3) 処理方法

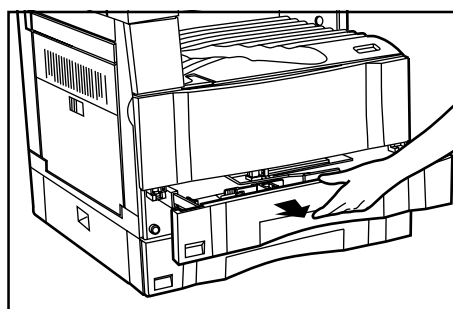
①給紙部での紙詰り

●カセットでの紙詰り (JAM 10、11、12、13、20、21)

“カセット部で紙詰まりです 用紙を取り除いて下さい”が表示され、紙詰まり位置表示が図の位置で表示されたときは、カセット (またはオプションカセット) で紙詰まりが発生しています。以下の手順で取り除いてください。



- 1 カセットを引き出してください。



(2) 注意事項



警告

本製品本体内部の帯電部は高電圧です。感電のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

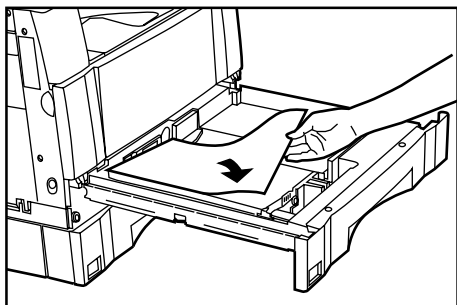


注意

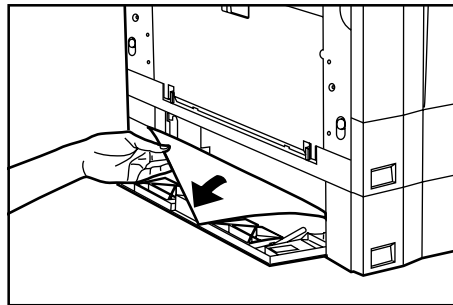
本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

- ※詰まった用紙は再使用しないでください。
- ※用紙を取り除くときに用紙が破れた場合、紙片を機内に残さないように注意してください。紙詰まりが再発する原因になります。
- ※紙詰まり処理が終了すると、ウォームアップが開始されます。紙詰り表示が消灯し、紙詰まり前の状態にセットしなおされます。

- 2** 詰まっている用紙があれば破らないように取り出してください。
 ※もし破れた場合には、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。



- 2** 詰まっている用紙があれば破らないように取り出してください。
 ※もし破れた場合には、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。

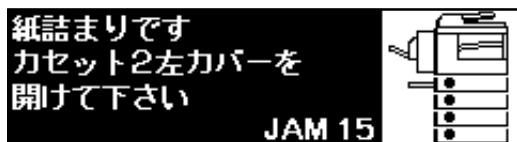


- 3** カセットを元通りゆっくり押し込んでください。
 ※カセットの爪からペーパーが外れていないか確認してください。外れていたら再度セットしなおしてください。
 ※JAM20、21が表示された場合は、P8-4カセット左カバー内での紙詰まりを参照して用紙を取り除いてください。

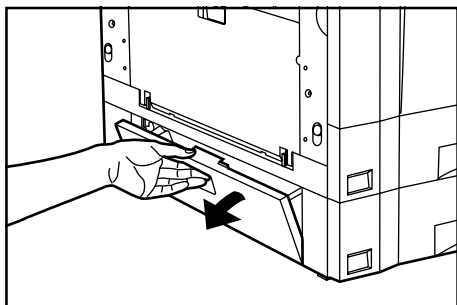
- 3** カセット左カバーを閉じてください。

●カセット左カバー内での紙詰まり (JAM 15、16)

“紙詰まりです カセット2 (3) 左カバーを開けて下さい”が表示され、紙詰まり位置表示が図の位置で表示されたときは、カセット左カバー内で紙詰まりが発生しています。以下の手順で取り除いてください。

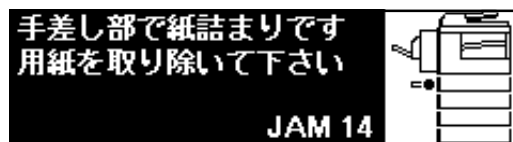


- 1** カセット左カバーを開いてください。

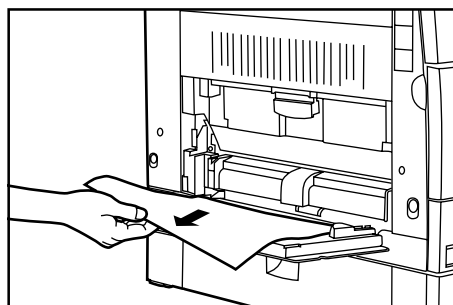


●手差しでの紙詰まり (JAM 14、22)

“手差し部で紙詰まりです 用紙を取り除いて下さい”が表示され、紙詰まり位置表示が図の位置で表示されたときは、手差しで紙詰まりが発生しています。以下の手順で取り除いてください。



- 1** 手差しの用紙をすべて取り出してください。



- 2** 紙詰まり位置表示の表示がなくなったことを確認してから、手差しに用紙をセットしなおしてください。
 ※JAM22が表示された場合は、P8-5②左カバー内部での紙詰まりを参照して用紙を取り除いてください。

8章 こんなときには

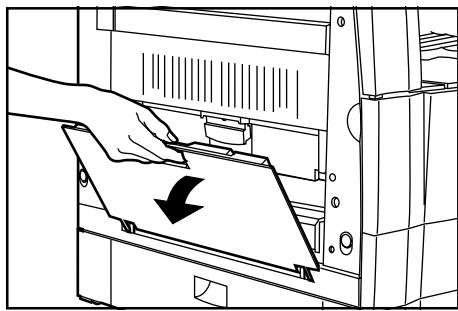
②左カバー内部での紙詰り (JAM 30、40、50、51)

“紙詰まりです 本体左カバーを開けて下さい”が表示され、紙詰まり位置表示が図の位置で表示されたときは、左カバー内部で紙詰まりが発生しています。以下の手順で取り除いてください。

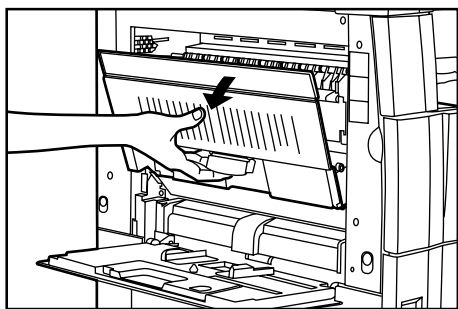


※両面ユニット (オプション) が設置されているときは、“紙詰まりです 両面ユニットを開け本体左カバーを開けて下さい”と表示されます。両面ユニットを開いてから手順2に進んでください。

1 手差しを開いてください。



2 左カバーを開いてください。



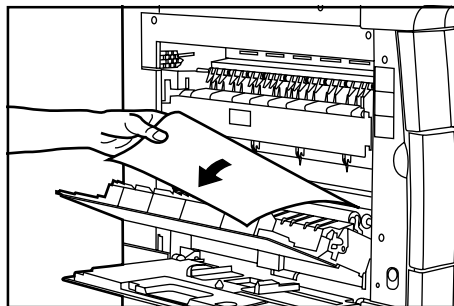
警告

本製品本体内部の帯電部は高電圧です。感電のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

注意

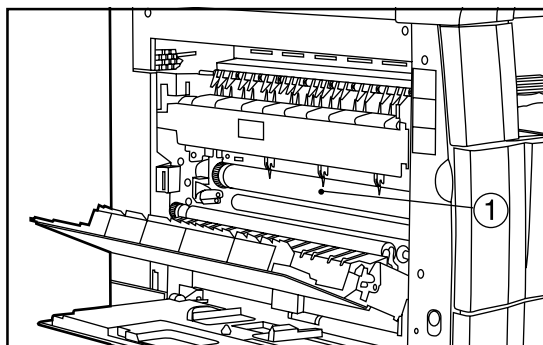
本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

- 3** 詰まっている用紙を破らないように取り出してください。
用紙が取り出しにくいときは次の手順に進んでください。取り出せたら手順5に進んでください。
※もし破れた場合には、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。



重要

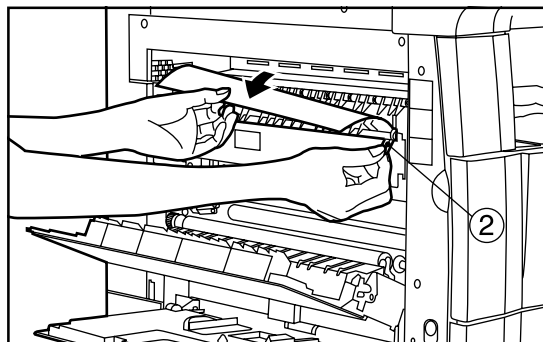
ドラム部分 (イラストの①) は、光に対して高感度で汚れにも敏感です。照明などの強い光を直接当てないよう、またドラム部分に手を触れないようご注意ください。



- 4** 緑色の取手 (イラストの②) を持って排紙ガイド開いて用紙を取ってください。

注意

本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。



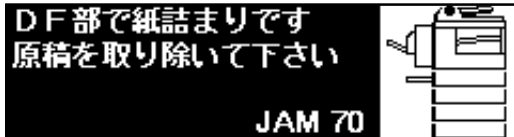
5 左カバーと手差しを閉めてください。

重要

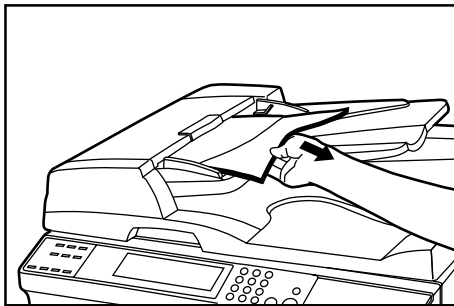
- ・両面ユニット（オプション）が設置されているときは、必ず左カバーを閉めてから両面ユニットを閉じてください。

③DF〈オプション〉での紙詰り（JAM 70～76）

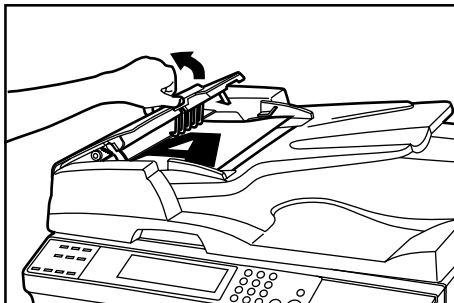
“DF 部で紙詰まりです 原稿を取り除いて下さい”が表示され、紙詰まり位置表示が図の位置で表示されたときは、DFで原稿が詰まっています。以下の手順で取り除いてください。



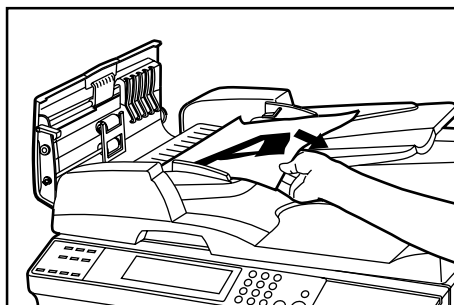
- 1 原稿テーブルの原稿をいったん取り出してください。



- 2 DF 原稿カバーを開いてください。



- 3 詰まっている原稿を取り出してください。

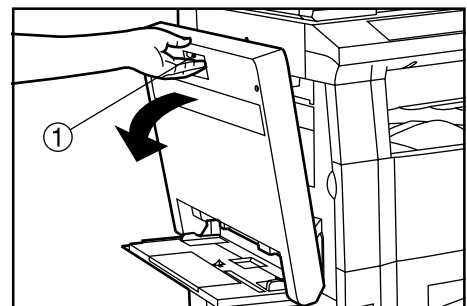


- 4 DF 原稿カバーを閉じてください。詰まっていた原稿を原稿テーブルの原稿といっしょにしてコピーを再開してください。

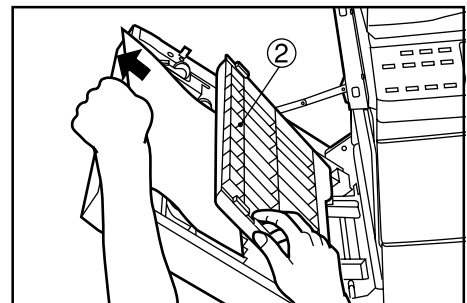
- ④両面ユニット〈オプション〉での紙詰まり（JAM 60、61）
“紙詰まりです 両面ユニットを開けて下さい”が表示され、紙詰まり位置表示が図の位置で表示されたときは、両面ユニットで紙詰まりが発生しています。以下の手順で取り除いてください。



- 1 両面ユニット開閉レバー（イラストの①）をもって両面ユニットを開いてください。



- 2 反転ガイド取手（イラストの②）をもって反転ガイドを開いて詰まっている用紙を取り除いてください。



- 3 反転ガイドを閉じてから両面ユニットを元通り閉じてください。

- ⑤フィニッシャー〈オプション〉での紙詰り（JAM 80～83）
“用紙を取り除いて下さい フィニッシャー”が表示され、紙詰まり位置表示が図の位置で表示されたときは、フィニッシャーで紙詰まりが発生しています。詳しくはフィニッシャーの使用説明書を参照してください。



3. トラブルが発生した場合

トラブルが発生した場合は、次のことをお調べいただき、それでもなおらない場合は、サービス担当者までご連絡ください。

トラブル内容	確認事項	処理方法	参照ページ
メインスイッチをONにしても操作パネルに何も表示されない。	電源プラグがコンセントに接続されていますか。	電源プラグをコンセントに接続してください。	——
スタートキーを押してもコピーが出てこない。	メッセージ表示にメッセージが出ていませんか。	各メッセージに対する処理方法を確認して、適切な処理を行ってください。	8-1
コピーが写らない。	原稿が正しくセットされていますか。	コンタクトガラスの上に原稿をセットするときは、原稿を下向きにセットしてください。	4-1
		DF(オプション)にセットするときは原稿を上向きにセットしてください。	7-1
コピーが薄い。	自動濃度モードですか。	全体的に濃度を変更するときは、“自動濃度調整”を行ってください。	6-9
	“写真原稿”、“文字+写真原稿”、“文字原稿”モードですか。	コピー濃度調整キーで適正な位置にセットしてください。	4-2
		全体的に濃度を変更するときは、各画質モードで濃度調整を行ってください。	6-9
	トナー補給のメッセージが表示されていませんか。	トナーカートリッジを交換してください。	3-5
	用紙が湿っていませんか。	新しい用紙と交換してください。	3-1

トラブル内容	確認事項	処理方法	参照ページ
コピーが濃い。	自動濃度モードですか。	全体的に濃度を変更するときは、“自動濃度の設定”を行ってください。	6-9
	“写真原稿”、“文字+写真原稿”、“文字原稿”モードですか。	コピー濃度調整キーで適正な位置にセットしてください。	4-2
		全体的に濃度を変更するときは、各画質モードで濃度調整を行ってください。	6-9
コピーが汚れている。	コンタクトガラスや原稿押さえが汚れていませんか。	コンタクトガラスや原稿押さえの清掃を行ってください。	9-1
		前カバーを開いて、クリーニング棒をぬきさししてください。	3-6
コピーがずれて写る。	原稿が正しくセットされていますか。	コンタクトガラスに原稿をセットするときは、原稿サイズ指示板に原稿を確実に合わせてください。	4-1
		DF（オプション）にセットするときは原稿挿入ガイドを原稿サイズに確実に合わせてください。	7-1
紙詰まりがたびたび起こる	用紙がカセットに正しくセットされていますか。	用紙を正しくセットしなおしてください。	3-1
	用紙がカールしたり、折れやしわがありませんか。	新しい用紙に交換してください。	3-1
	詰まった用紙や紙片が機械内部に残っていませんか。	適切な方法で取り除いてください。	8-3
仕上がったコピーがコピー収納部できれいに収納されない。	仕上がったコピーがカールしていませんか。	使用されているカセットまたは手差しの用紙を一度取り出し、裏返してからセットしなおしてください。	4-3

9章 保守・運用のために

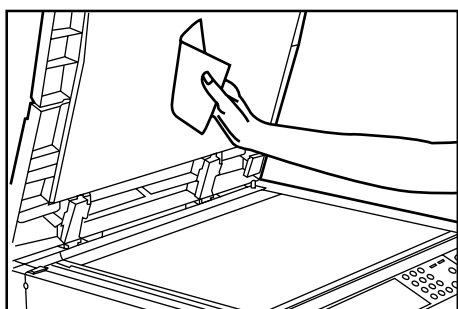
1. 機械の清掃のしかた

⚠ 注意

本製品の清掃を行うときには安全上、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

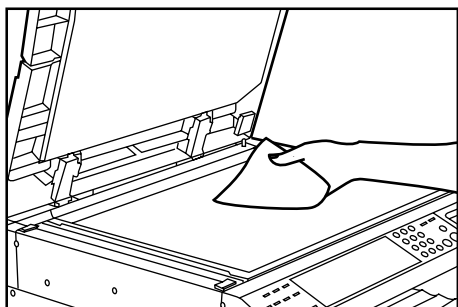
●原稿押さえの清掃

原稿押さえを開き、アルコールまたは薄い中性洗剤をつけた柔らかい布で、原稿押さえ裏面の清掃を行ってください。
※シンナー、有機溶剤等は使用しないでください。

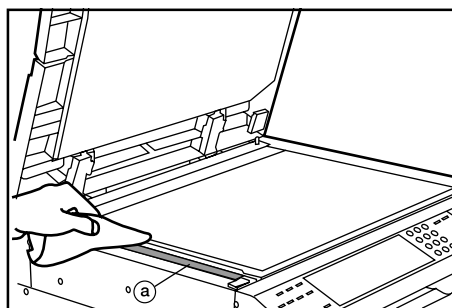


●コンタクトガラスの清掃

原稿押さえを開き、アルコールまたは薄い中性洗剤をつけた柔らかい布で、コンタクトガラスの清掃を行ってください。
※シンナー、有機溶剤等は使用しないでください。



※オプションのDF使用時にコピーに黒すじなどの汚れが写る場合、スリットガラス（イラストの①a）が汚れています。
アルコールまたは薄い中性洗剤をつけた柔らかい布で、スリットガラスの清掃を行ってください。



2. 消耗品

※機械の性能を維持しトラブルを未然に防止するために、消耗品は必ず弊社のものをご使用ください。

用紙

〈普通紙〉

(DC 用紙)

A3 判	500 枚 X 3 冊	6,900 円
A4 判	500 枚 X 5 冊	5,750 円
A5 判	500 枚 X 6 冊	4,320 円
B4 判	500 枚 X 5 冊	8,650 円
B5 判	500 枚 X 5 冊	4,350 円

〈カラーペーパー〉

(DC 用カラーペーパー)

(ピンク・クリーム・グリーン・ライトブルー・アイボリー)

A4 判	500 枚 X 5 冊	8,000 円
B4 判	500 枚 X 5 冊	11,000 円
B5 判	500 枚 X 5 冊	5,750 円

〈第2原図〉

(GNT-75)

A3 判	250 枚 X 1 冊	5,000 円
A4 判	500 枚 X 1 冊	5,000 円
B4 判	500 枚 X 1 冊	7,500 円
B5 判	500 枚 X 1 冊	3,750 円

〈封筒〉 ※プリンタ機能時のみ使用できます

サイズ：洋形4号、洋形2号

※推奨品

- ・洋形4号 「LIFE E506B (枠なし)」
- ・洋形2号 ハグルマ封筒株式会社「スイス洋2 枠なし WE-S2」

※上記表示価格は、2000年9月現在のものです。また表示価格及び料金には消費税は含まれておりません。

ご購入の際は、消費税が別途付加されますのでご了承願います。

3. 製品の保守サービスについて

このたびは、弊社複写機をご購入いただき、ありがとうございます。保守サービス方式には次のものがございます。

●コピーキット方式

弊社指定のコピーキットをご購入いただきますと「コピーシステム契約書」にもとづき、複写機の点検・調整・修理および感光体の提供・交換を行います。

- ・コピーキット（PK-510A キット）5000 カウント用
（PK-510B キット）2500 カウント用

●スポット方式

保守サービスとドラムおよび消耗品の供給を、お客様の要請のつど料金を申し受ける方式です。

4. 保守サービス契約書について

保守サービスとしてコピーキット契約を結ばれたお客様は「コピーシステム契約書」を、ご購入の際お買い上げ販売店もしくは弊社営業所が必要事項を記入し、お渡しいたします。

「コピーシステム契約書」には、お買い上げになった複写機の保守サービスの内容などが記載されておりますので、よくお読みになった後、大切に保管願います。もし、「コピーシステム契約書」の発行がなされていない場合は、お買い上げ販売店もしくは弊社営業所へご連絡ください。ただちに発行手続きをいたします。

※アフターサービスについてご不明な点がございましたら、お買い上げ販売店もしくは、最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。

5. 補修用性能部品について

補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品のことをいいます。

弊社の保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製造中止後、7年間です。

6. 廃棄について

1. 使用済み製品の廃棄

使用済み製品を廃棄される場合は、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービス担当者にご連絡ください。回収された使用済み製品は、それぞれの構成部品毎に分解され、金属部品は金属回収ルートに乗せて回収されます。再利用可能な部品は清掃し再利用し、再利用の不可能なあらゆる部品は環境に考慮して適切に処理されます。

2. トナーコンテナおよびトナー回収タンクの廃棄

使用後、不要になりましたトナーコンテナおよびトナー回収タンクは、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービス担当者にご返却下さい。回収されたトナーコンテナおよびトナー回収タンクは、再使用もしくは再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

7.仕様

名称	KM-2030
形式	デスクトップ型
原稿台方式	原稿台固定方式
複写方式	間接静電方式
原稿の種類	シート、ブック、立体物（最大原稿サイズ：A3）
複写サイズ	A3、B4、A4、B5、A5R、B6R、A6R、はがき 両面コピー時：A3～A5R 欠け幅：0.5～5.5 mm
複写速度	等倍／メモリーコピー A3：10枚／分、B4：11枚／分、A4：20枚／分、 A4R：13枚／分
ウォームアップタイム	30秒以内（室温20℃、湿度65%）、プレヒート時［節電優先］：30秒以内、 ［復帰優先］：15秒以内（室温20℃、湿度65%）
ファーストコピータイム	5.5秒以下（A4ヨコ、第1給紙）
複写倍率	50～200%（1%毎）の任意倍率 および1：1±1.0%／1：2.00／1：1.41／1：1.22／1：1.15／1：0.86／ 1：0.81／1：0.70／1：0.50の固定倍率
画像蓄積メモリ	47MB
解像度	読み取り：600 x 600 dpi 書き込み：600 x 600 dpi
給紙方式	カセット自動給紙（2段、収納枚数各段250枚 [64g/m ²]）および手差し自動給紙 （収納枚数 A3、B4：25枚、A4以下：50枚 [64g/m ²]）
使用ペーパー	カセット、両面ユニット：普通紙（64～80 g/m ² ） 手差し：普通紙（60～160g/m ² ）、特殊紙（第2原図、カラーペーパー、OHPフィルム、官製はがき、更紙、のし紙等）、封筒［プリンタ機能時のみ］（洋形4号、洋形2号）
連続複写	1～250枚
光源	希ガスランプ
現像方式	乾式現像
定着方式	ヒートローラー
クリーニング方式	ブレードクリーニング方式
感光体種類	OPC
付属機能	自己診断機能、プレヒート、自動濃度調整、原稿サイズ検知機能、自動用紙選択機能、 自動倍率選択機能、ズーム機能、固定変倍機能、定型変倍機能、写真モード、 マージンコピー、枠消し、集約、ソートコピー、オートセレクション、部門管理、 言語切替
電源	AC100 V 50/60 Hz 最大11 A
消費電力	定格消費電力 最大1100 W
機械寸法	幅550mm x 奥行560mm x 高さ597mm
質量	約48.2 kg
機械占有寸法	幅891mm x 奥行560mm
オプション	ADF（原稿送り装置）、RADF（両面自動原稿送り装置）、カセット、 フィニッシャー、両面ユニット、ジョブセパレータ、キーカウンタ、キーカード、 プリンタキット、プリンタネットワークキット、ネットワークスキャナ

（仕様は性能改善のため予告なく変更することがあります。）

索引

数字・ローマ字

ADF（原稿送り装置）	7-1
DF にセットできる原稿	7-1
DF の使用上の注意	7-1
DF の各部の名称	7-1
DF への原稿のセット	7-1
RADF（両面自動原稿送り装置）	7-3
2 in 1	5-7
4 in 1	5-7
ア 暗証コード変更	6-15
エ 液晶コントラスト調整	6-15
オ オートカセットチェンジ	2-4
オートカセットチェンジ機能	6-15
オートクリア機能	2-4
オートシャットオフ	6-14
オートシャットオフ機能	4-7
オートシャットオフタイム	6-15
オートプレヒートタイム	6-15
オプション	7-1
カ 回転コピー	5-10
回転ソート設定	6-10
カウンターレポート出力	6-15
各部の名称	2-1
画質の選択	4-2
カセット	3-1
カセット（オプション）	7-3
片面原稿からの両面コピー	5-2
紙詰り位置表示	8-3
紙詰りが発生したら	8-3

キ キーカウンタ	7-3
キーカード	7-4
機械の清掃のしかた	9-1
機械を設置するときの注意	1-2
機能的なコピー	5-1
基本的なコピーのしかた	4-1
ケ 原稿混載コピー	5-10
原稿のセット	4-1
言語切替	6-19
コ 固定変倍モード	4-5
コピーカウントのクリア	6-1
コピーカウントの参照	6-1
コピー禁止事項	1-4
コピー初期設定の項目	6-9
コピー初期設定の変更のしかた	6-11
コピーの縮小／拡大	4-4
コピー濃度の調整	4-2
コピー排出先指定	6-15
コピー部数制限	6-10
コピー枚数の設定	4-3
混在原稿濃度	6-9
こんなメッセージがでたら	8-1
シ シート枠消し	5-6
自動濃度調整	6-9
自動倍率選択モード	4-4
自動倍率モード	6-10
写真原稿濃度	6-9
出力モード	6-10
集約コピー	5-7
消耗品	9-2
仕様	9-4
初期設定	6-9
初期モード	2-4
ジョブセパレータ	7-3
新規部門登録	6-1

ス	ズームコピーモード	4-4		プリンタキット	7-4
	ステータスレポート	6-14		プリンタネットワークキット	7-4
セ	制限枚数の修正	6-1		プリンタ部門管理の ON / OFF	6-2
	静音モード	6-15	ホ	分割コピー	5-4
	製品の保守サービス	9-3		補修用性能部品	9-3
ソ	操作パネル	2-3		保守サービス契約書	9-3
	ソートコピー	5-9	マ	マージンコピー	5-5
チ	注意ラベルについて	1-1		マージン幅設定	6-10
テ	定形変倍モード	4-5		マシン初期設定の項目	6-14
	手差し	3-2		マシン初期設定の変更のしかた	6-16
	手差しの用紙選択とサイズ設定	3-3	メ	メッセージ表示	2-4
ト	特殊紙セット段	6-14	モ	文字原稿濃度	6-9
	特殊紙オート給紙	6-14	ユ	優先カセット	6-10
	トナーカートリッジの交換	3-5	ヨ	用紙種類（1 段目～4 段目）	6-14
	トナー回収タンクの交換	3-5		用紙種類（手差し）	6-14
	トラブルが発生した場合	8-7		用紙選択	6-9
	取り扱い上の注意	1-3		用紙の選択	4-2
ネ	ネットワークスキャナ	7-4		用紙の補給	3-1
ノ	濃度ステップ	6-9		用紙補給時の注意	3-1
	濃度モード	6-9	リ	予熱（プレヒート）機能	4-7
フ	フィニッシャー	7-3		両面原稿からの両面コピー	5-1
	封筒のセットのしかた	3-4		両面原稿からの分割コピー	5-4
	複写機の管理モード	6-1		両面コピー	5-1
	ブック原稿からの分割コピー	5-4		両面ユニット	7-3
	ブック原稿からの両面コピー	5-1	ワ	枠消し	5-6
	ブック枠消し	5-6		枠消し幅選択	6-10
	部門管理	6-1		割り込みコピー	4-6
	部門管理の ON / OFF	6-2			
	部門管理の時のコピー	6-8			
	部門管理の設定のしかた	6-3			
	部門管理の選択画面の表示のさせかた	6-3			
	部門管理モード	6-1			
	部門管理リストの出力	6-1			
	部門の抹消	6-1			
	プリントエラーレポートの ON/OFF	6-2			

本機器は社団法人日本事務機械工業会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

**QUALITY
CERTIFICATE**

この製品はすべての品質管理および最終検査に合格しました。



お客様相談窓口のご案内

京セラミタ製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

京セラ ミタ株式会社 京セラ ミタジャパン株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-15 TEL 03-3279-2112

お客様
相談窓口



市内通話料でOK
ナビダイヤル

0570-046562

受付時間

● 9:00～12:00 ● 13:00～17:00
(但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く)

市内通話料金でご利用いただけます。

札幌	011-862-2631	富山	0764-24-3531
仙台	022-232-3225	大阪	06-6764-3210
さいたま	048-666-4515	神戸	078-651-7500
東京	03-3279-2050	高松	087-861-3861
横浜	045-471-0248	広島	082-295-2001
名古屋	052-582-7413	福岡	092-441-2721

京セラミタの情報は、インターネットでご覧いただけます。 <http://www.kyoceramita.co.jp/support/>

2002.5

© 2000 KYOCERA MITA CORPORATION

KYOCERA は京セラ株式会社の登録商標です。

mita は京セラミタ株式会社の登録商標です。

2002. 7
2AX80034E